

(案)

原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(平成 29 年度 第 1 四半期)

福 島 県

目次

第1	測定結果の概要	1
第2	測定項目	5
第3	測定方法	11
第4	測定結果	
4-1	空間放射線	
4-1-1	空間線量率	17
4-1-2	空間積算線量	18
4-2	環境試料	
4-2-1	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	19
4-2-2	環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種）	20
4-2-3	環境試料中の核種濃度（ベータ線放出核種）	22
4-2-4	環境試料中の核種濃度（アルファ線放出核種）	23
第5	原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表	
5-1	空間放射線	
5-1-1	空間線量率	29
5-1-2	空間積算線量	32
5-2	環境試料	
5-2-1	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	35
5-2-2	大気浮遊じんの核種濃度	37
5-2-3	降下物の核種濃度	45
5-2-4	環境試料中の核種濃度	46
5-3	比較対照地点	
5-3-1	空間線量率（比較対照地点）	49
5-3-2	大気浮遊じんの核種濃度（比較対照地点）	50
5-3-3	大気中水分のトリチウム濃度（比較対照地点）	51
5-3-4	降下物の核種濃度（比較対照地点）	52
5-3-5	環境試料中の核種濃度（比較対照地点）	53
5-4	試料採取時の付帯データ集	54
第6	参考資料	
6-1	福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う 海水モニタリング結果（公表資料）	55

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力用語集をご活用下さい。

○URL

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025c/genan183.html>

○または、

福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

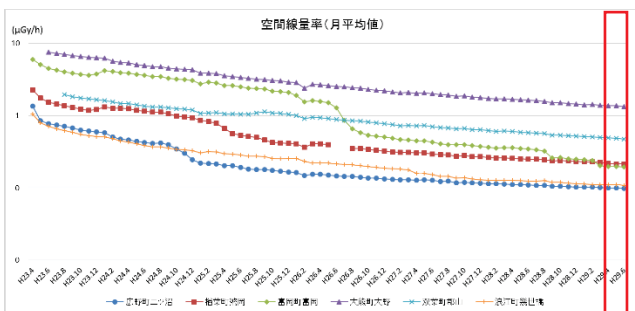
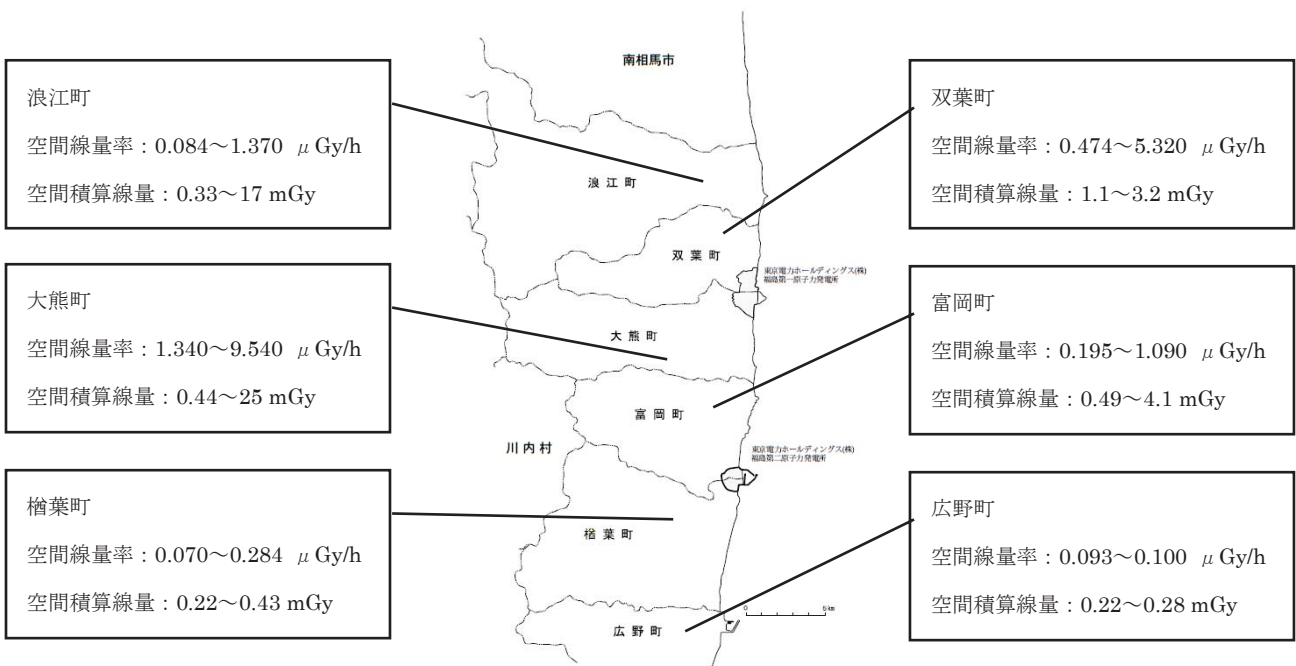
第 1 測定結果の概要

福島県が平成29年度第1四半期（平成29年4月～6月）に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による影響を受けた空間線量率や環境試料については、一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

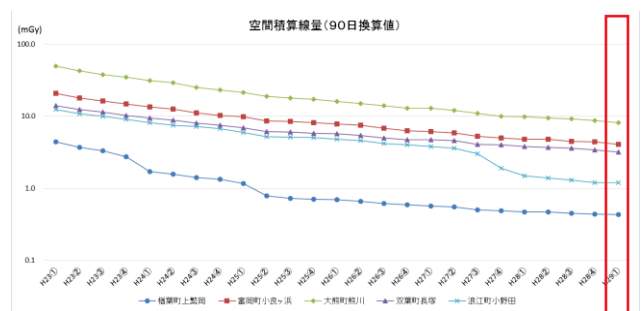
1 空間放射線

- 空間線量率については、今期の測定値（月間平均値 0.046～9.540 $\mu\text{Gy/h}$ ）は発電所周辺のほとんどの地点で、事故前の測定値の範囲（月間平均値 0.033～0.054 $\mu\text{Gy/h}$ ）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。
- 空間積算線量（90日換算値）については、今期の測定値（0.16～25 mGy）は事故前の測定値の範囲（0.10～0.14 mGy）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

※ 今期の空間線量率及び空間積算線量の範囲



今期

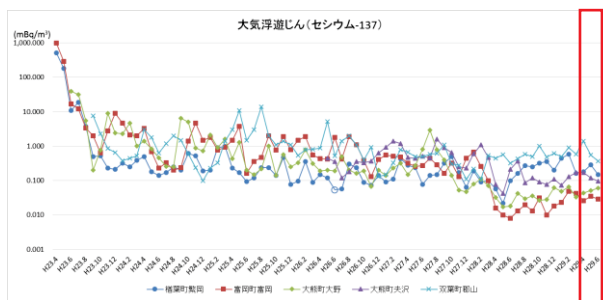
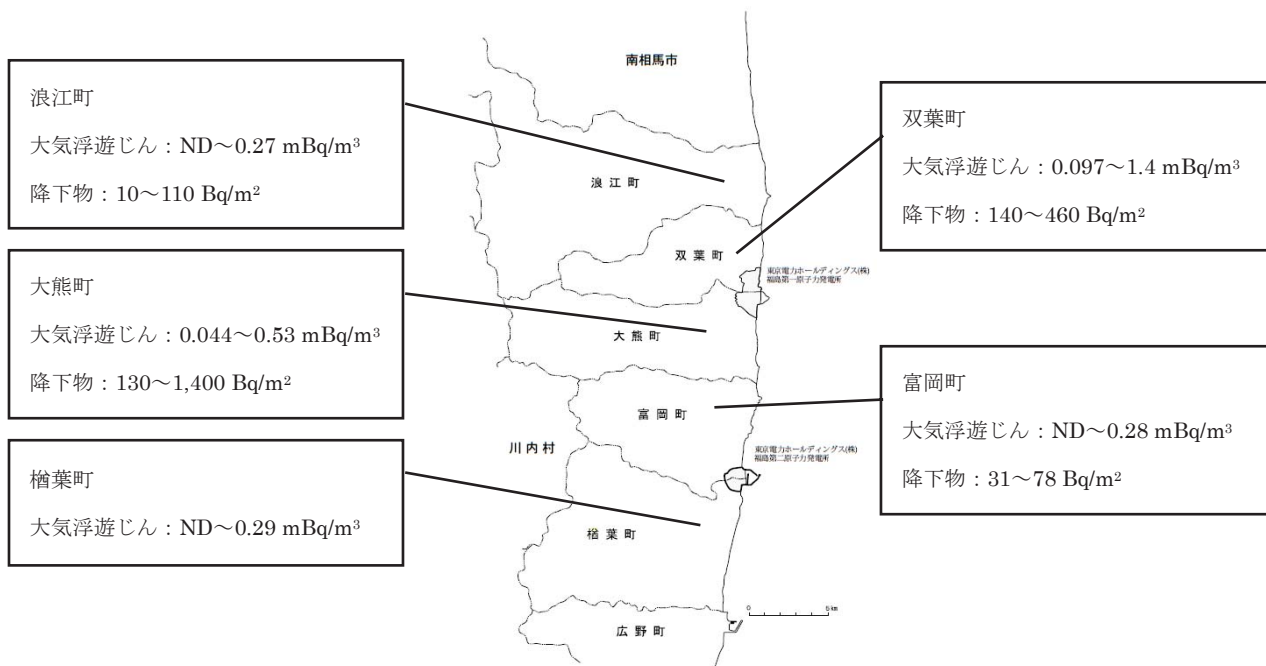


今期

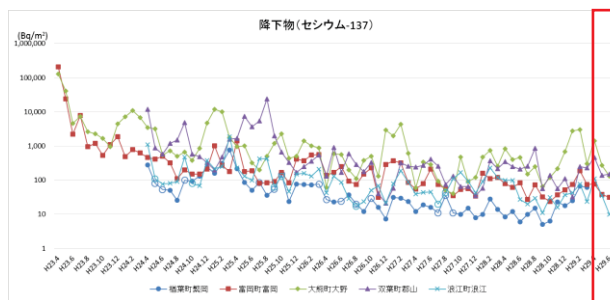
2 環境試料の核種濃度

- 大気浮遊じん、降水物、陸土、上水、海水、海底土、松葉の7品目の多くの試料からセシウム-134及びセシウム-137が検出され、事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期と比較すると概ね横ばい傾向にあります。
- 大気中水分、上水、海水の試料からトリチウムが検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。
- 陸土、上水、海水、海底土の多くの試料からストロンチウム-90が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った試料がありましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期と比較すると概ね横ばい傾向にあります。
- 陸土、海水、海底土の試料からプルトニウムが検出されましたが、事故前の測定値と同程度でした。

※ 今期の大気浮遊じん及び降水物のセシウム-137の範囲

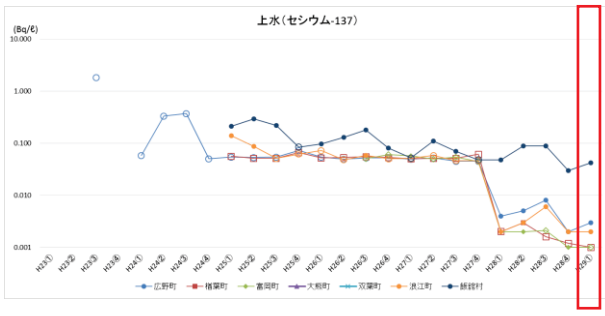
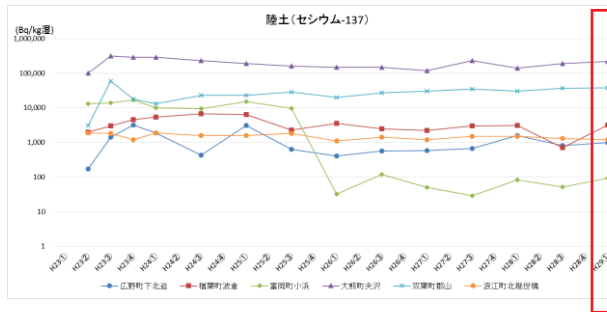
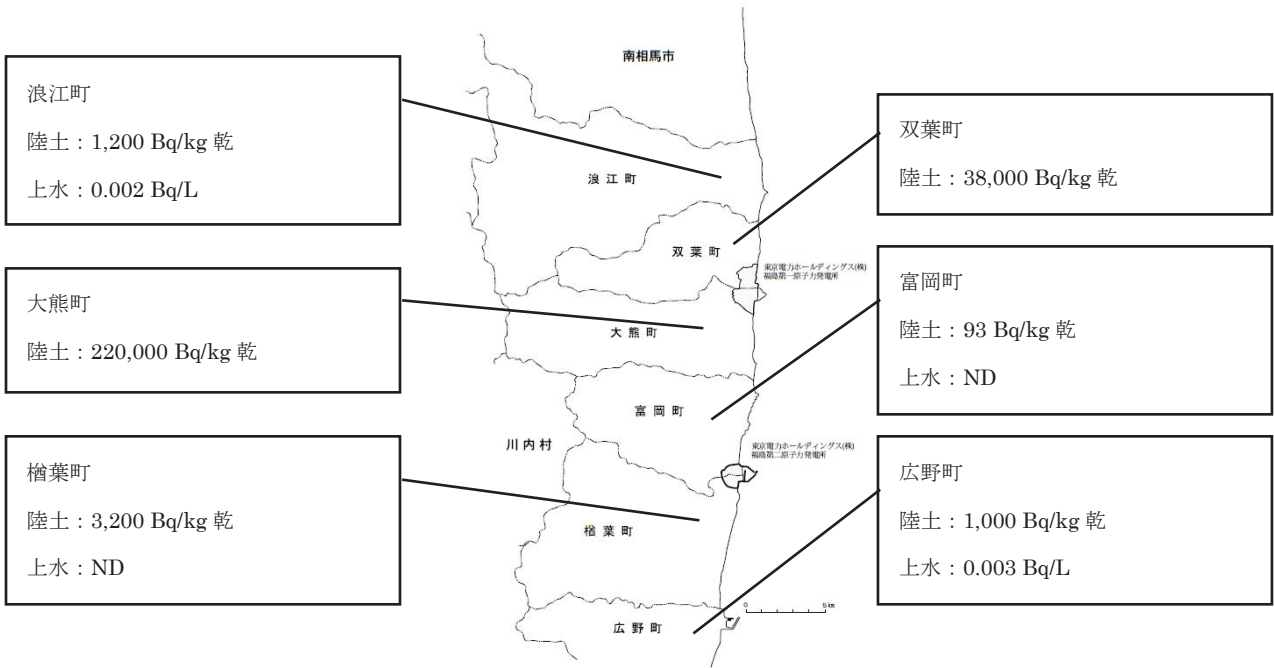


今期



今期

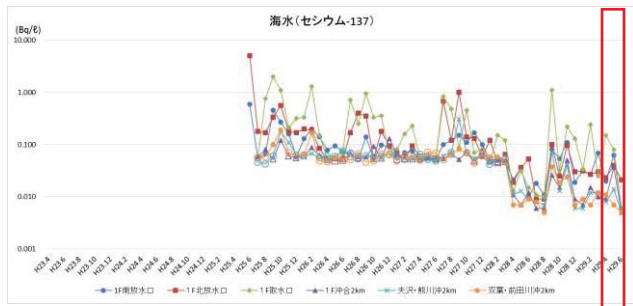
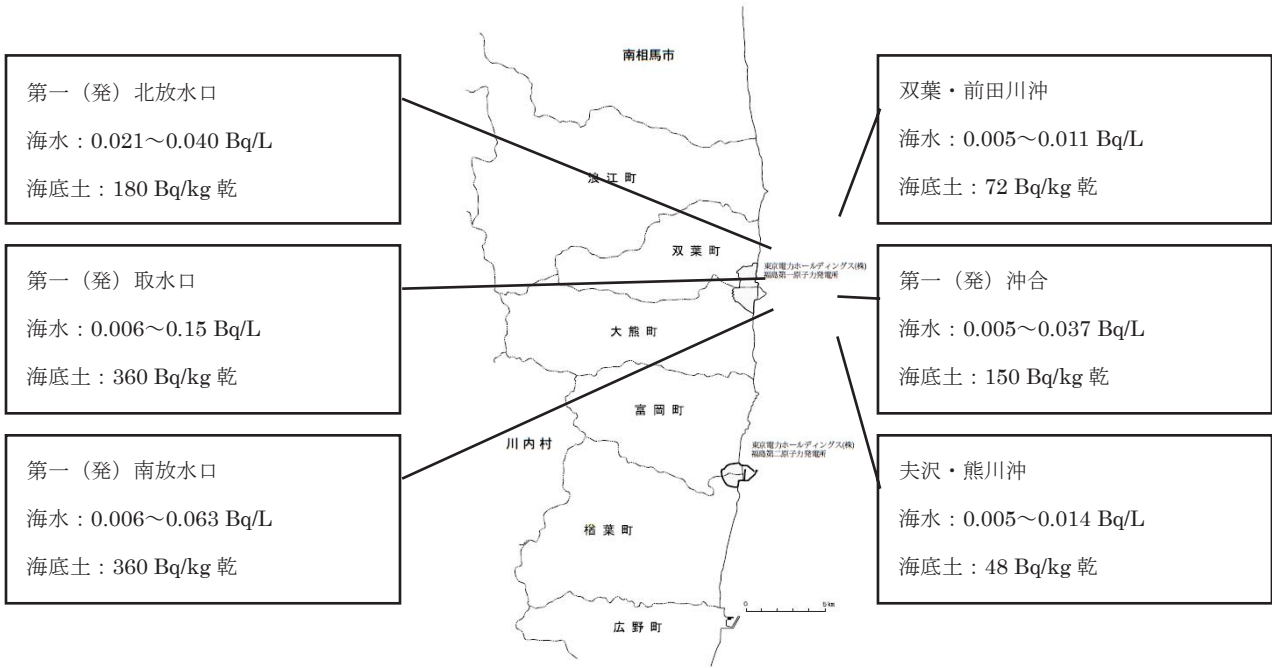
※ 今期の陸土及び上水のセシウム-137 の範囲



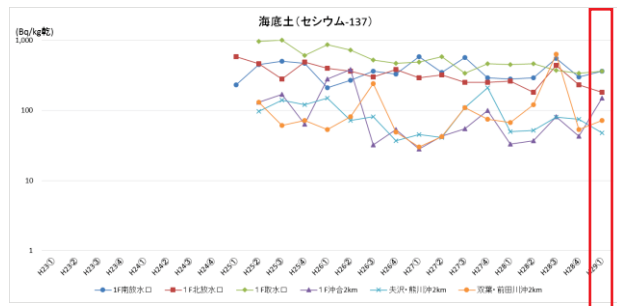
今期

今期

※ 今期の海水及び海底土のセシウム-137 の範囲



今期



今期

第 2 測 定 項 目

平成29年度第1四半期（平成29年4月～平成29年6月）測定分

1 測定項目

(1) 空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実施機関
空間線量率	39	連続	環境創造センター
空間積算線量	64	3ヵ月積算	

(2) 環境試料

区分	試料名	地点数	採取頻度	採取回数 (今期)	測定試料数(今期)							実施機関
					全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	17	毎月	3	連続 全α全β	51						環境創造 センター
		9		3		27						
		16	毎週	13		208						
降下物	降下物	10	毎月	3		30						
陸 土表	土	15	年2回	1		15						
			年1回	1				15	15	15		
陸 水上	水	11	年4回	1		11		11				
			年1回	1				11	11			
海 水海	水	6(*1)	毎月	3	18	18		18	18	18		
		2(*2)	年4回	1	2	2		2				
			年1回	1				2	2			
海 底土	海底土	6(*1)	年4回	1		6			6	6		
		2(*2)	年4回	1		2						
			年1回	1				2	2			
指標植物	松葉	15	年4回	1		15	15					

*1 東京電力(株)福島第一原子力発電所周辺海域

*2 東京電力(株)福島第二原子力発電所周辺海域

(3) 測定項目(比較対照地点調査)

ア 空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実施機関
空間線量率	3	連続	環境創造センター

イ 環境試料

区分	試料名	地点数	採取頻度	採取回数 (今期)	測定試料数(今期)							実施機関
					全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	7	毎月	3		21						環境創造 センター
	大気中水分	1		3				3				
降下物	降下物	2	毎月	3		6						
陸 土表	土	7	年1回	1		7			7	7	1	
陸 水上	水	2	年1回	1		2		2	1	1		
海 水海	水	1	年1回	0	0	0		0	0	0		
海 底土	海底土	1	年1回	0		0			0	0		
指標植物	松葉	5	年4回	1		5	5					

図2-1 環境放射能等測定地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

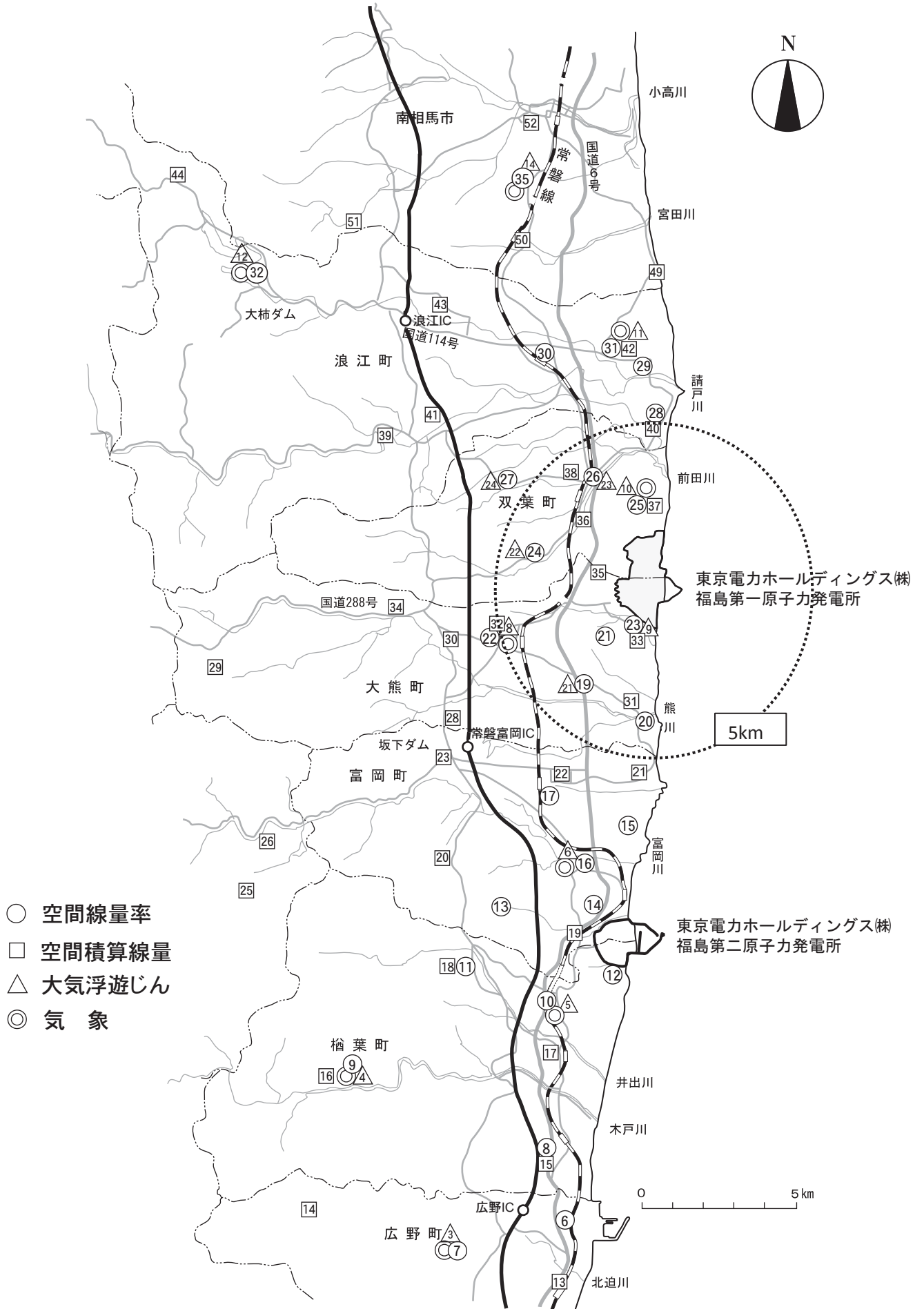


図2-2 環境放射能等測定地点（広域）

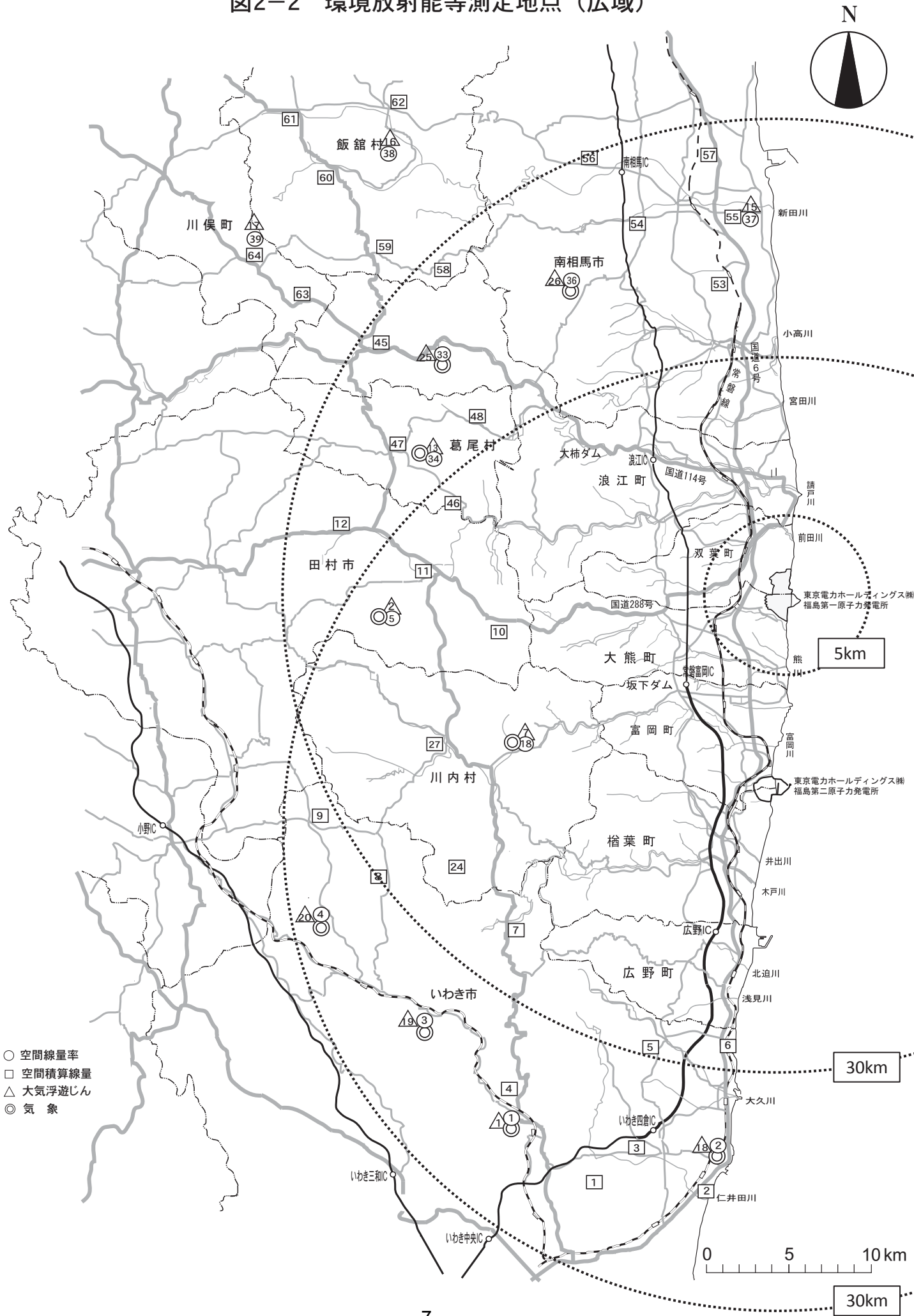


図2-3 環境試料採取地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

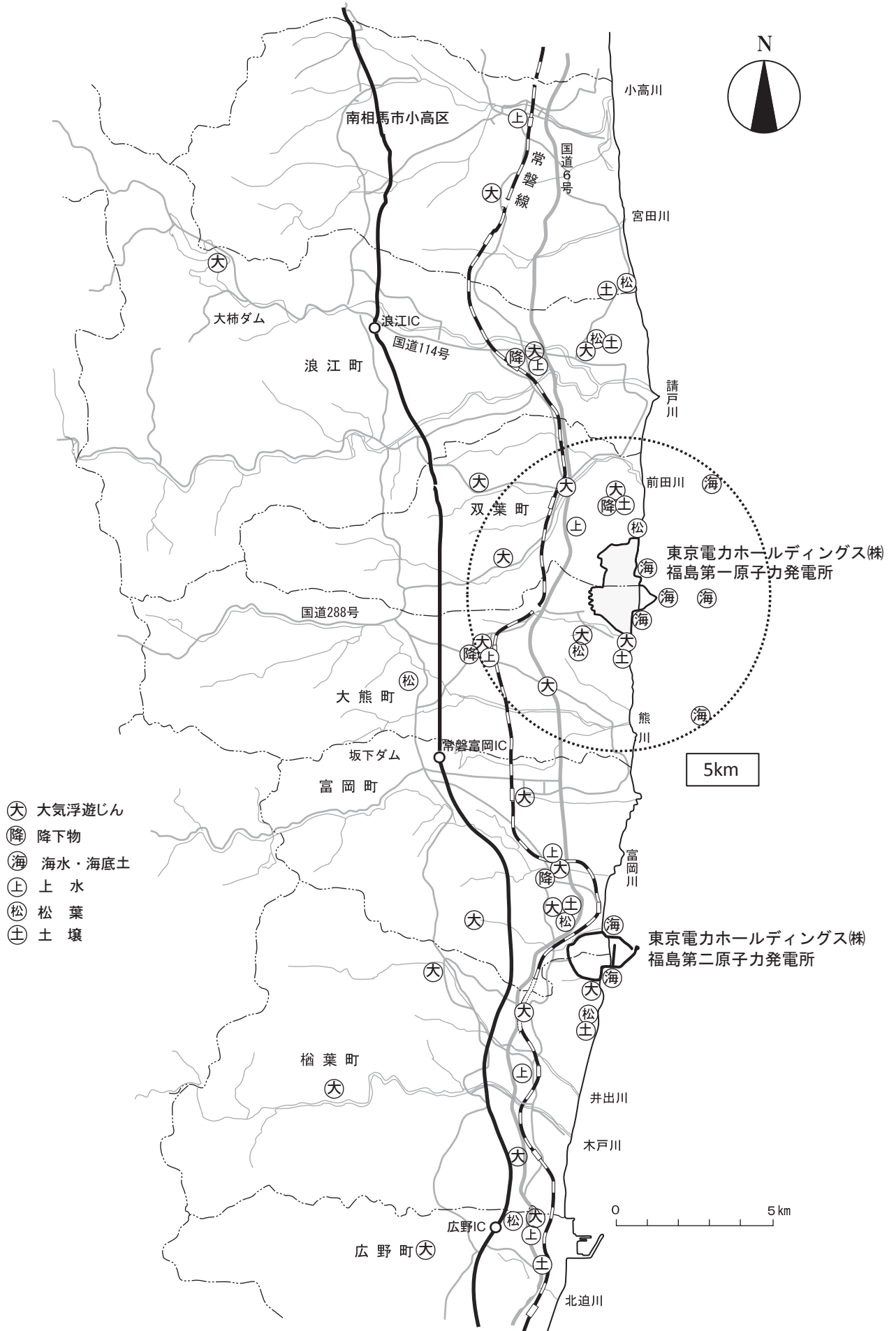
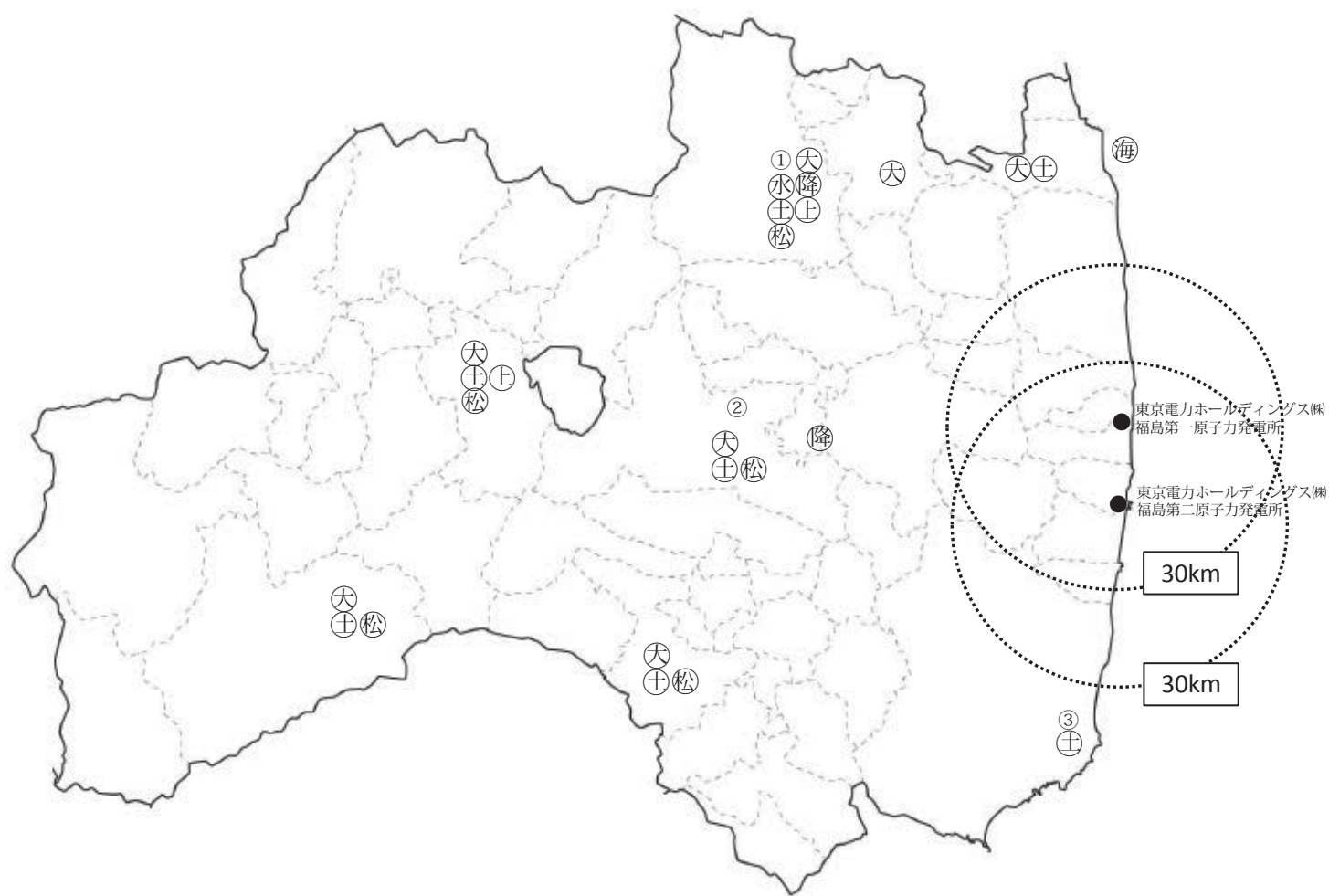


図2-4 環境試料採取地点（広域）



図2-5 環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点（県内全域）



- 空間線量率
- ⊕ 大気浮遊じん
- ⊖ 大気中水分
- ⊙ 降下物
- ⊕ 土壌
- ⊕ 海水・海底土
- ⊕ 上水
- ⊕ 松葉

第 3 測 定 方 法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：低線量計 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (日立製作所製 ADP-1122型他) 高線量計 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器 (日立製作所製 RIC-348型他) 測定位置：地表上約3m、約1m 校正線源： ⁶⁰ Co、 ¹³⁷ Cs及び ²²⁶ Ra
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 線量計：蛍光ガラス線量計 (AGCテクノグラス製 SC-1型) 測定器：蛍光ガラス線量計測装置 (AGCテクノグラス製 FGD-202型) 測定位置：地表上約1m 校正線源： ¹³⁷ Cs
環境試料	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を6時間同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式(吸引量：約90m ³ /6時間) 使用する紙：アドバンテック東洋製 HE-40T型 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの貼合せ検出器 (日立製作所製 ADC-121他) 採取位置：地表上約3m、約2.3m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ⁹⁶ Cl
	全ベータ放射能	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」(昭和51年改訂) 測定器：低バックグラウンドガスフローカウンタ (日立製作所製 LBC-4202B型) 校正線源：U ₃ O ₈ (海水)
試料	核種濃度	γ線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 測定器：ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ製 GC3018型他) 波高分析器(キャンベラ製 LINX DSA MAC型他)
		β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「トリチウム分析法」(平成14年改訂) 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (日立製作所製 LSC-LB7型他)
	放射性ストロンチウム濃度	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂)に定めるイオン交換法 測定器：ローバックグラウンドガスフローカウンタ (日立製作所製 LBC-4202B型) 校正線源： ⁹⁰ Sr
	アメリカシウム、キュリウム及びプルトニウム濃度	α線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「プルトニウム分析法」(平成2年改訂)及び「アメリカシウム分析法」(平成2年)に定めるイオン交換法 測定器：シリコン半導体検出器(ORTEC製 BU-017-450型他) 波高分析器(ORTEC デジタlmCA(ソフトウェア)他) 校正線源： ²³⁹ Np、 ²⁴¹ Am及び ²⁴⁴ Cm

環境試料放射能測定方法詳細一覧表

(Cs-134、Cs-137濃度・トリチウム濃度・ストロンチウム-90濃度)

項目	試料名	大気浮遊じん			
		簡易型ダストサンプラー(福島第一原子力発電所から30km圏内)	簡易型ダストサンプラー(比較対照地点)	連続ダストサンプラー	連続ダストモニタ
	核種	Cs-134、Cs-137			
試料採取	採取方法	ハイボリュウムエアサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m	ハイボリュウムエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m	ダストサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2~3m
	採取容器等	ろ紙(GB-100R)		ろ紙(HE-40T)	
	採取量	約6,550m ³	約1,150m ³	約500m ³	約11,000m ³
	現場での前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	・地点毎に採取器具を専用としている。 ・ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浄している。		試料毎に分けて採取している。	試料毎に分けて採取している。
前処理	方法	1週間分の集塵ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	1週間分の集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、U8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	ろ紙を全量丸めてU8容器底面に収納する。		50φmmの円の中心から47φmmを打ち抜き88.36%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。	灰にした試料全量をU8容器に充填する。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。			・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。
測定	測定装置	Ge半導体検出装置			
	測定試料状態	生			灰
	測定容器	U8容器			
	供試料量	約6,550m ³	約1,150m ³	約500m ³	約11,000m ³
	測定時間	10,000秒	80,000秒	8,000~13,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.03mBq/m ³	約0.03~0.04mBq/m ³	約0.2~0.3mBq/m ³	約0.005~0.01mBq/m ³
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。			
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88			
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施			
	BG測定頻度	月1回 200,000秒			
備考		平成26年7月:測定開始	平成23年11月:測定開始 平成27年7月:測定時間変更(3,600秒→20,000秒)	平成28年4月:測定開始	平成27年10月:測定時間変更(3,600秒→21,600秒) 平成28年4月:前処理変更(生→灰化)

項目	試料名	大気浮遊じん		降下物	
		リアルタイムダストモニタ	リアルタイムダストモニタ(福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内)	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
核種		Cs-134、Cs-137		Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地上約2m	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地上約2m	建物屋上等に水盤を設置し、1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。	
	採取容器等	ろ紙(HE-40T)	ろ紙(ICAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	大型水盤または小型水盤(SUS製バケツ)	
	採取量	約2,200m ³	約1,250m ³	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	試料毎に分けて採取している。	試料毎に分けて採取している。	容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	
前処理	方法	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	灰にした試料全量をU8容器に充填する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	採取試料全量を充填	採取試料全量を充填
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	測定容器(U-8)は試料毎に新品を使用している。	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置		Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	灰	生	乾固物	
	測定容器	U8容器		U8容器	
	供試料量	約2,200m ³	約1,250m ³	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	測定時間	80,000秒	80,000秒	80,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.02~0.06mBq/m ³	約0.02~0.06mBq/m ³	大型水盤: 約0.1~0.2MBq/km ² 程度 小型水盤: 約0.3~0.7MBq/km ² 程度	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88		Cd-109、Co-57、60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒		月1回 200,000秒	
備考	平成28年4月:測定開始	平成27年4月:測定開始 ろ紙がPTFE製のため減容不可	事故前から測定していた3地点では大型水盤、事故後に追加した23地点では小型水盤を使用している。 平成24年4月:小型水盤による採取開始 平成27年6月:比較対照地点の前処理変更(2L分取→2L濃縮) 平成28年4月:前処理変更(2L分取・2L濃縮→全量蒸発乾固) 比較対照地点の測定時間変更(21,600秒→80,000秒)		

項目	試料名	陸土		上水		
	核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90
試料採取	採取方法	裸未耕土の表層(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所以上、計3kg程度になるまで採取する。		各地点の上水(水道水)を蛇口より容器に採取。		
	採取容器等	採土器		ポリタンク	ポリビン	ポリタンク
	採取量	3kg程度		20L	1L	100L
	現場での前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし		
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	採土器は共用で、採取の都度洗浄を行っている。		採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。		
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけて、十分に混合する。	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけて、十分に混合する。	加熱濃縮法	減圧蒸留法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)	震災前と変更なし		
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料毎に地点専用のSUS製ふるいを使用(比較対照地点) ・試料処理毎に汚染がないことを確認		・前処理器具は上水専用または新品を使用もしくは試料毎に十分洗浄して使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認		
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	乾固物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	100mLテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)
	供試料量	約100g	100g	20L	50mL	100L
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	30,000秒	3,600秒
	測定下限値	約1~10Bq/kg乾土	約0.2~0.5Bq/kg乾土	約0.001~0.002Bq/L	約0.32~0.46Bq/L	約0.00015~0.0004Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度
備考		平成28年4月:採取方法変更(U8容器→採土器) Cs-134, Cs-137の前処理変更(湿土→乾土)		平成28年4月:前処理変更(生→加熱濃縮法)		

項目	試料名	海水			海底土	
	核種	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90	Cs-134, Cs-137	Sr-90
試料採取	採取方法	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて採取する。			船上から採泥器にて採取する。	
	採取容器等	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	採泥器	
	採取量	40L	1L	60L	3kg程度	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。			採泥袋は地点毎に新品を使用し、採泥器は使用毎に洗浄している。	
前処理	方法	リンモリブデン酸アンモニウム -二酸化マンガン共沈法	減圧蒸留法	イオン交換法	一昼夜程度自然乾燥させ、105°Cで72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	震災前と変更なし			地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取。(インクリメント縮分法)	
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	・採取地点毎の専用容器または新品を使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認			・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料処理毎に汚染確認を行い、汚染がないことを確認	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体 シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフ ロー計数装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフ ロー計数装置
	測定試料状態	リンモリブデン酸アンモニウム と二酸化マンガンの混合物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	乾土	鉄共沈物
	測定容器	U8容器	100mlテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)
	供試料量	20L以上	50mL	40L	約100g	100g
	測定時間	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒	3,600秒
	測定下限値	約0.001~0.002Bq/L	約0.32~0.46Bq/L	約0.0007~0.01Bq/L	約0.5~1.5Bq/kg乾土	約0.15~0.25Bq/kg乾土
	測定におけるコンタミ防 止とその確認法	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染の ないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を 使用し、検出器の汚染につ いては、測定時にBG測定を 行っている。	試料毎に新品のステンレス皿 を使用し、検出器の汚染につ いては、測定時にBG測定を 行っている。	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染の ないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿 を使用し、検出器の汚染につ いては、測定時にBG測定を 行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn- 54, Y-88	H-3	Sr-90	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn- 54, Y-88	Sr-90
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)メーカーによる簡易点 検、精密点検、各1回。精密点検 時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)JCAC分析確認調査時使 用試料にて効率確認。	(年1回)Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)JCAC分析確認調査時使 用試料にて効率確認。
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度
備考		平成28年4月:前処理変更 (生→リンモリブデン酸アンモ ニウム-二酸化マンガン共沈 法)				

項目	試料名	松葉	
		福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
核種		Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。	
	採取容器等	ビニール袋	
	採取量	500g程度	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取地点毎に新品の袋に採取	
前処理	方法	95°Cで所定時間加熱乾燥後、粉砕機により粉砕	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	乾燥後の試料から所定量を均等に分取	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱乾燥に用いる容器はデスポーザブル容器を使用。 ・粉砕機は、地点専用のものを使用。	・加熱乾燥に用いるバットは十分洗浄して使用 ・粉砕器は、地点専用のものを使用
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾燥物	
	測定容器	U8容器	
	供試料量	約 50g	
	測定時間	80,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.5～1Bq/kg生	約0.5～1Bq/kg生
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	
備考	平成27年7月：比較対照地点の測定時間変更(3,600秒→10,800秒) 平成28年4月：前処理変更(生→乾燥) マニュアルに示す減容処理(灰化)は実施していない。除染等により松の木が減少しており、継続的に採取していくには、1回の採取量を抑える必要がある。また、松葉はそのまま測定しても検出可能である地点が多いことから、濃縮度を小さくしても支障ないと考えた。これらの理由から、灰までの濃縮は行わず、乾燥にとどめた。		

第 4 測定結果

4-1 空間放射線

4-1-1 空間線量率

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域（以下「1F 近傍」という。）で 8 地点、福島第一原子力発電所から概ね半径 5km 以上 30km 未満及び福島第二原子力発電所から概ね半径 30km 未満の地域（以下「1F・2F 周辺」という。）で 31 地点、福島第一及び第二原子力発電所からそれぞれ 30km 以上離れた地域（以下「比較対照地点」という。）で 3 地点、計 42 地点で空間線量率を常時測定しました。各地点の測定結果は以下の通りです。詳細な測定値は 29～31、49 ページを参照。

(1) 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という）の影響により依然として事故前の月間平均値を上回っていますが、全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。測定値は 1F 近傍、1F・2F 周辺、比較対照地点の順に低くなっています。

各地点の空間線量率の月間平均値

(単位：nGy/h)

測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値(*1)		
		4 月	5 月	6 月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	493～9,540	486～9,520	474～9,220	499～	910～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/18 に減少			18,341	176,000	
1F・2F 周辺	31	46～1,350	46～1,370	46～1,350	51～	117～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/43 に減少			2,547	58,454	
比較対 照地点	3	65～142	65～143	64～143	65～	181～	39～42
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/26 に減少			220	3,716	

(注) *1「過去の月間平均値」の期間（次項以降も同じ）

H26～：平成 26 年度から前四半期まで。

事故直後：事故後（平成 23 年 3 月 11 日以降）から平成 25 年度まで。

事故前：平成 13 年度から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

なお、測定地点数は年度により異なる。

(2) 1時間値の変動状況

各測定地点における1時間値は、降雨等の影響による変動があるものの、発電所等に由来すると思われる大きな変動はありませんでした。

なお、1時間値は降雨による影響により、およそ300nGy/h以下の低線量地域では一時的に上昇し、およそ300nGy/hを超える高線量地域では一時的に低下するという傾向が見られます。

各地点の空間線量率の最大値（1時間値）（単位：nGy/h）

測定 エリア	測定 地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
		4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	504～9,760	501～9,930	490～9,530	18,578	1,018,174	157
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/103に減少					
1F・2F 周辺	31	65～1,420	67～1,450	66～1,410	2,674	1,591,066	
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/1,100に減少					
比較対 照地点	3	75～159	80～157	73～163	232	9,956	88
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/61に減少					

4-1-2 空間積算線量

1F近傍で7地点、1F・2F周辺で57地点、計64地点で空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は32～34ページを参照。

90日換算値は、事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の90日換算値（単位：mGy/90日）

測定 エリア	測定 地点数	測定値	過去の測定値		
		(平成29年4月13日～ 平成29年7月13日)	H26～	事故直後	事故前(*1)
1F近傍	7	1.1～25	1.2～45	2.38～137.79	0.10～0.14
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/6に減少			
1F・2F周辺	57	0.16～17	0.16～31	0.18～35.84	
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/2に減少			

(注) *1 事故前：事故前から測定していた20地点における平成15年度第1四半期から平成22年度第3四半期まで。

4-2 環境試料

4-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及びベータ放射能

1F近傍で3地点、1F・2F周辺で14地点、計17地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。詳細な測定値は35～36ページを参照。

(1) 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、発電所からの距離に関係なく、いずれも事故前の月間平均値と同程度であり、事故の影響による測定値の変動は見られませんでした。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値 (単位: Bq/m³)

測定項目	測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値		
			4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
全 アルファ 放射能	1F 近傍	3	0.015～ 0.018	0.018～ 0.022	0.014～ 0.017	0.004～ 0.059	0.007～ 0.039	0.007～ 0.076
	1F・2F 周辺	14	0.013～ 0.061	0.016～ 0.068	0.015～ 0.055	0.004～ 0.088	0.009～ 0.046	
全 ベータ 放射能	1F 近傍	3	0.035～ 0.077	0.045～ 0.088	0.033～ 0.072	0.022～ 0.16	0.025～ 0.22	0.018～ 0.12
	1F・2F 周辺	14	0.038～ 0.094	0.042～ 0.10	0.038～ 0.087	0.017～ 0.12	0.030～ 2.0	

(2) 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は事故前の最大値を下回りました。また、全アルファ・全ベータ放射能に良い相関が見られていることから、変動の要因は自然放射能の影響によるものと考えられ、事故の影響による測定値の変動は見られませんでした。なお、巻末のグラフ集(57～65ページ)に相関図を示しております。

各地点の大気浮遊じんの最大値 (単位: Bq/m³)

測定項目	測定 エリア	測定 地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
			4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
全 アルファ 放射能	1F 近傍	3	0.073～ 0.11	0.095～ 0.13	0.068～ 0.11	0.21	0.19	0.58
	1F・2F 周辺	14	0.061～ 0.34	0.083～ 0.37	0.080～ 0.32	0.35	0.34	
全 ベータ 放射能	1F 近傍	3	0.12～ 0.35	0.17～ 0.42	0.11～ 0.32	0.41	1.3	0.78
	1F・2F 周辺	14	0.10～ 0.44	0.14～ 0.49	0.12～ 0.45	0.46	54	

4-2-2 環境試料の核種濃度（ガンマ線放出核種）

今期間に測定した環境試料は、大気浮遊じんが 49 地点 307 試料、降下物が 12 地点 36 試料、陸土が 22 地点 22 試料、上水が 13 地点 13 試料、海水が 8 地点 20 試料、海底土が 8 地点 8 試料、松葉が 20 地点 20 試料の 7 品目で合計 426 試料でした。詳細な測定値は 37～48、50、52～53 ページを参照。

全 7 品目の 118 試料からセシウム-134 が、全 7 品目の 243 試料からセシウム-137 が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期と比較すると概ね横ばい傾向にあります。

上水の一部からセシウム-134 及びセシウム-137 が検出されていますが、摂取基準である 10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。

また、陸土からアンチモン-125 が微量ながら検出されましたが、これまでの測定値と同程度でした。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
大気浮遊じん (mBq/m ³)	Cs-134	1F 近傍	7	ND～0.21	ND～1.8	0.072～38	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～0.043	ND～0.65	ND～1,100	
		比較対照地点	7	ND	ND～0.13	ND～8.2	—
	Cs-137	1F 近傍	7	ND～1.4	ND～5.2	0.14～39	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～0.29	ND～2.1	ND～990	
		比較対照地点	7	ND～0.094	ND～0.45	ND～10	—
降下物 (Bq/m ²) (MBq/km ²)	Co-60	1F 近傍	2	ND	ND～0.54	ND	ND
		1F・2F 周辺	8	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	18～210	ND～1,200	76～5,000,000	ND
		1F・2F 周辺	8	ND～16	ND～110	ND～940,000	
		比較対照地点	2	ND～6.9	ND～180	ND～140,000	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	130～1,400	21～4,300	170～5,600,000	ND～0.15
		1F・2F 周辺	8	1.8～110	ND～340	ND～1,000,000	
		比較対照地点	2	ND～45	ND～620	ND～150,000	ND～0.093

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
陸 土 (Bq/kg 乾 (事故直後及び H26～H27 は Bq/kg 湿))	Co-60	1F 近傍	2	ND	ND～3.2	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND～1.9	ND	
		比較対照地点	7	ND	ND	ND	ND
	Sb-125	1F 近傍	2	ND	ND	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND	ND	
		比較対照地点	7	ND～20	ND～28	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	5,400～31,000	5,600～49,000	2,700～230,000	ND
		1F・2F 周辺	13	13～7,400	4.9～7,800	32～12,000	
		比較対照地点	7	9.7～640	5.0～690	14～9,200	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	38,000～220,000	20,000～230,000	3,100～310,000	ND～16
		1F・2F 周辺	13	93～52,000	29～30,000	75～26,000	
		比較対照地点	7	85～4,500	37～3,600	18～14,000	ND～30
上 水 (Bq/l)	Cs-134	1F 近傍	—	—	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.007	ND～0.062	ND～0.17	
		比較対照地点	2	ND	ND～0.002	ND	ND
	Cs-137	1F 近傍	—	—	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.042	ND～0.18	ND～0.29	
		比較対照地点	2	ND～0.007	ND～0.011	ND	ND
海 水 (Bq/l)	Cs-134	1F 放取水口	3	ND～0.021	ND～0.35	ND～2.4	ND
		1F 沖合	3	ND～0.005	ND～0.067	ND～0.094	
		2F 放水口	2	ND～0.003	ND～0.012	ND～0.20	
		松川浦	1	—	ND～0.005	ND	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	0.006～0.15	ND～1.1	ND～5.0	ND～ 0.003
		1F 沖合	3	0.005～0.037	ND～0.31	ND～0.19	
		2F 放水口	2	0.018～0.024	ND～0.12	0.12～0.42	
		松川浦	1	—	ND～0.028	ND	ND～0.002

(注)「—」は今期測定対象外。

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
海底土 (Bq/kg 乾)	Mn-54	1F 放取水口	3	ND	ND～1.1	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND～0.62	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND
	Co-60	1F 放取水口	3	ND	ND～1.0	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 放取水口	3	26～52	33～320	120～450	ND
		1F 沖合	3	6.9～23	6.4～130	25～72	
		2F 放水口	2	12～15	9.7～68	47～230	
		松川浦	1	—	ND～4.4	1.3	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	180～360	180～870	230～1,000	ND～ 0.97
		1F 沖合	3	48～150	28～630	61～170	
		2F 放水口	2	83～100	57～200	100～470	
		松川浦	1	—	1.8～13	2.6	ND～2.3
松葉 (Bq/kg 生)	Cs-134	1F 近傍	2	25～74	31～1,200	740～210,000	ND
		1F・2F 周辺	13	ND～18	ND～280	ND～61,000	
		比較対照地点	5	ND～4.3	ND～91	ND～33,000	—
	Cs-137	1F 近傍	2	190～530	200～6,100	1,900～230,000	ND～1.2
		1F・2F 周辺	13	0.88～130	ND～910	ND～68,000	
		比較対照地点	5	ND～28	ND～290	ND～52,000	—

(注)「—」は今期測定対象外。

4-2-3 環境試料の核種濃度 (ベータ線放出核種)

大気中水分 1 地点 3 試料、上水 13 地点 13 試料、海水 8 地点 20 試料の合計 36 試料について、トリチウムの調査を実施しました。詳細な測定値は 46～47、51、53 ページを参照。

このうち、大気中水分 1 地点 3 試料、上水 8 地点 8 試料、海水 1 地点 1 試料からトリチウムが検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

陸土 22 地点 22 試料、上水 12 地点 12 試料、海水 8 地点 20 試料、海底土 8 地点 8 試料について、ストロンチウム-90 の調査を実施しました。詳細な測定値は 46～47、53 ページを参照。

このうち、陸土 21 地点 21 試料、上水 7 地点 7 試料、海水全試料、海底土 3 地点 3 試料からストロンチウム-90 が検出されました。事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回った試料がありますが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期と比較すると概ね横ばい傾向にあります。

環境試料のベータ線放出核種濃度

試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
大気中 水分 (mBq/m ³)	H-3	1F 近傍	—	—	—	—	ND～23
		1F・2F 周辺	—	—	—	—	
		比較対照地点	1	6.0～14	ND～21	ND～41	ND～12
陸土 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F 近傍	2	31～52	19～61	15～81	ND～3.5
		1F・2F 周辺	13	ND～9.5	ND～17	ND～14	
		比較対照地点	7	0.20～8.5	ND～16	ND～32	1.8～4.3
上水 (Bq/l)	H-3	1F 近傍	—	—	—	—	ND～1.2
		1F・2F 周辺	11	ND～0.53	ND～0.94	ND～0.96	
		比較対照地点	2	ND～0.40	ND～0.85	ND～1.4	ND～1.3
	Sr-90	1F 近傍	—	—	—	—	0.001～0.002
		1F・2F 周辺	11	ND～0.0014	ND～0.002	ND～0.002	
		比較対照地点	1	0.0015	0.001	0.001～0.002	0.001～0.002
海水 (Bq/l)	H-3	1F 放取水口	3	ND～0.36	ND～2.6	ND～6.2	ND～2.9
		1F 沖合	3	ND	ND～0.91	ND～0.58	
		2F 放水口	2	ND	ND～0.86	ND～0.56	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND～0.46
	Sr-90	1F 放取水口	3	0.0007～0.0071	ND～0.76	0.005～2.9	ND～0.002
		1F 沖合	3	0.0006～0.0011	ND～0.031	0.001～0.26	
		2F 放水口	2	0.0011～0.0013	0.001～0.003	0.033～0.034	
		松川浦	1	—	0.001	0.001	0.001～0.002
海底土 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F 放取水口	3	ND～0.23	ND～2.6	ND～1.2	ND
		1F 沖合	3	ND	ND～0.55	ND～0.19	
		2F 放水口	2	0.18～0.32	ND～0.32	ND～0.21	
		松川浦	1	—	ND～0.21	ND	ND～0.02

(注)「—」は今期測定対象外。

4-2-4 環境試料の核種濃度 (アルファ線放出核種)

陸土 22 地点 22 試料、上水 12 地点 12 試料、海水 8 地点 20 試料、海底土 8 地点 8 試料について、プルトニウム-238 及びプルトニウム-239+240 の調査を実施しました。詳細な測定値は 46～47、53 ページを参照。

陸土 8 地点 8 試料からプルトニウム-238 が検出されましたが、事故前の測定値と同程度でした。

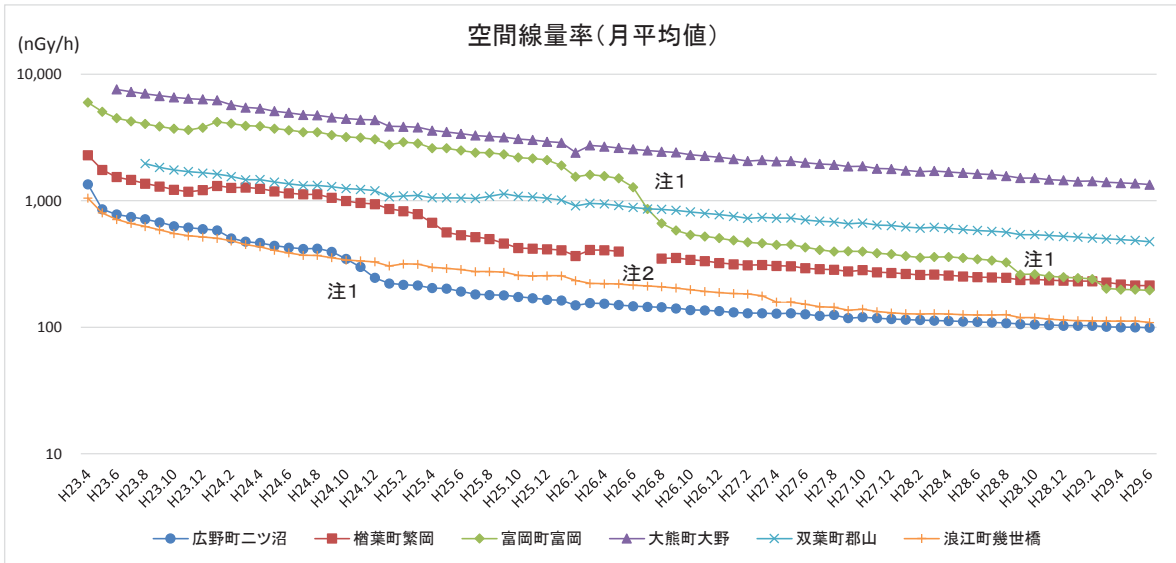
また、陸土 17 地点 17 試料、海水 3 地点 4 試料、海底土全試料からプルトニウム-239+240 が検出されましたが、事故前の測定値と同程度でした。

環境試料のアルファ線放出核種濃度

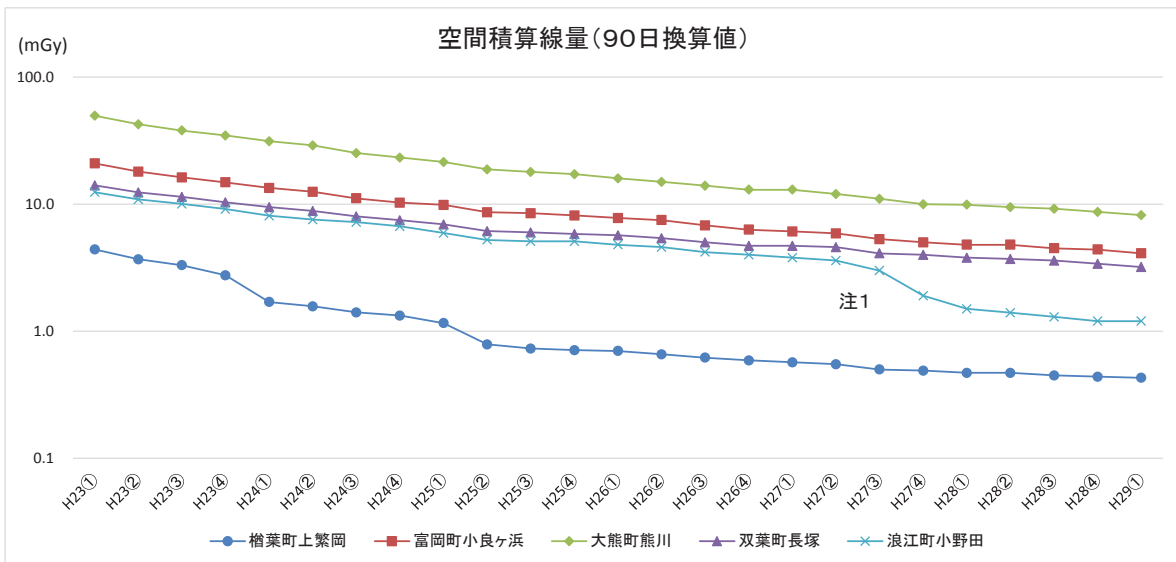
試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
陸 土 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 近傍	2	0.01～0.04	ND～0.09	ND～0.03	ND～0.03
		1F・2F 周辺	13	ND～0.02	ND～0.05	ND～0.05	
		比較対照地点	7	ND～0.02	ND～0.03	ND～0.18	ND～0.08
	Pu-239+240	1F 近傍	2	0.06～0.37	0.05～0.36	0.20～0.34	ND～0.44
		1F・2F 周辺	13	ND～0.85	ND～0.97	ND～0.66	
		比較対照地点	7	ND～0.70	ND～1.2	ND～4.8	ND～2.6
	Am-241	1F 近傍	2	測定中	0.02～0.15	0.02～0.16	—
		1F・2F 周辺	13	測定中	ND～0.44	ND～0.25	
		比較対照地点	1	0.26	0.20～0.41	0.11	—
	Cm-244	1F 近傍	2	測定中	ND	ND	—
		1F・2F 周辺	13	測定中	ND	ND	
		比較対照地点	1	ND	ND	ND	—
上 水 (mBq/l)	Pu-238	1F 近傍	—	—	—	—	—
		1F・2F 周辺	11	ND	ND	ND	
		比較対照地点	1	ND	ND	ND	
	Pu-239+240	1F 近傍	—	—	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND	ND	ND	
		比較対照地点	1	ND	ND	ND	
海 水 (mBq/l)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND～0.010	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	
	Pu-239+240	1F 放取水口	3	ND～0.012	ND～0.016	ND～0.014	ND～0.013
		1F 沖合	3	ND	ND～0.009	ND～0.010	
		2F 放水口	2	ND	ND～0.020	ND～0.011	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND～0.012
海 底 土 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND～0.01	ND～0.02	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	
	Pu-239+240	1F 放取水口	3	0.20～0.29	0.09～0.39	0.08～0.32	0.15～0.61
		1F 沖合	3	0.33～0.47	0.31～0.57	0.33～0.52	
		2F 放水口	2	0.22～0.24	0.14～0.31	0.21～0.25	
		松川浦	1	—	0.18～0.31	0.20	

(注)「—」は今期測定対象外。

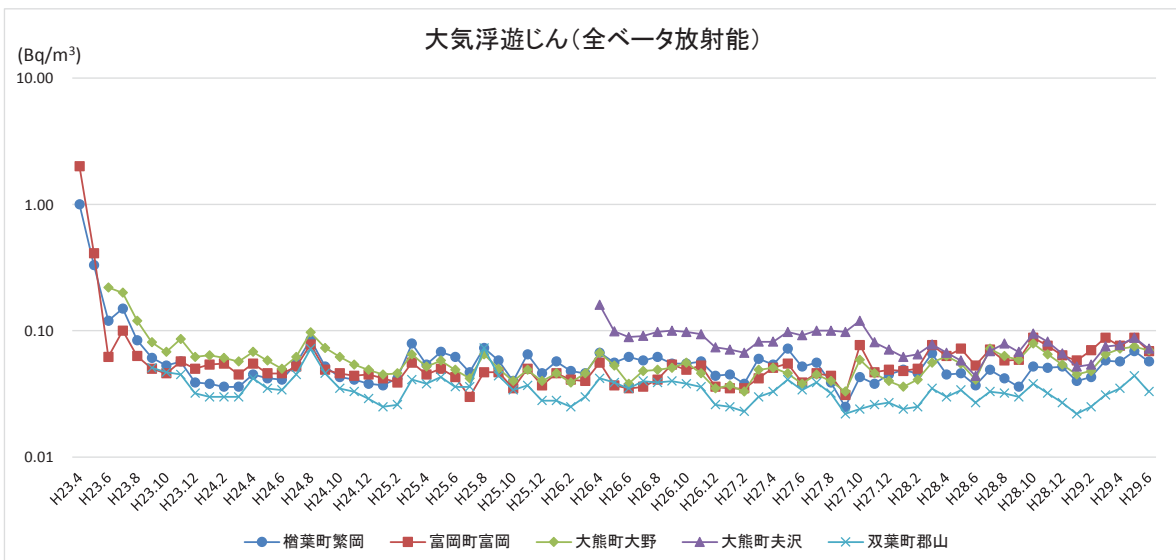
事故後の各項目毎のトレンドグラフ

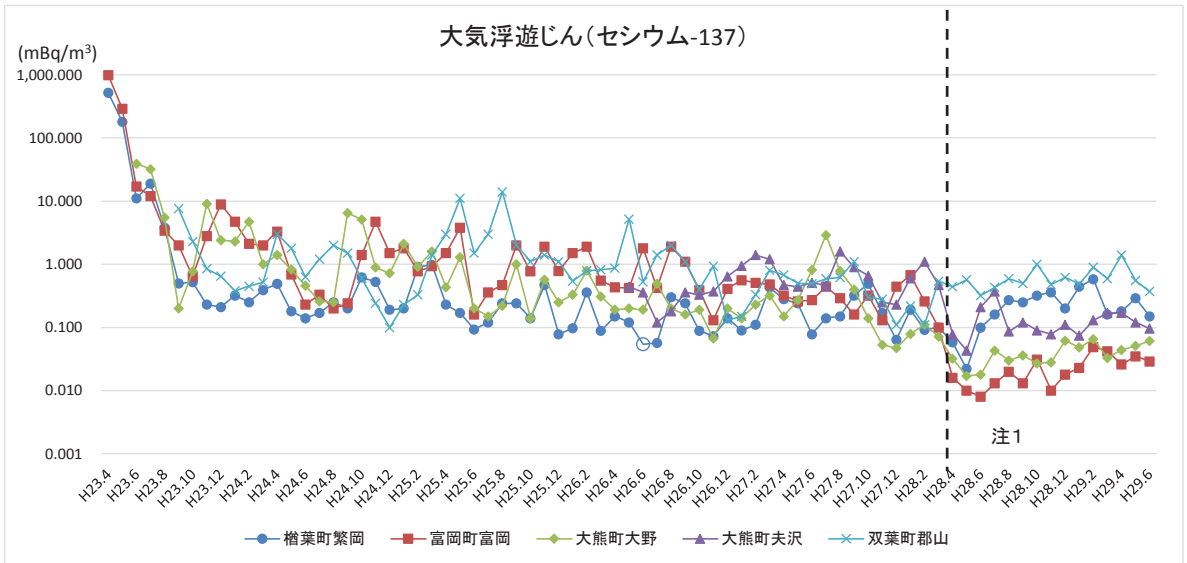


注1: 除染による減少、注2: 欠測

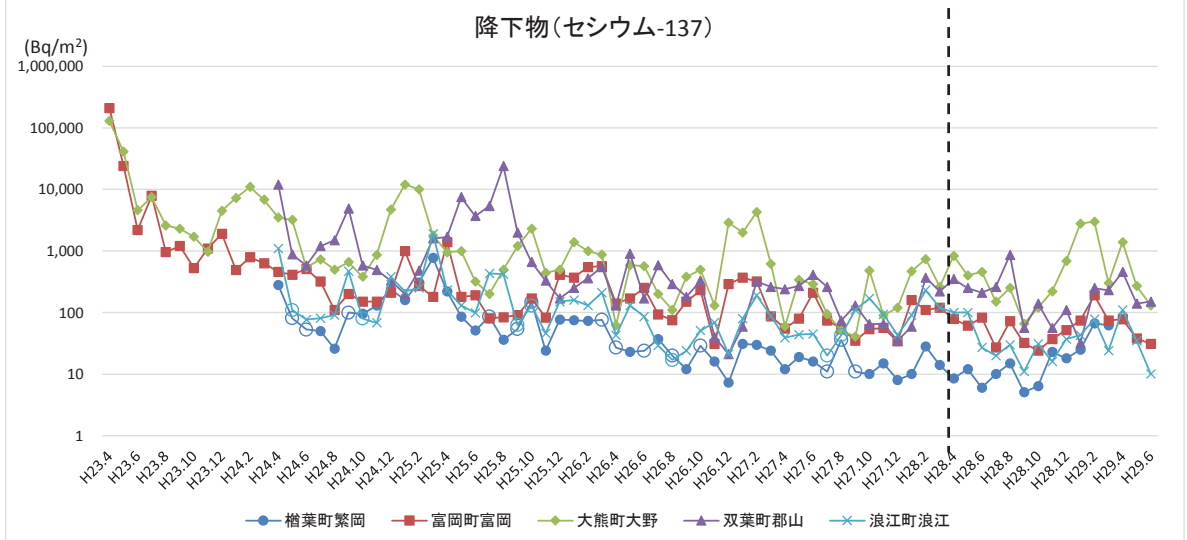


注1: 除染による減少

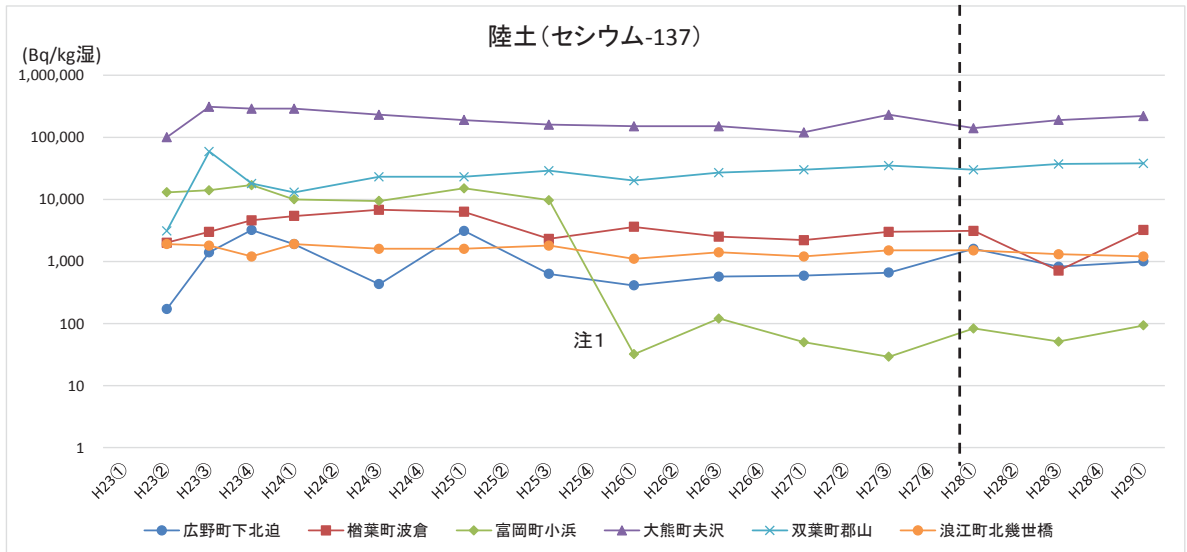




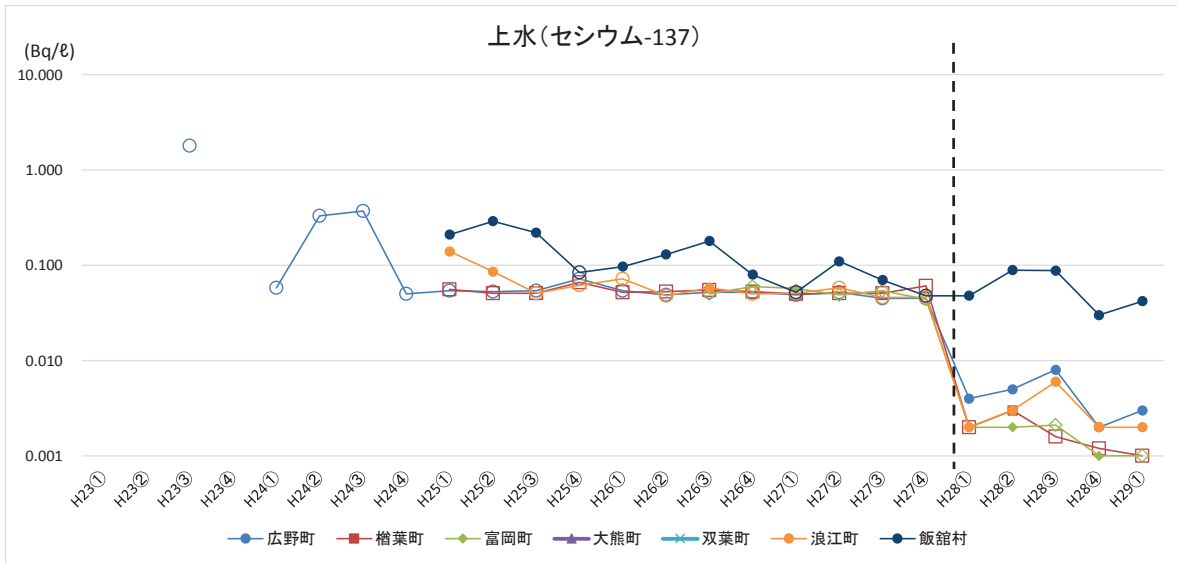
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 富岡町富岡は機器不具合のため平成28年7月から10月は参考値



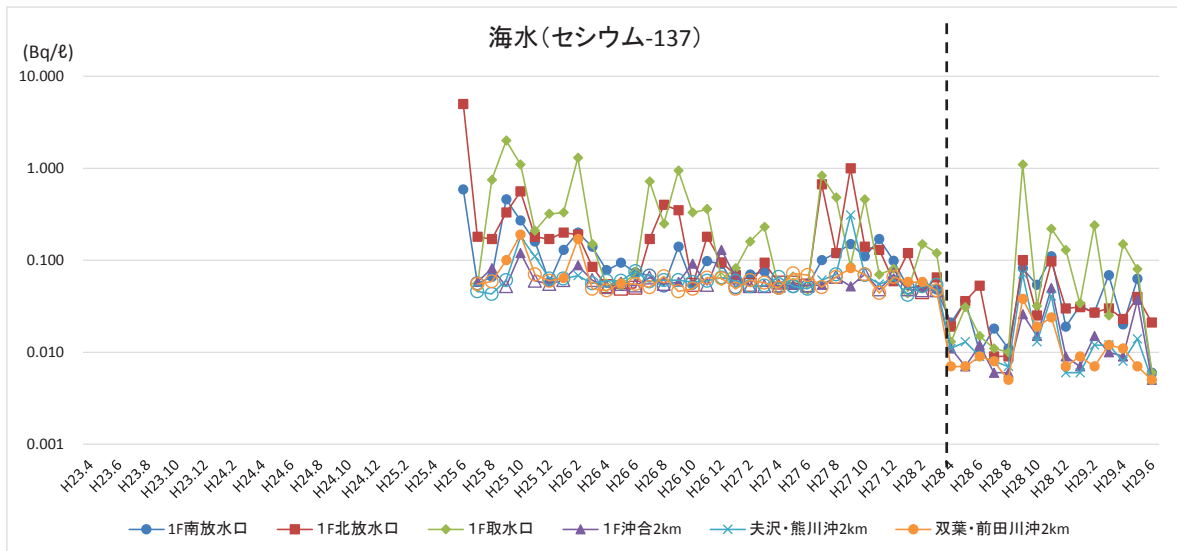
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。



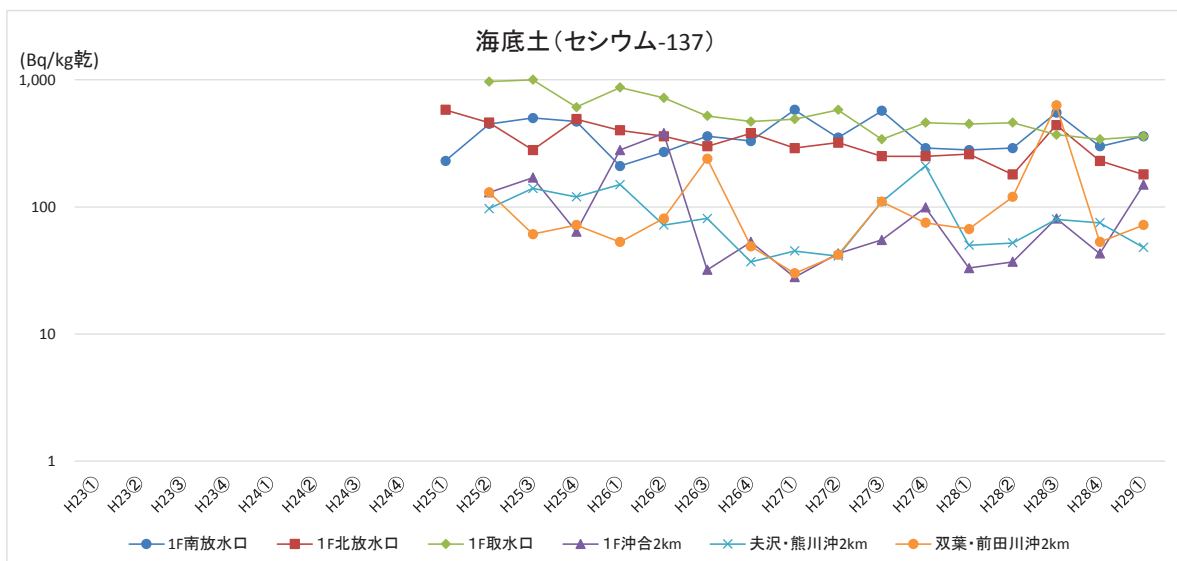
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 除染による減少

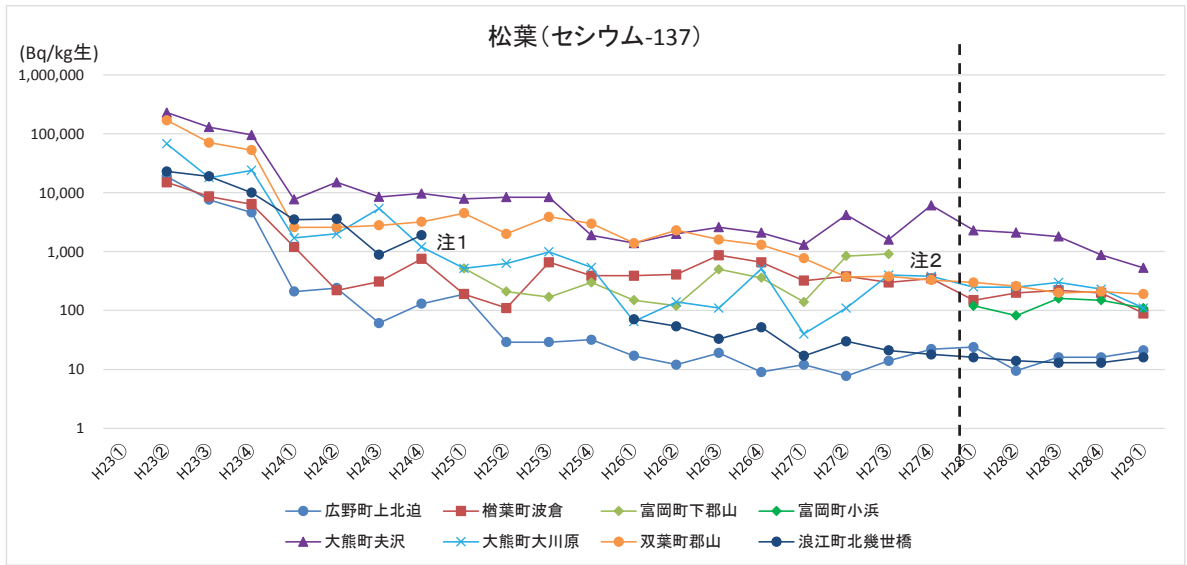


・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方に戻し、検出下限値が低下。



・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方に戻し、検出下限値が低下。





・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施
 注2: 富岡町下郡山は平成27年第4四半期から欠測

第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表

5-1 空間放射線

5-1-1 空間線量率

No.	測定地点名	H29.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H30.1		2		3	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	いわき市小川	54 (65)	720	51 (67)	744	50 (66)	720																		
2	いわき市久之浜	88 (94)	720	88 (99)	744	88 (96)	720																		
3	いわき市下補光	59 (70)	720	59 (79)	744	59 (72)	720																		
4	いわき市川前	69 (84)	720	70 (84)	744	69 (82)	720																		
5	田村市都路馬洗戸	97 (107)	720	98 (113)	744	97 (109)	720																		
6	広野町二ツ沼	100 (126)	720	100 (120)	744	99 (115)	720																		
7	広野町小滝立	93 (106)	720	94 (114)	744	93 (101)	720																		
8	檜葉町山田岡	70 (82)	720	71 (88)	744	70 (85)	720																		
9	檜葉町木戸ダム	114 (129)	720	116 (131)	744	115 (125)	720																		
10	檜葉町繁岡	218 (227)	720	214 (233)	744	214 (227)	720																		
11	檜葉町松館	243 (254)	720	240 (266)	744	235 (248)	720																		
12	檜葉町波倉	284 (292)	720	284 (296)	744	282 (293)	720																		

単位:線量率:μSv/h
測定時間:h
上段:平均値(下段):最大値

No.	測定年月 測定項目 測定地点名	H29.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H30.1		2		3	
		繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下	繰上	繰下
		繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率	繰上率	繰下率
13	富岡町 上郡山	327 (338)	720 (344)	326 (344)	744 (333)	321 (333)	720																		
14	富岡町 下郡山	243 (257)	720	242 (269)	744	231 (256)	658																		
15	富岡町 深谷 *1	201 (218)	720	199 (230)	744	195 (220)	720																		
16	富岡町 富岡	199 (212)	720	198 (222)	744	196 (213)	720																		
17	富岡町 夜の森	1,090 (1,140)	720	1,080 (1,130)	744	1,060 (1,110)	720																		
18	川内村 下川内	216 (225)	720	216 (233)	744	214 (226)	720																		
19	大熊町 向畑	1,680 (1,730)	720	1,660 (1,730)	744	1,610 (1,670)	720																		
20	大熊町 熊川 *1	2,190 (2,330)	720	2,220 (2,380)	744	2,220 (2,380)	720																		
21	大熊町 南台 *2	5,670 (5,800)	720	5,630 (5,830)	744	5,450 (5,640)	720																		
22	大熊町 大野	1,380 (1,400)	720	1,370 (1,400)	744	1,340 (1,370)	720																		
23	大熊町 夫沢 *2	9,540 (9,760)	720	9,520 (9,930)	744	9,220 (9,530)	720																		
24	双葉町 山田 *2	5,320 (5,510)	720	5,280 (5,640)	744	5,060 (5,350)	720																		
25	双葉町 郡山	493 (504)	720	486 (501)	744	474 (490)	720																		
26	双葉町 新山	1,760 (1,840)	720	1,760 (1,890)	744	1,700 (1,780)	720																		
27	双葉町 上羽	654 (667)	720	647 (675)	744	623 (663)	720																		

No.	測定年月 測定項目 測定地点名	H29.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H30.1		2		3	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
28	浪江町 請戸 *1	124 (143)	720	127 (140)	744	125 (142)	720																		
29	浪江町 棚瀬 *1	84 (98)	720	86 (102)	744	84 (99)	720																		
30	浪江町 浪江	173 (181)	720	173 (181)	744	170 (183)	720																		
31	浪江町 幾世橋	112 (125)	720	112 (124)	744	109 (120)	720																		
32	浪江町 大柿ダム	890 (912)	720	890 (915)	744	884 (905)	720																		
33	浪江町 南津島	1,350 (1,420)	720	1,370 (1,450)	744	1,350 (1,410)	720																		
34	葛尾村 夏湯	162 (172)	720	162 (177)	744	161 (179)	720																		
35	南相馬市 泉次	135 (147)	720	135 (152)	744	132 (148)	720																		
36	南相馬市 横川ダム	273 (286)	720	275 (288)	744	272 (283)	720																		
37	南相馬市 蘆浜	46 (66)	720	46 (72)	744	46 (66)	720																		
38	飯館村 伊丹次	234 (249)	720	236 (251)	744	239 (258)	720																		
39	川俣町 山木屋	170 (185)	720	171 (187)	744	169 (181)	720																		

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 *1 可搬型モニタリングポストによる測定

3 *2 空間線量率の測定はモニタリングポスト (NaIシンチレーション検出器、単位：ナノグレイ/時) により行ったが、概ね10,000nGy/h (10μGy/h)を超えた場合は、

併設している高線量用モニタリングポスト (電離箱検出器、単位：ナノグレイ/時) の測定値で補完した。

5-1-2 空間積算線量

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定項目	H29. 4. 13 ~H29. 7. 13					
			積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数
1	いわき市 石森		0.23 (0.22)	91				
2	いわき市 西倉		0.28 (0.28)	91				
3	いわき市 大野		0.22 (0.22)	91				
4	いわき市 福岡		0.25 (0.24)	91				
5	いわき市 大久		0.23 (0.23)	91				
6	いわき市 末統		0.33 (0.33)	91				
7	いわき市 上小川		0.36 (0.35)	91				
8	いわき市 志田名		0.41 (0.41)	91				
9	いわき市 小白井		0.22 (0.22)	91				
10	田村市 場々		0.39 (0.39)	91				
11	田村市 平道		0.25 (0.25)	91				
12	田村市 岩井沢		0.21 (0.21)	91				
13	広野町 下浅見川		0.23 (0.22)	91				
14	広野町 篠平		0.28 (0.28)	91				
15	檜葉町 山田岡		0.22 (0.22)	91				
16	檜葉町 乙次郎		0.28 (0.27)	91				
17	檜葉町 井出		0.28 (0.28)	91				
18	檜葉町 上繁岡		0.43 (0.43)	91				
19	富岡町 太田		0.58 (0.58)	91				
20	富岡町 赤木		0.50 (0.49)	91				
21	富岡町 小良ヶ浜		4.1 (4.1)	91				
22	富岡町 夜の森北		1.8 (1.8)	91				

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定項目	H29. 4. 13 ~H29. 7. 13					
			積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数
23	富岡町	上手岡	0.79	(0.79)	91			
24	川内村	三ツ右	0.69	(0.68)	91			
25	川内村	貝ノ坂	1.0	(1.0)	91			
26	川内村	五枚沢	0.35*	(0.35*)	91			
27	川内村	上川内	0.22	(0.22)	91			
28	大熊町	大川原	0.45	(0.44)	91			
29	大熊町	旭ヶ丘	0.53	(0.52)	91			
30	大熊町	野上	3.8	(3.8)	91			
31	大熊町	熊川	8.3	(8.2)	91			
32	大熊町	大野	10	(9.9)	91			
33	大熊町	夫沢	25	(25)	91			
34	大熊町	湯の神	2.6	(2.6)	91			
35	大熊町	長者原	7.3	(7.2)	91			
36	双葉町	清戸迫	1.6	(1.6)	91			
37	双葉町	郡山	1.1	(1.1)	91			
38	双葉町	長塚	3.3	(3.2)	91			
39	浪江町	井手	17	(17)	91			
40	浪江町	請戸	0.34	(0.33)	91			
41	浪江町	小野田	1.2	(1.2)	91			
42	浪江町	幾世橋	0.34	(0.34)	91			
43	浪江町	刈宿	0.75	(0.74)	91			
44	浪江町	皇曾根	9.4	(9.3)	91			

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定項目	H29. 4. 13 ~H29. 7. 13					
			積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数
45	浪江町 津島		4.1 (4.1)	91				
46	葛尾村 天放		0.44 (0.44)	91				
47	葛尾村 霧合		0.57 (0.56)	91				
48	葛尾村 野行		3.4 (3.4)	91				
49	南相馬市 浦尻		0.27 (0.26)	91				
50	南相馬市 耳谷		0.31 (0.31)	91				
51	南相馬市 川房		1.3 (1.3)	91				
52	南相馬市 関場		0.59 (0.58)	91				
53	南相馬市 高		0.25 (0.25)	91				
54	南相馬市 大木戸		0.20 (0.19)	91				
55	南相馬市 晝浜		0.16 (0.16)	91				
56	南相馬市 大原		0.40*2 (0.39*2)	91				
57	南相馬市 川子		0.29 (0.29)	91				
58	飯館村 蘇平		1.0 (0.98)	91				
59	飯館村 長泥		3.9 (3.9)	91				
60	飯館村 飯樋		0.69 (0.68)	91				
61	飯館村 白右		1.3 (1.2)	91				
62	飯館村 草野		1.1 (1.1)	91				
63	川俣町 山木屋坂下		1.1 (1.1)	91				
64	川俣町 山木屋		0.38 (0.38)	91				

注) 1 () 内は90日換算値

2 No. の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

3 *1 収納箱が移動されていたので参考値

4 *2 収納箱が倒壊していたので参考値

5-2 環境放射線

5-2-1 大気浮遊じん中の全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位:線量率:Bg/m³ 測定時間:h
上段:平均値(下段):最大値

No.	測定地名	測定項目	H29.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H30.1		2		3			
			測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間		
1	いわき市 <small>いわき市</small>	全アルファ放射能	0.042 (0.27)	720	0.043 (0.23)	744	0.036 (0.26)	720																				
		全ベータ放射能	0.065 (0.34)	720	0.067 (0.29)	744	0.058 (0.32)	720																				
2	田村市 <small>田村市</small>	全アルファ放射能	0.016 (0.070)	720	0.018 (0.089)	690	0.017 (0.11)	660																				
		全ベータ放射能	0.038 (0.11)	720	0.042 (0.14)	690	0.038 (0.17)	660																				
3	広野町 <small>広野町</small>	全アルファ放射能	0.016 (0.061)	720	0.022 (0.089)	744	0.020 (0.10)	648																				
		全ベータ放射能	0.038 (0.10)	720	0.046 (0.14)	744	0.043 (0.16)	648																				
4	楢葉町 <small>楢葉町</small>	全アルファ放射能	0.024 (0.099)	720	0.028 (0.11)	732	0.027 (0.14)	720																				
		全ベータ放射能	0.046 (0.14)	720	0.052 (0.16)	732	0.050 (0.18)	720																				
5	楢葉町 <small>楢葉町</small>	全アルファ放射能	0.028 (0.19)	720	0.035 (0.23)	744	0.027 (0.23)	660																				
		全ベータ放射能	0.057 (0.33)	720	0.069 (0.40)	744	0.057 (0.37)	660																				
6	富岡町 <small>富岡町</small>	全アルファ放射能	0.022 (0.13)	678	0.026 (0.14)	744	0.019 (0.14)	708																				
		全ベータ放射能	0.076 (0.39)	678	0.088 (0.40)	744	0.069 (0.40)	708																				
7	川内村 <small>川内村</small>	全アルファ放射能	0.034 (0.14)	708	0.035 (0.12)	732	0.033 (0.17)	720																				
		全ベータ放射能	0.058 (0.18)	708	0.060 (0.18)	732	0.057 (0.23)	720																				
8	大熊町 <small>大熊町</small>	全アルファ放射能	0.018 (0.097)	720	0.018 (0.095)	744	0.017 (0.11)	708																				
		全ベータ放射能	0.072 (0.30)	720	0.075 (0.32)	744	0.070 (0.32)	708																				

No.	測定地名	測定項目	H29.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H30.1		2		3	
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間
9	大瀬町 たつとぎ次	全アルファ	0.018	720	0.021	732	0.016	684																		
		放射能	(0.11)		(0.13)		(0.073)																			
10	双葉町 おひやま山	全ベータ	0.077	720	0.088	732	0.072	684																		
		放射能	(0.35)		(0.42)		(0.25)																			
11	浪江町 幾上世橋	全アルファ	0.015	720	0.022	732	0.014	654																		
		放射能	(0.073)		(0.11)		(0.068)																			
12	浪江町 大船ダム	全ベータ	0.042	720	0.056	744	0.044	720																		
		放射能	(0.13)		(0.26)		(0.20)																			
13	葛尾村 夏つ小湯	全アルファ	0.032	708	0.038	744	0.036	624																		
		放射能	(0.14)		(0.14)		(0.21)																			
14	南相馬市 いずみさか	全ベータ	0.074	708	0.085	744	0.080	624																		
		放射能	(0.25)		(0.26)		(0.35)																			
15	南相馬市 いばき	全アルファ	0.061	720	0.068	732	0.055	672																		
		放射能	(0.34)		(0.37)		(0.32)																			
16	飯沼村 いと丹さか	全ベータ	0.094	720	0.10	732	0.087	672																		
		放射能	(0.44)		(0.49)		(0.44)																			
17	川俣町 山木	全アルファ	0.020	708	0.025	744	0.018	660																		
		放射能	(0.095)		(0.10)		(0.080)																			
18	飯沼村 いと丹さか	全ベータ	0.041	708	0.048	744	0.038	660																		
		放射能	(0.14)		(0.15)		(0.12)																			
19	南相馬市 いばき	全アルファ	0.021	720	0.026	744	0.016	720																		
		放射能	(0.12)		(0.13)		(0.10)																			
20	飯沼村 いと丹さか	全ベータ	0.080	720	0.095	744	0.065	720																		
		放射能	(0.37)		(0.42)		(0.33)																			
21	飯沼村 いと丹さか	全アルファ	0.013	720	0.016	744	0.015	708																		
		放射能	(0.14)		(0.083)		(0.14)																			
22	川俣町 山木	全ベータ	0.057	720	0.067	744	0.065	708																		
		放射能	(0.40)		(0.26)		(0.45)																			
23	川俣町 山木	全アルファ	0.016	720	0.023	744	0.021	708																		
		放射能	(0.096)		(0.16)		(0.10)																			
24	川俣町 山木	全ベータ	0.068	720	0.091	744	0.084	708																		
		放射能	(0.29)		(0.45)		(0.33)																			

注) 1 No.の欄付け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km圏内の区域

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁶⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
1	いわき市 おがわ小川 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2	田村市 おがわ小川 都路高洗戸 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND
3	広野町 こまき平 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND
4	楠葉町 木戸ダム (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
5	楠葉町 繁岡 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.027	0.18	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.043	0.29	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.021	0.15	ND	ND
6	雷岡町 富岡 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.026	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.035	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.029	ND	ND
7	川内村 下川内 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND
8	大熊町 大野 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.044	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.050	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	0.061	ND	ND
9	大熊町 夫沢 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.024	0.17	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	0.12	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	0.096	ND	ND
10	双葉町 郡山 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	1.4	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.078	0.55	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.051	0.37	ND	ND
11	浪江町 幾世橋 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	0.081	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	0.090	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND	ND
12	浪江町 大浦ダム (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	0.067	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.018	0.12	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	0.065	ND	ND
13	葛尾村 夏湯 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.030	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹³⁶ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce			
14	南相馬市 泉沢 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	ND
15	南相馬市 萱浜 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.026	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	0.038	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND	ND
16	飯館村 伊丹沢 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.042	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.035	ND	ND
17	川俣町 山木屋 (連続ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
18	いわき市 久之浜 (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.027	ND	ND
19	いわき市 下桶売 (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
20	いわき市 川前 (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.038	ND	ND
21	大熊町 向畑 (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.065	0.44	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.047	0.34	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND
22	双葉町 山田 (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND
23	双葉町 新山 (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.26	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	ND	ND
24	双葉町 上羽鳥 (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.097	ND	ND
25	浪江町 南津島 (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.095	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.053	ND	ND
26	南相馬市 横川ダム (リアルタイム ダストモニタ)	H29. 4. 1 ~ H29. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.039	0.063	ND	ND
		H29. 5. 1 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.062	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.073	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)														
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
27	広野町 <small>ひろの</small> <small>ニッ沼</small> (ダストサンブラー)	H29. 3. 31 ~ H29. 4. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 4. 6 ~ H29. 4. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 13 ~ H29. 4. 20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 20 ~ H29. 4. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 27 ~ H29. 5. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 2 ~ H29. 5. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 11 ~ H29. 5. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 18 ~ H29. 5. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 25 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 6. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 8 ~ H29. 6. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 15 ~ H29. 6. 22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H29. 6. 22 ~ H29. 6. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
28	榑葉町 <small>やまの</small> <small>山田岡</small> (ダストサンブラー)	H29. 3. 31 ~ H29. 4. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 4. 6 ~ H29. 4. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 13 ~ H29. 4. 20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 20 ~ H29. 4. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 27 ~ H29. 5. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 2 ~ H29. 5. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 11 ~ H29. 5. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 18 ~ H29. 5. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 25 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 6. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 8 ~ H29. 6. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 15 ~ H29. 6. 22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H29. 6. 22 ~ H29. 6. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
29	榑葉町 <small>まつ</small> <small>松館</small> (ダストサンブラー)	H29. 3. 31 ~ H29. 4. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 4. 6 ~ H29. 4. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 13 ~ H29. 4. 20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 20 ~ H29. 4. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 27 ~ H29. 5. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 2 ~ H29. 5. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 11 ~ H29. 5. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 18 ~ H29. 5. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 25 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 6. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 8 ~ H29. 6. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 15 ~ H29. 6. 22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H29. 6. 22 ~ H29. 6. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																					
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce											
36	田村市 滝根 (簡易型ダスト サンプル)	H29. 4. 1 ~ H29. 4. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND							
		H29. 4. 6 ~ H29. 4. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
		H29. 4. 13 ~ H29. 4. 20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND					
		H29. 4. 20 ~ H29. 4. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND					
		H29. 4. 27 ~ H29. 5. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND					
		H29. 5. 2 ~ H29. 5. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.030	ND	ND				
		H29. 5. 11 ~ H29. 5. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
		H29. 5. 18 ~ H29. 5. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
		H29. 5. 25 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
		H29. 6. 1 ~ H29. 6. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H29. 6. 8 ~ H29. 6. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H29. 6. 15 ~ H29. 6. 22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
H29. 6. 22 ~ H29. 6. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND					
37	田村市 船引 (簡易型ダスト サンプル)	H29. 4. 1 ~ H29. 4. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
		H29. 4. 6 ~ H29. 4. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H29. 4. 13 ~ H29. 4. 20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H29. 4. 20 ~ H29. 4. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H29. 4. 27 ~ H29. 5. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H29. 5. 2 ~ H29. 5. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H29. 5. 11 ~ H29. 5. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H29. 5. 18 ~ H29. 5. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H29. 5. 25 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H29. 6. 1 ~ H29. 6. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H29. 6. 8 ~ H29. 6. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H29. 6. 15 ~ H29. 6. 22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H29. 6. 22 ~ H29. 6. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
38	田村市 上移 (簡易型ダスト サンプル)	H29. 4. 1 ~ H29. 4. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H29. 4. 6 ~ H29. 4. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H29. 4. 13 ~ H29. 4. 20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 4. 20 ~ H29. 4. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 4. 27 ~ H29. 5. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 5. 2 ~ H29. 5. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 5. 11 ~ H29. 5. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29. 5. 18 ~ H29. 5. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 5. 25 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 6. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 8 ~ H29. 6. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 15 ~ H29. 6. 22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H29. 6. 22 ~ H29. 6. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)											
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁰ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	
42	南相馬市 榑原 (簡易型ダスト サンブラー)	H29. 4. 1 ~ H29. 4. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.082	ND	ND
		H29. 4. 6 ~ H29. 4. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 4. 13 ~ H29. 4. 20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.054	ND
		H29. 4. 20 ~ H29. 4. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.051	ND
		H29. 4. 27 ~ H29. 5. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.031	ND
		H29. 5. 2 ~ H29. 5. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.088	ND
		H29. 5. 11 ~ H29. 5. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.029	ND
		H29. 5. 18 ~ H29. 5. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.057	ND
		H29. 5. 25 ~ H29. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.041	ND
		H29. 6. 1 ~ H29. 6. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.021	ND
		H29. 6. 8 ~ H29. 6. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND
		H29. 6. 15 ~ H29. 6. 22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29. 6. 22 ~ H29. 6. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.026	ND

(注) 1 No. の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

3 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

4 ¹³⁴Cs及び¹³⁷Csの検出限界値：連続ダストモニタはおおむね0.01 mBq/m³以下、リアルタイムダストモニタはおおむね0.06 mBq/m³以下、ダストサンブラー（1週間集じん）はおおむね0.3 mBq/m³以下、簡易型ダストサンブラー（1週間集じん）はおおむね0.04 mBq/m³以下、簡易型ダストサンブラー（1日集じん）はおおむね0.05 mBq/m³以下である。

5-3 比較対照地点

5-3-1 空間線量率(比較対照地点)

単位:線量率:μGy/h、測定時間:h
上段:平均値(下段):最大値

No.	測定地点名	測定年月		H29.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H30.1		2		3			
		測定項目	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	
1	福島市 福島市 福島市 (高さ2.5mの測定値)	福島市 紅葉山	119 (130)	720	119 (127)	744	118 (131)	720																					
		福島市 紅葉山	128 (137)	720	129 (137)	744	129 (141)	720																					
2	郡山市 ひわが田	142 (159)	720	143 (157)	744	143 (163)	720																						
3	いわき市	65 (75)	720	65 (80)	744	64 (73)	720																						

5-3-2 大気浮遊じん核種濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce		
1	福島市 方木田 (簡易型ダスト サンプラー)	H29.4.6 ~ H29.4.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.053	ND
		H29.5.8 ~ H29.5.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.094	ND
		H29.6.5 ~ H29.6.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2	会津若松市 追手町 (簡易型ダスト サンプラー)	H29.4.11 ~ H29.4.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.5.1 ~ H29.5.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.6.6 ~ H29.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 麓山 (簡易型ダスト サンプラー)	H29.4.4 ~ H29.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.5.10 ~ H29.5.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.6.14 ~ H29.6.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	白河市 昭和町 (簡易型ダスト サンプラー)	H29.4.11 ~ H29.4.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.5.1 ~ H29.5.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.030	ND
		H29.6.6 ~ H29.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
5	相馬市 玉野 (簡易型ダスト サンプラー)	H29.4.4 ~ H29.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.5.10 ~ H29.5.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND
		H29.6.14 ~ H29.6.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
6	伊達市 富成 (簡易型ダスト サンプラー)	H29.4.4 ~ H29.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.5.10 ~ H29.5.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.041	ND
		H29.6.14 ~ H29.6.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7	南会津町 由島 (簡易型ダスト サンプラー)	H29.4.11 ~ H29.4.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.5.1 ~ H29.5.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.6.6 ~ H29.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.051	ND

(注) 1 「ND」：検出限界未満 「-」：欠測

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 ろ紙の灰化処理はせず、ろ紙を直接18容器で測定した。

4 ¹³⁴Cs及び¹³⁷Csの検出限界値：簡易型ダストサンプラー(1週間集じん)はおおむね0.04 mBq/m³以下である。

5-3-3 大気中水分のトリチウム濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	福島市 方木 ^{ほうき} 田 ^だ	H29.4.3 ~ H29.5.1	6.0	0.98	大気中水分量 (g/m ³) 6.1
		H29.5.1 ~ H29.6.1	6.2	0.61	10
		H29.6.1 ~ H29.7.3	14	1.0	13

(注) [ND]: 検出限界未満

5-3-4 降下物の核種濃度（比較対照地点）

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²))																								
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁶ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce														
1	福島市 <small>ほうまき</small> 方木田	H29.4.3 ~ H29.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
		H29.5.1 ~ H29.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H29.6.1 ~ H29.7.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
2	三春町 <small>さんしゅん</small> 深作	H29.4.3 ~ H29.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H29.5.1 ~ H29.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H29.6.1 ~ H29.7.3 *1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1 [ND]: 検出限界未満 「/」: 対象外核種

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 *1 前処理中に、試料の損失があったため、欠測とする。残試料の測定において、Cs-134はND、Cs-137は1.5Bq/m²であった。

5-4 試料採取時の付帯データ集
(原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H
1	いわき市	H29. 4. 17	18. 5	12. 0	7. 8
2	田村市	H29. 4. 7	14. 9	9. 5	7. 6
3	広野町	H29. 4. 7	20. 5	11. 0	7. 9
4	檜葉町	H29. 4. 7	16. 5	12. 0	7. 9
5	富岡町	H29. 4. 17	15. 3	14. 2	7. 8
6	川内村	H29. 4. 7	16. 3	14. 5	8. 0
7	大熊町	—	—	—	—
8	双葉町	—	—	—	—
9	浪江町	H29. 4. 6	21. 0	14. 0	7. 8
10	葛尾村	H29. 4. 7	16. 6	14. 3	7. 8
11	南相馬市	H29. 4. 6	16. 8	13. 5	7. 7
12	飯館村	H29. 4. 20	17. 8	12. 0	8. 0
13	川俣町	H29. 4. 7	18. 5	13. 5	7. 9

2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H	Cl ⁻ (%)
1	第一(発)南放水口付近	H29. 4. 20	13. 3	9. 4	8. 2	19
		H29. 5. 16	15. 0	14. 1	8. 2	18
		H29. 6. 13	15. 0	14. 8	8. 2	17
2	第一(発)北放水口付近	H29. 4. 20	13. 0	9. 6	8. 2	18
		H29. 5. 16	14. 0	13. 9	8. 2	18
		H29. 6. 13	14. 9	15. 0	8. 2	18
3	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	H29. 4. 20	13. 0	9. 8	8. 2	19
		H29. 5. 16	14. 5	14. 2	8. 2	18
		H29. 6. 13	14. 4	14. 7	8. 2	18
4	第一(発)沖合 2 km	H29. 4. 20	11. 1	9. 4	8. 2	18
		H29. 5. 16	14. 0	13. 8	8. 2	18
		H29. 6. 13	14. 2	14. 9	8. 2	18
5	夫沢・熊川沖 2 km	H29. 4. 20	11. 0	9. 6	8. 2	19
		H29. 5. 16	14. 0	13. 6	8. 2	17
		H29. 6. 13	14. 7	14. 8	8. 1	18
6	双葉・前田川沖 2 km	H29. 4. 20	11. 1	9. 7	8. 2	18
		H29. 5. 16	13. 8	13. 8	8. 2	18
		H29. 6. 13	15. 0	15. 4	8. 2	18
7	第二(発)南放水口	H29. 5. 10	15. 5	12. 0	8. 1	19
8	第二(発)北放水口	H29. 5. 10	15. 0	13. 0	8. 2	19

(比較対照地点環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H
1	福島市	H29. 4. 14	19. 8	8. 3	7. 4
2	会津若松市	H29. 4. 11	10. 0	11. 5	7. 2

第6 参考資料

6-1 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う海水モニタリング結果（公表資料）

【地下水バイパス水関係】

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、南放水口付近（T-2）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・平成29年7月19日公表資料

【サブドレン・地下水ドレン処理水関係】

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理水の海域への排出に際し、5・6号機放水口北側（T-1）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・平成29年9月4日公表資料

平成29年7月19日
福島県放射線監視室

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、南放水口付近（T-2）の海域において、毎月の初回排出時に海水モニタリングを実施しております。

（今回公表する項目）

海水中の全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム
平成29年6月6日採取分 1検体

（調査結果の概要）

採取した海水の放射能濃度（ベクレル/リットル）は、全ベータ放射能が0.04、放射性セシウムが不検出、トリチウムが0.69でした。

排出時刻10時03分～17時17分、排出量1,846 m³

採取日時	全β放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
6月6日 10:40	0.04	不検出	不検出	不検出	0.69

(参考)	全β放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
初回排出から前回調査 までの測定値 (H26.5.21～H29.5.9)	不検出 ～0.22	不検出 ～0.54	0.060 ～1.6	0.060 ～2.14	不検出 ～3.5
H25～26年度 海域モニタリングの値 (南放水口付近、陸側 又は船舶から採取)	0.02 ～0.64	不検出 ～0.80	不検出 ～1.8	不検出 ～2.6	不検出 ～2.4
告示濃度限度	—	60	90	—	60,000

(単位：ベクレル/リットル)

○平成29年2月採水分から、防波堤の復旧工事完了に伴い、採水地点が排出地点の南約40m地点から排出地点の北約10m地点へと変更となりました。

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

平成29年7月19日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	南放水口付近 (T-2) (地下水排出中)	H29. 6. 6	0.04	ND (0.049)	ND (0.052)	0.69
		H29. 5. 9	ND (0.02)	ND (0.065)	0.060	0.63
		H29. 4. 4	0.03	ND (0.064)	0.13	2.4
		平成28年度	0.03~0.15	ND	0.061~0.19	ND~3.0
		平成27年度	0.03~0.13	ND~0.11	0.080~0.40	ND~0.86
		平成26年度	0.04~0.22	ND~0.54	0.12~1.6	ND~3.5

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。
<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

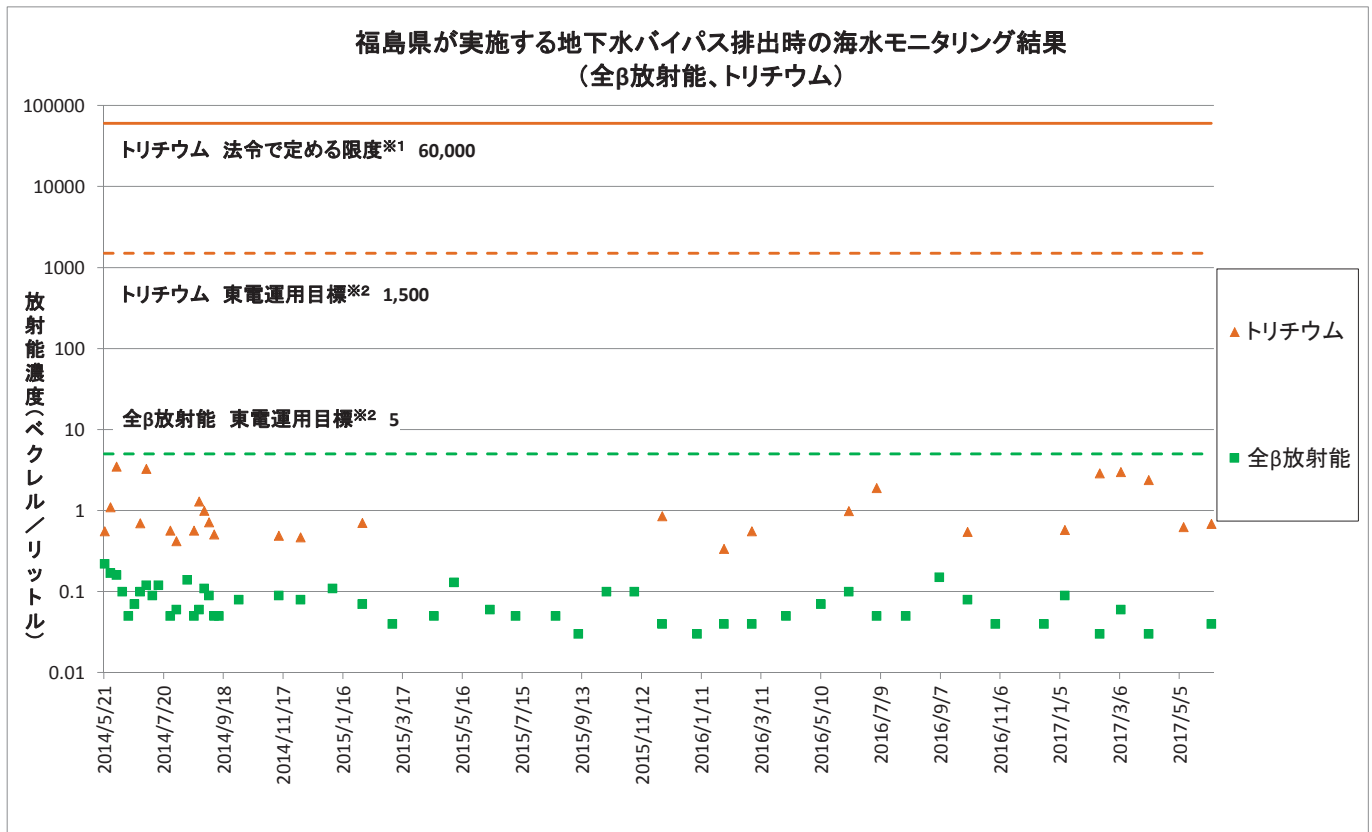
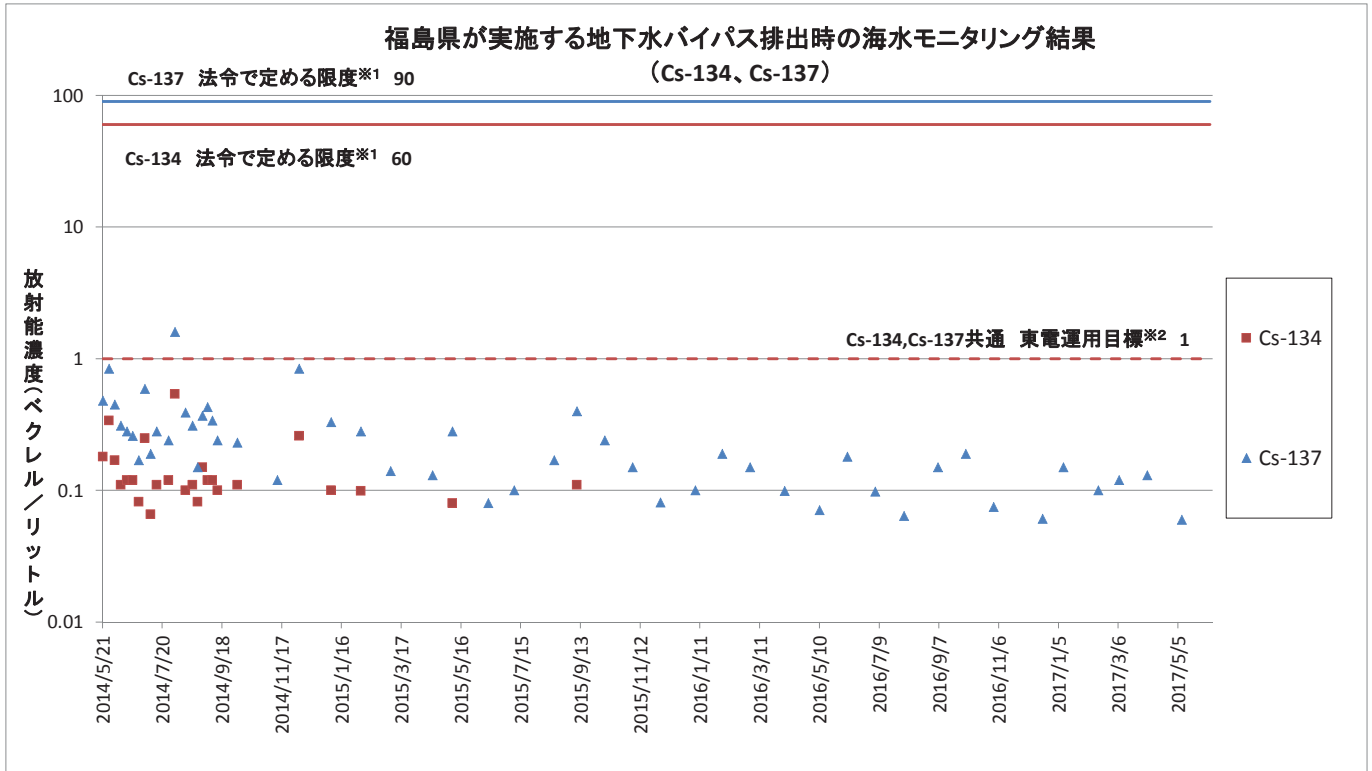
平成26年5月21日(初回排出日)以前のモニタリング結果

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25年度以降に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲	南放水口付近 (T-2) (陸側から採取)	H25. 10. 3、H25. 10. 17 H25. 10. 21、H27. 2. 25	0.16~0.48	0.082~0.80	0.33~1.8	ND~0.69
	南放水口付近 (T-2-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27 H27. 2. 25	0.07	0.31~0.36	0.59~1.2	0.32~0.91
	南放水口付近 (F-P01) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H28. 12. 12	0.02~0.64	ND~0.35	ND~0.71	ND~2.4
(参考) 県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較



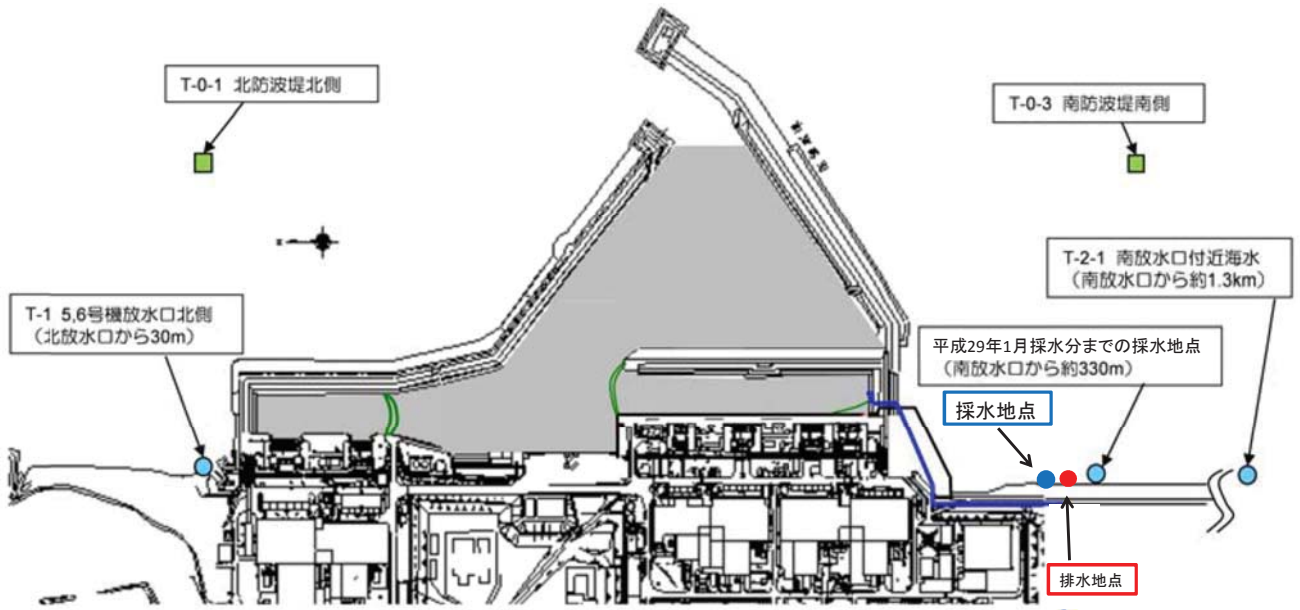
※ 不検出の場合はプロットなし。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度

※2 福島第一原子力発電所 地下水バイパス水一時貯留タンクの運用目標値

※3 平成26年9月13日排水時まで排出毎に調査実施。但し、平成26年7月21日及び8月5日の排出時の海水試料は採取できず。平成26年9月13日以降は毎月1回のモニタリングに変更しています。

採水地点及び排水地点 (東京電力資料より)



平成29年9月4日
福島県放射線監視室

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、北放水口付近（T-1）の海域において、毎月の初回排出時に海水モニタリングを実施しております。

（今回公表する項目）

海水中の全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム
平成29年8月7日採取分 1検体

（調査結果の概要）

採取した海水の放射能濃度（ベクレル/リットル）は、全ベータ放射能が0.02、放射性セシウムが0.16、トリチウムが不検出でした。

排出時刻10時00分～16時47分、排出量983m³

採取日時	全β放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
8月7日 10:50	0.02	不検出	0.16	0.16	不検出

(参考)	全β放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
初回排出から前回調査 までの測定値 (H27.9.14～H29.7.5)	0.02 ～0.10	不検出 ～0.10	0.064 ～0.44	0.064 ～0.51	不検出 ～2.3
H25～26年度 海域モニタリングの値 (北放水口付近、陸側又は 船舶から採取)	0.03 ～0.51	不検出 ～2.4	不検出 ～5.0	不検出 ～7.4	不検出 ～2.5
告示濃度限度	—	60	90	—	60,000

(単位：ベクレル/リットル)

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン 処理済み水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

平成29年9月4日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	北放水口付近 (T-1) (処理済み水排出中)	H29. 8. 7	0.02	ND (0.053)	0.16	ND (0.33)
		H29. 7. 5	0.03	ND (0.052)	0.24	1.0
		H29. 6. 7	0.04	ND (0.054)	0.24	ND (0.34)
		H29. 5. 9	0.02	ND (0.058)	0.081	ND (0.35)
		H29. 4. 6	0.04	ND (0.053)	0.15	0.66
		平成28年度	0.04~0.10	ND~0.068	0.064~0.44	ND~2.3
		H27. 9. 14~H28. 3. 2	0.03~0.09	ND~0.10	0.14~0.41	ND~1.7

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

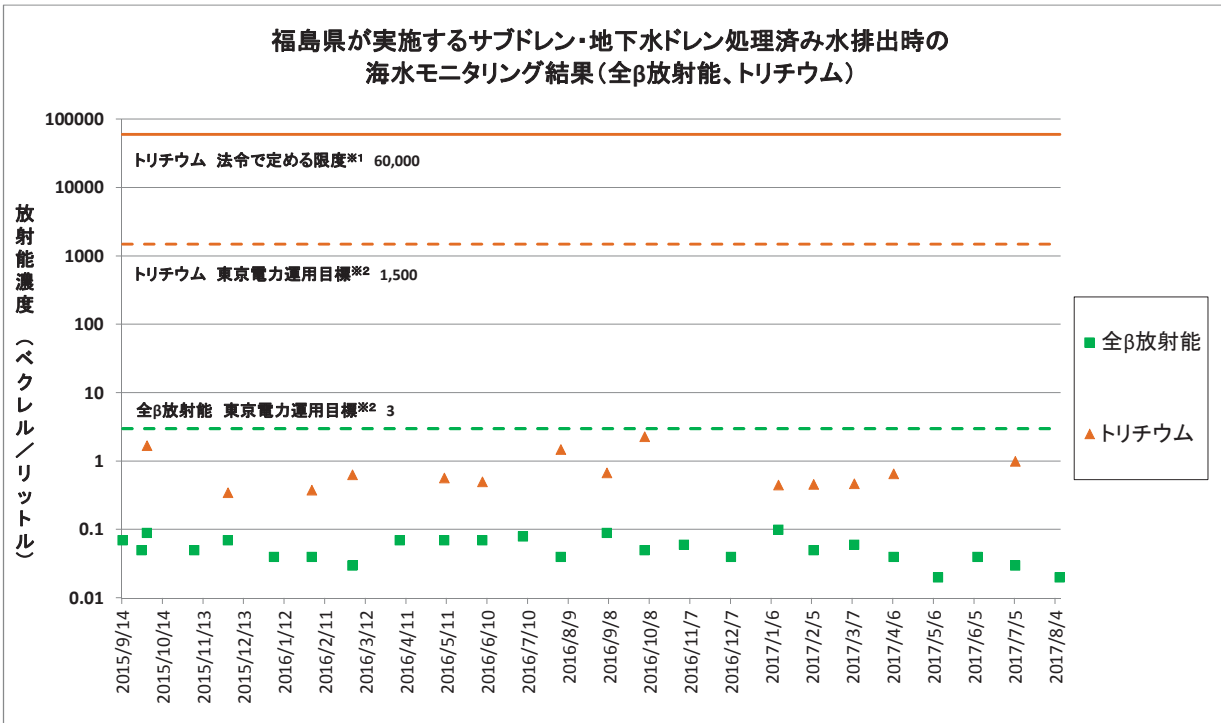
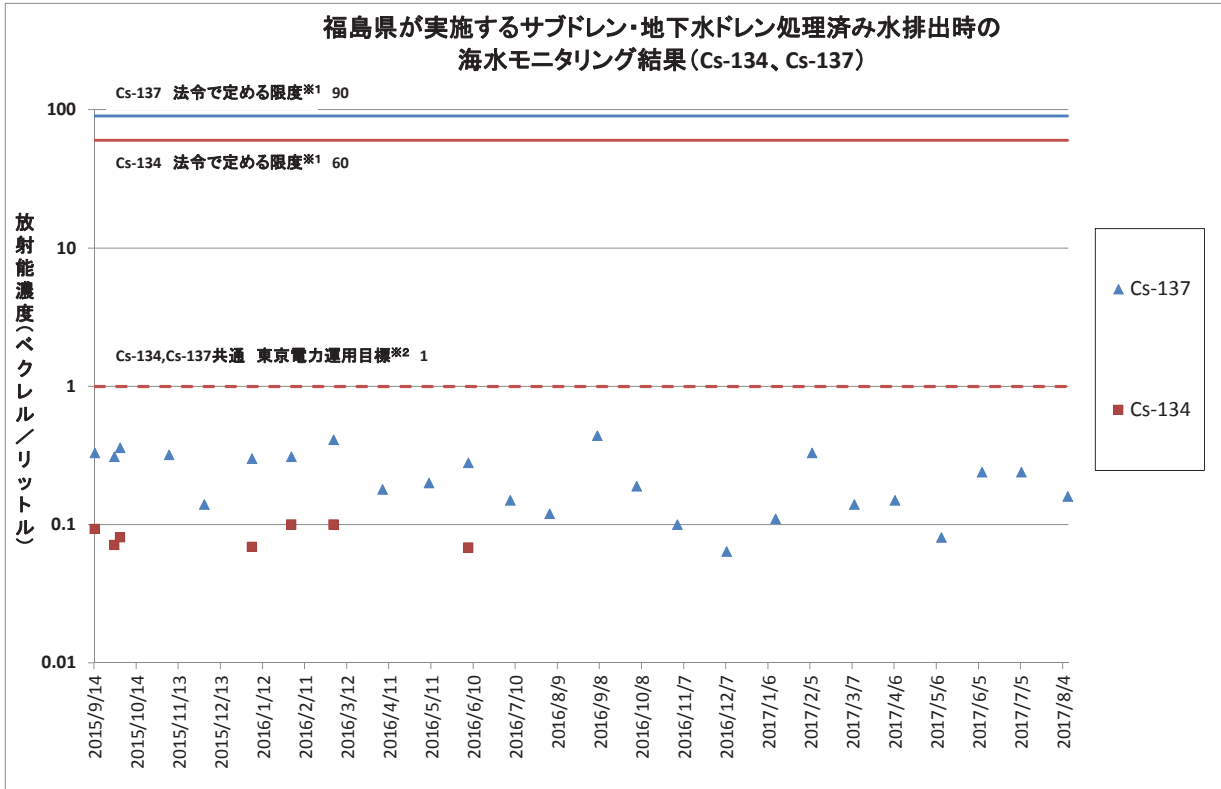
平成27年9月14日（初回排出日）以前のモニタリング結果

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25~26年 度に実施した海域 モニタリングにお ける測定値の範囲	北放水口付近 (T-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27、H25. 9. 27 H26. 4. 4、H27. 2. 25	0.10~0.49	0.26~2.4	0.84~5.0	0.61~1.1
	北放水口付近 (F-P02) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H27. 3. 3	0.03~0.51	ND~0.24	ND~0.56	ND~2.5
(参考) 県が測定し た原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

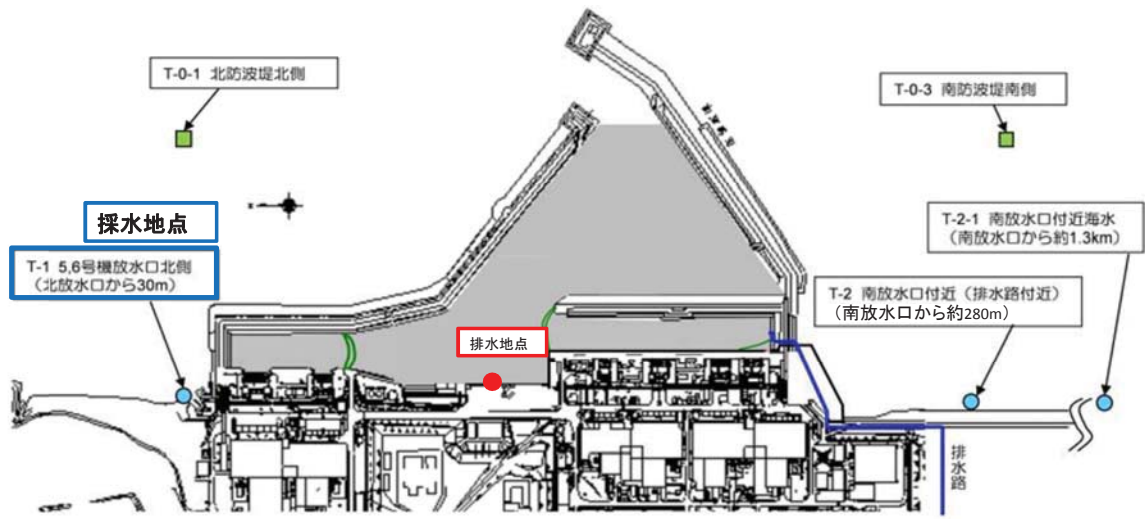


※ 不検出の場合はプロットなし。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度

※2 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水一時貯留タンクの運用目標値

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



各地点の空間線量率等の変動グラフ

平成29年4月～6月

福島県

目次

空間線量率

1 いわき市小川	1
2 いわき市久之浜	2
3 いわき市下桶売	3
4 いわき市川前	4
5 田村市都路馬洗戸	5
6 広野町二ツ沼	6
7 広野町小滝平	7
8 檜葉町山田岡	8
9 檜葉町木戸ダム	9
10 檜葉町繁岡	10
11 檜葉町松館	11
12 檜葉町波倉	12
13 富岡町上郡山	13
14 富岡町下郡山	14
15 富岡町深谷	15
16 富岡町富岡	16
17 富岡町夜の森	17
18 川内村下川内	18
19 大熊町向畑	19
20 大熊町熊川	20
21 大熊町南台	21
22 大熊町大野	22
23 大熊町夫沢	23
24 双葉町山田	24
25 双葉町郡山	25
26 双葉町新山	26
27 双葉町上羽鳥	27
28 浪江町請戸	28
29 浪江町棚塩	29
30 浪江町浪江	30
31 浪江町幾世橋	31
32 浪江町大柿ダム	32
33 浪江町南津島	33
34 葛尾村夏湯	34
35 南相馬市泉沢	35
36 南相馬市横川ダム	36
37 南相馬市萱浜	37
38 飯舘村伊丹沢	38
39 川俣町山木屋	39

大気浮遊じん(推移)

1 いわき市小川	40
2 田村市都路馬洗戸	41
3 広野町小滝平	42
4 檜葉町木戸ダム	43
5 檜葉町繁岡	44
6 富岡町富岡	45
7 川内村下川内	46
8 大熊町大野	47
9 大熊町夫沢	48
10 双葉町郡山	49
11 浪江町幾世橋	50
12 浪江町大柿ダム	51
13 葛尾村夏湯	52
14 南相馬市泉沢	53
15 南相馬市萱浜	54
16 飯舘村伊丹沢	55
17 川俣町山木屋	56

大気浮遊じん(相関図)

1 いわき市小川	57
2 田村市都路馬洗戸	57
3 広野町小滝平	58
4 檜葉町木戸ダム	58
5 檜葉町繁岡	59
6 富岡町富岡	59
7 川内村下川内	60
8 大熊町大野	60
9 大熊町夫沢	61
10 双葉町郡山	61
11 浪江町幾世橋	62
12 浪江町大柿ダム	62
13 葛尾村夏湯	63
14 南相馬市泉沢	63
15 南相馬市萱浜	64
16 飯舘村伊丹沢	64
17 川俣町山木屋	65

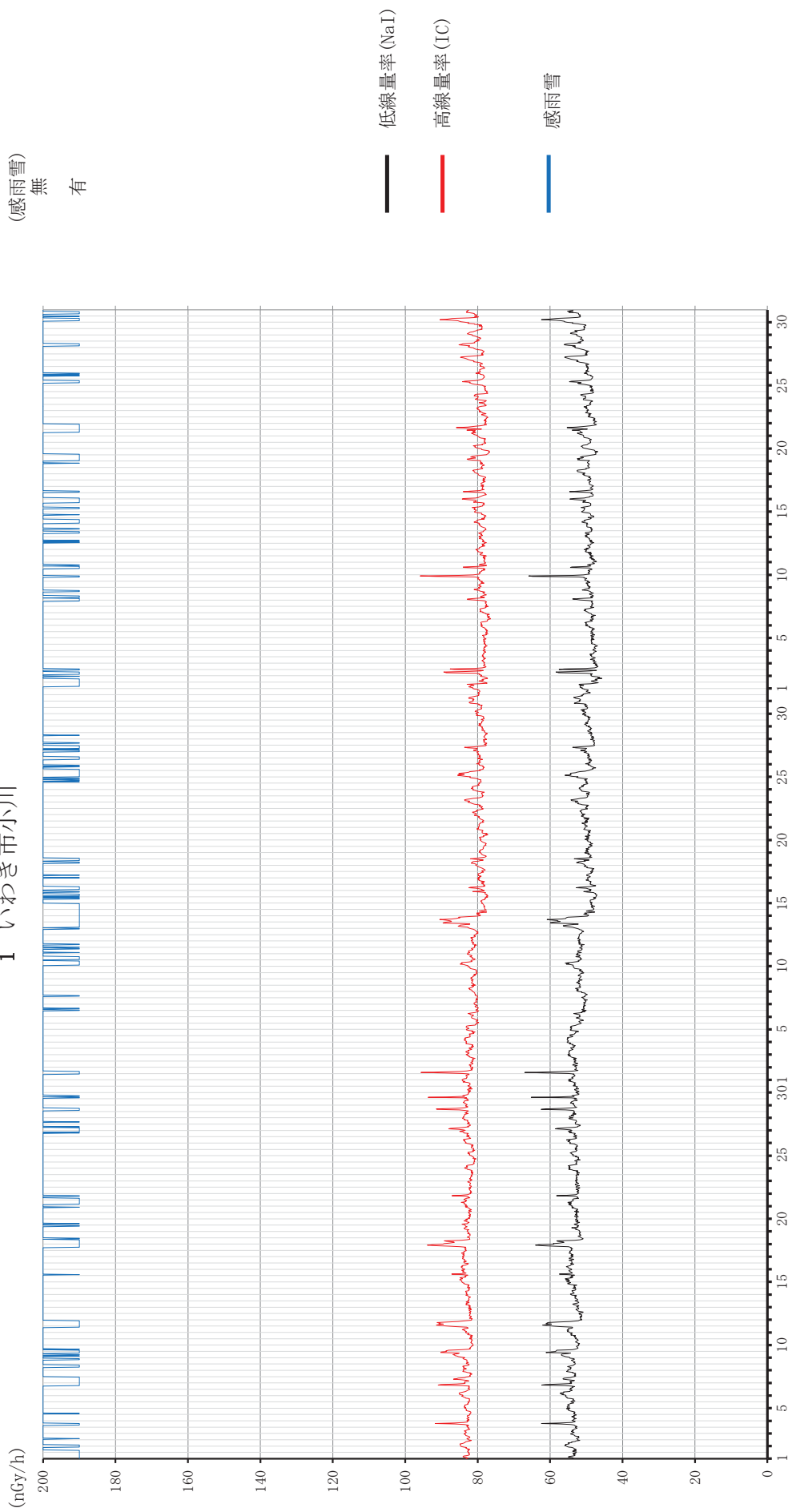
空間線量率(比較対照)

1-1 福島市紅葉山(3m)	66
1-2 福島市紅葉山(1m)	67
2 郡山市日和田	68
3 いわき市平	69

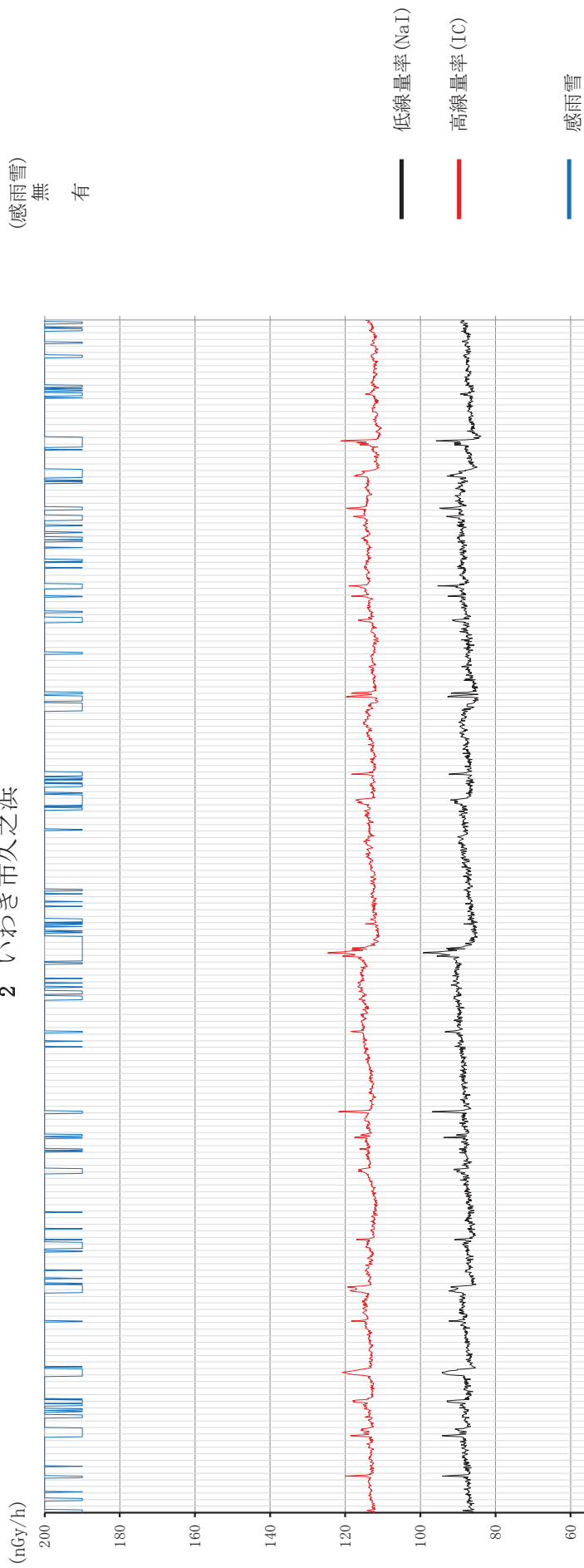
※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値

空間線量率の変動グラフ

1 いわき市小川

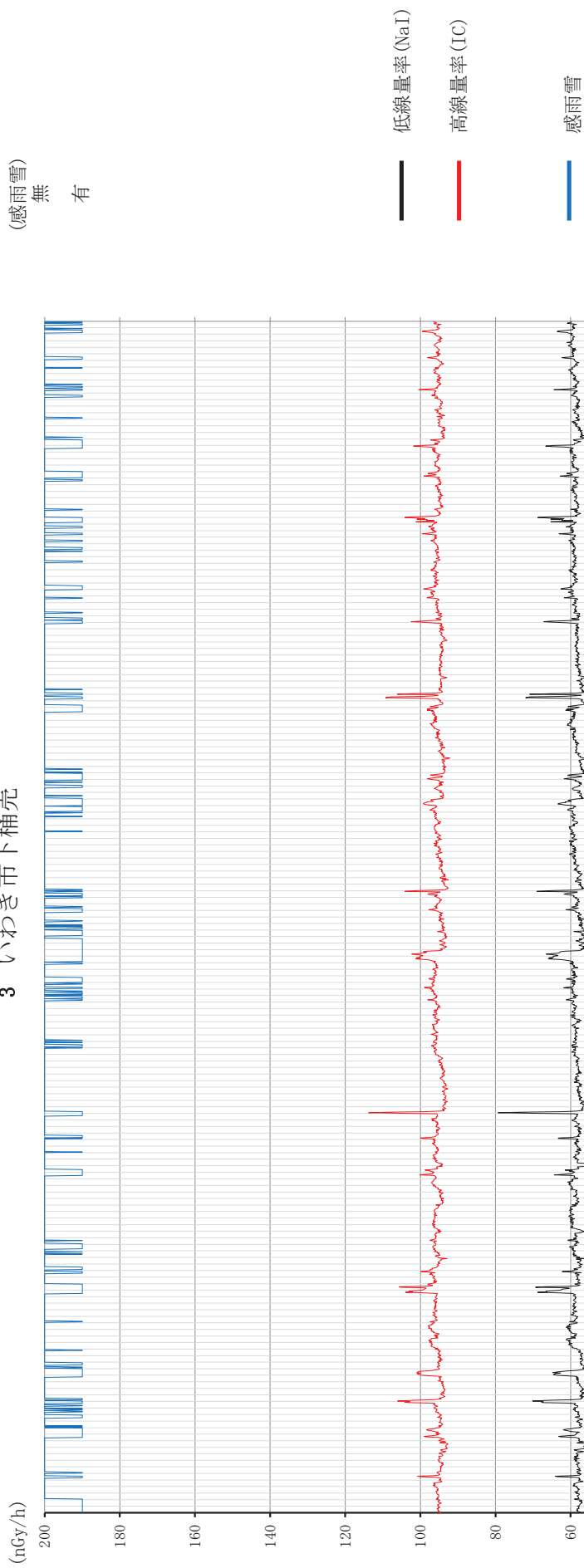


空間線量率の変動グラフ 2 いわき市久之浜

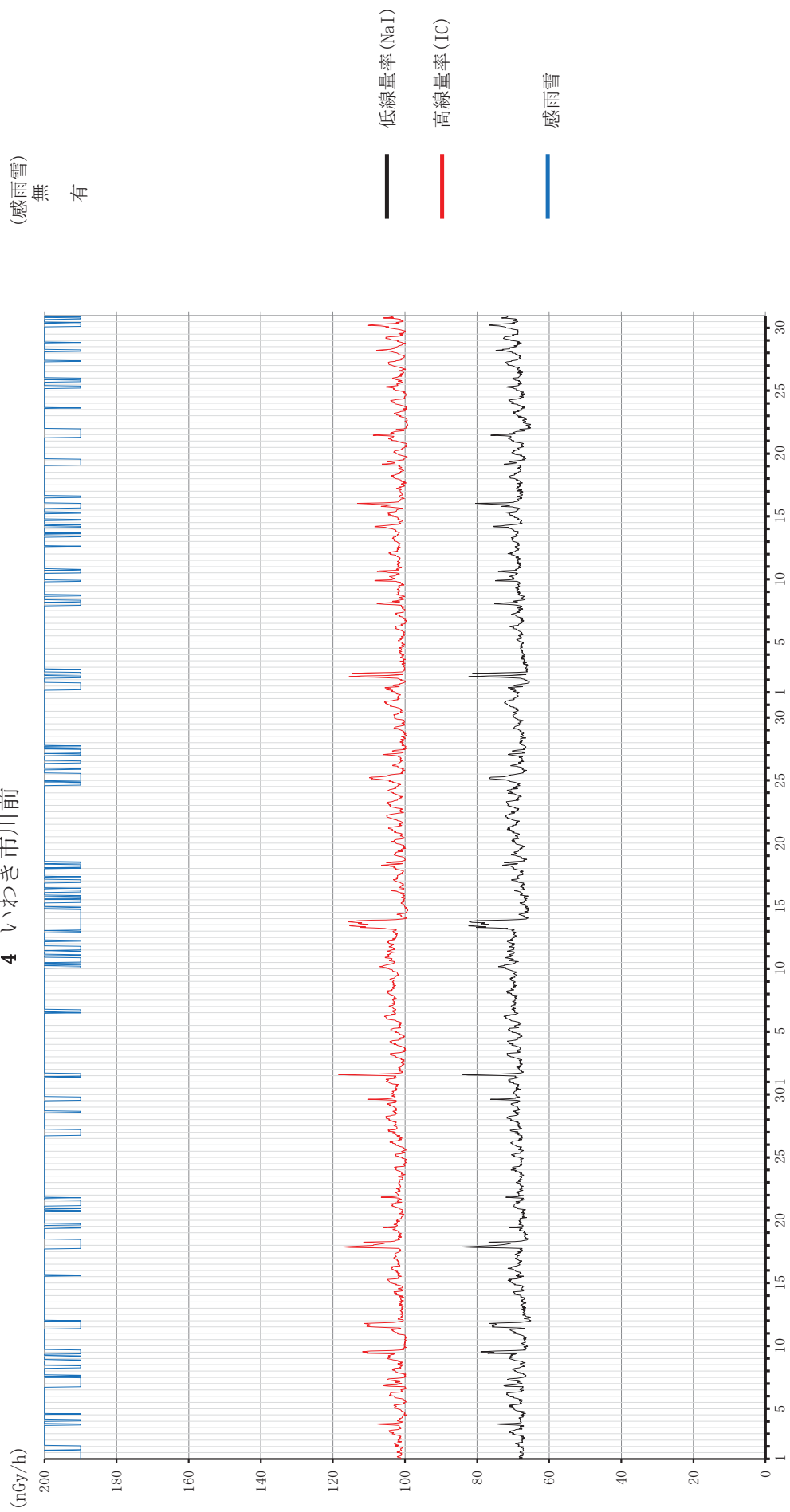


空間線量率の変動グラフ

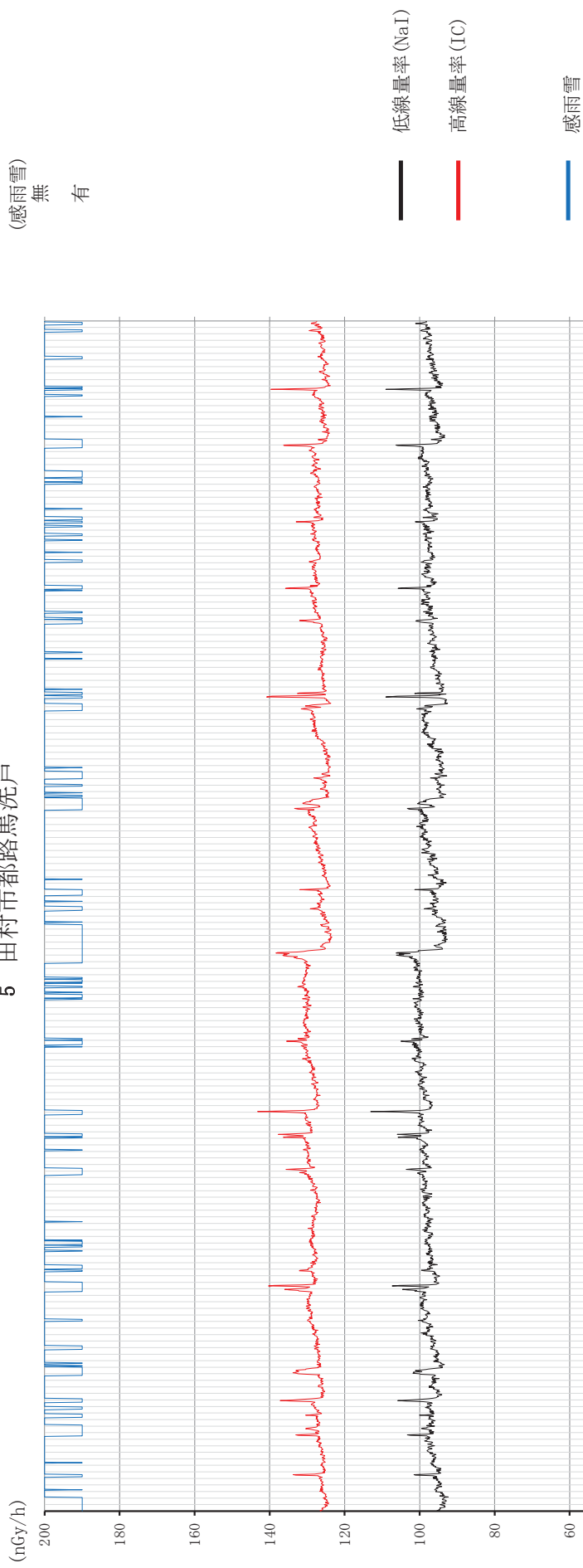
3 いわき市下桶売



空間線量率の変動グラフ
4 いわき市川前

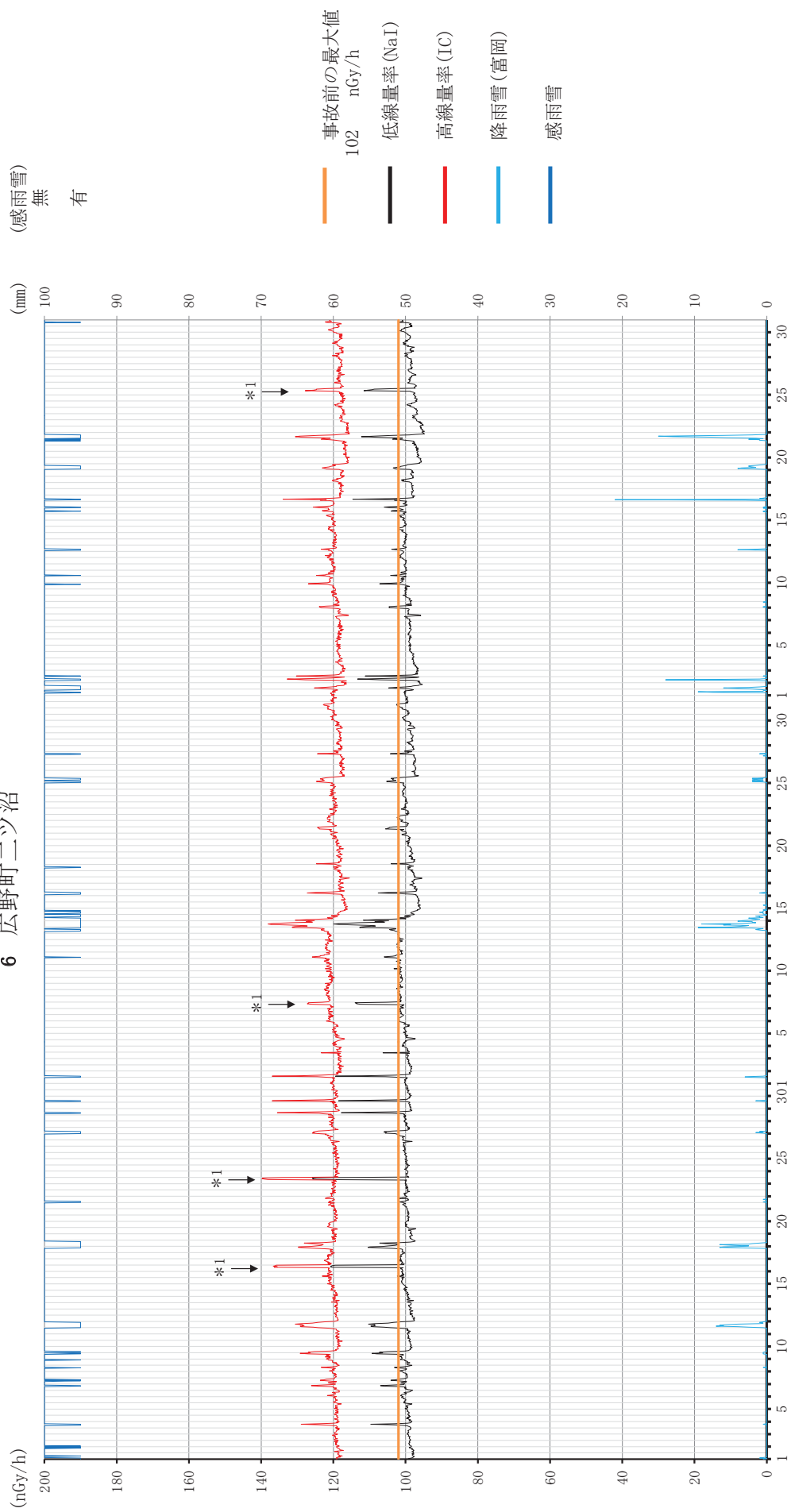


空間線量率の変動グラフ 5 田村市都路馬洗戸



空間線量率の変動グラフ

6 広野町ニッ沼



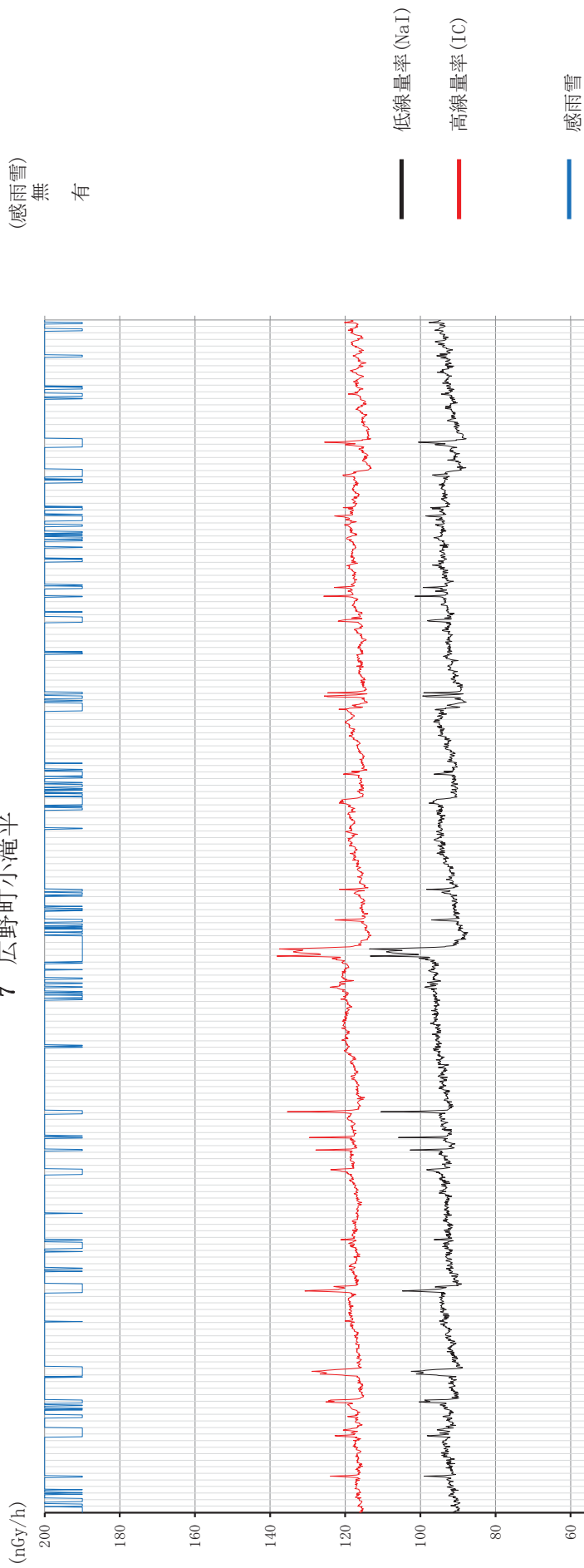
4月

5月

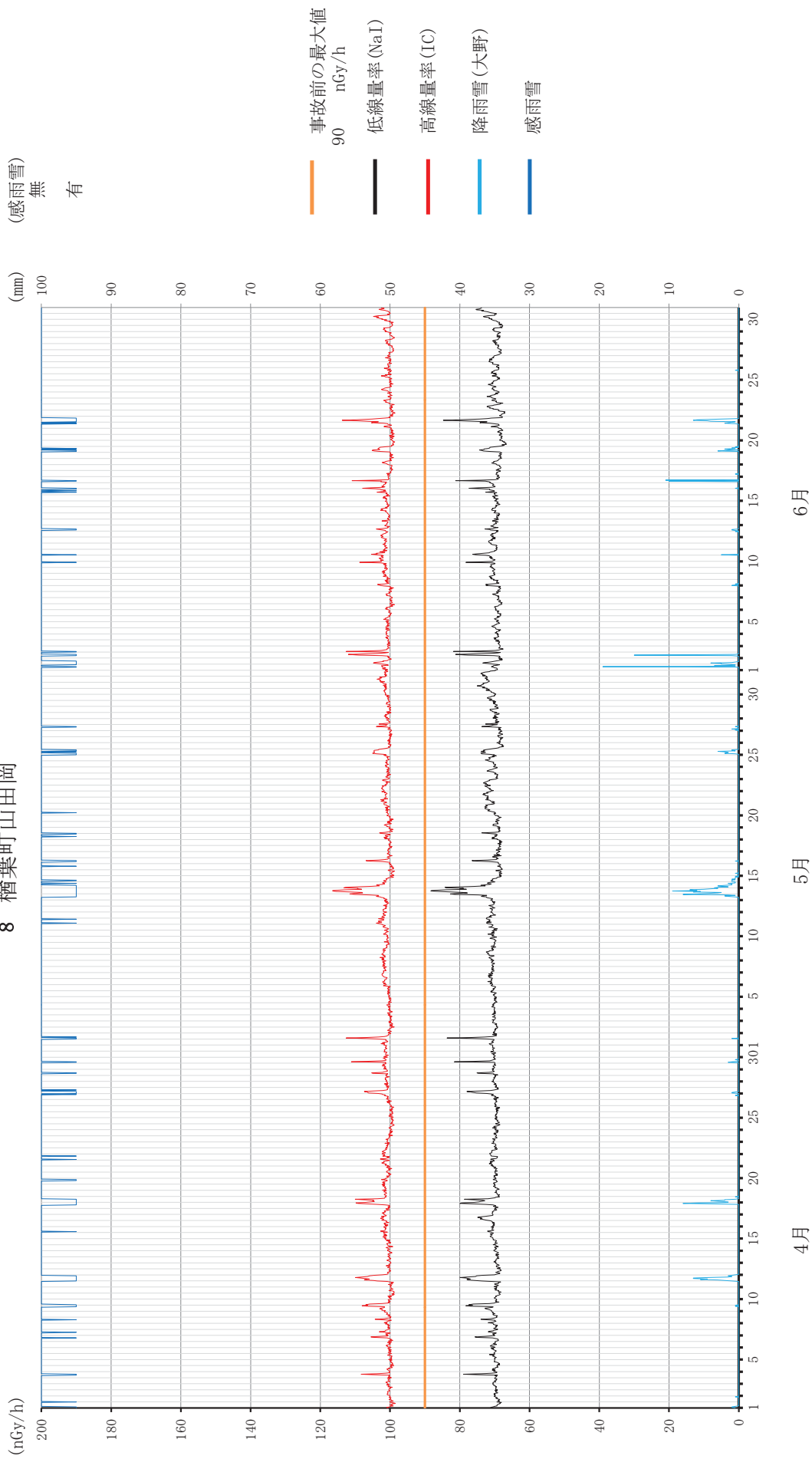
6月

* 1 局舎周辺への汚染車両駐車による線量率上昇

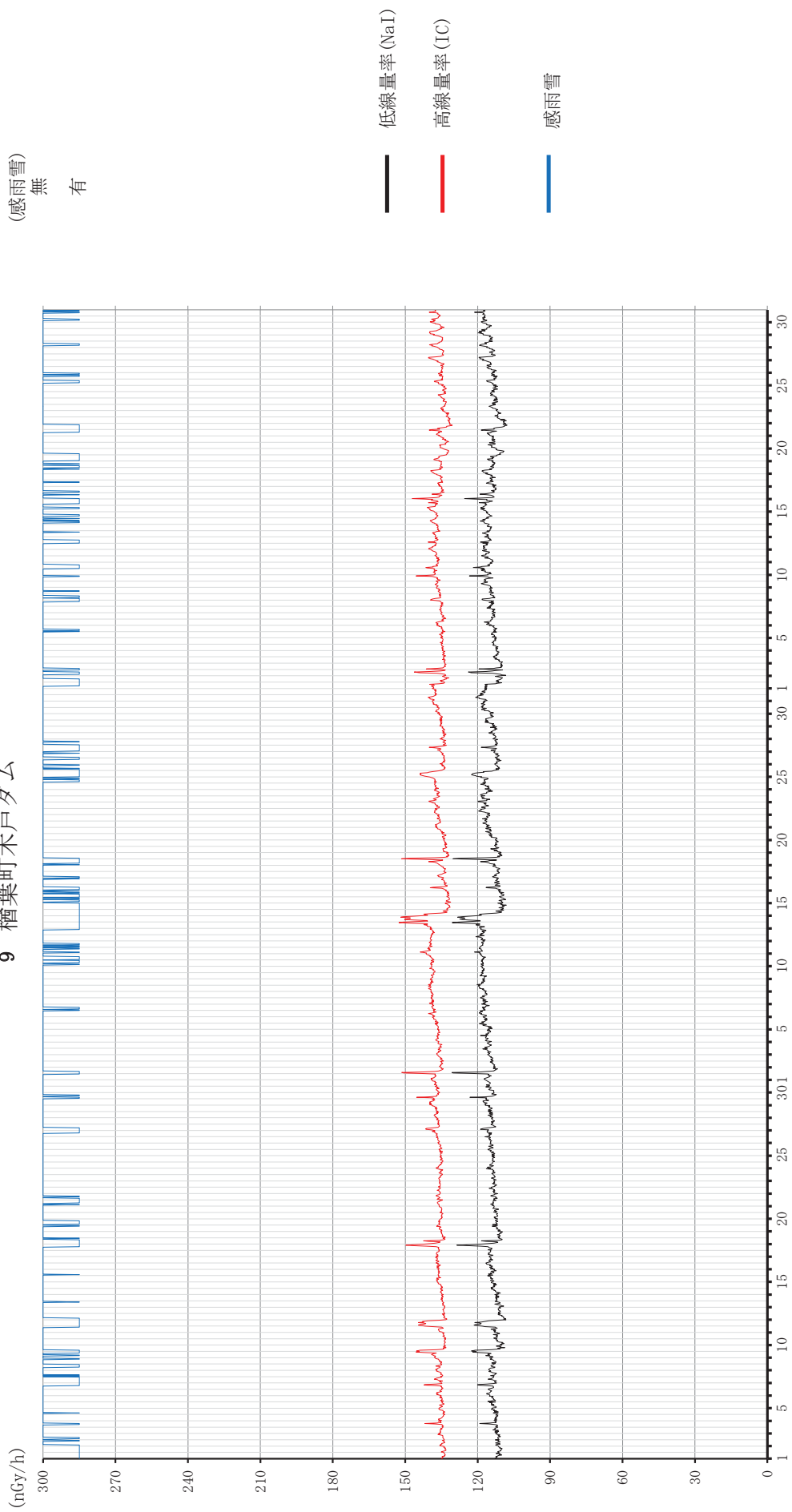
空間線量率の変動グラフ 7 広野町小滝平



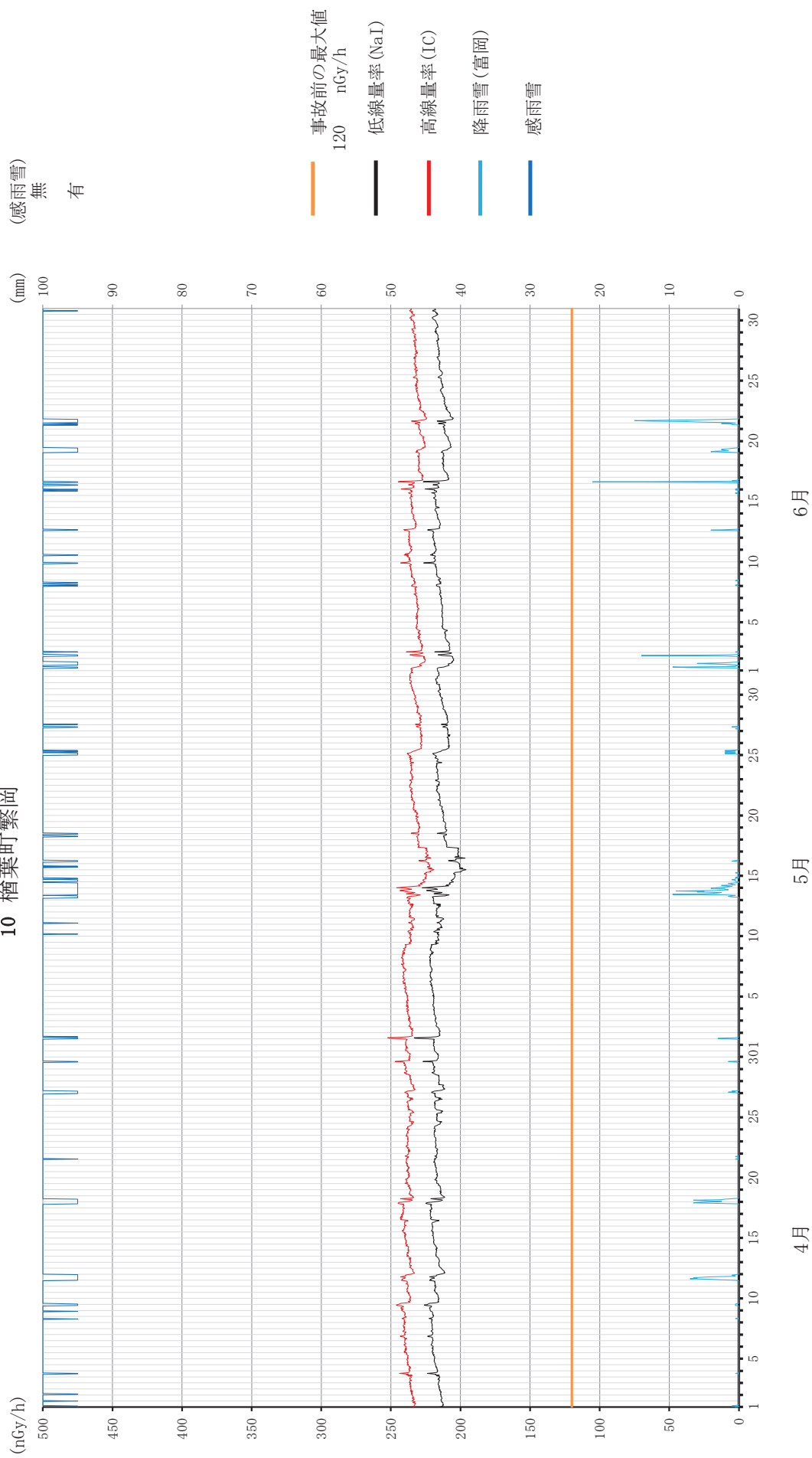
空間線量率の変動グラフ
8 榎葉町山田岡



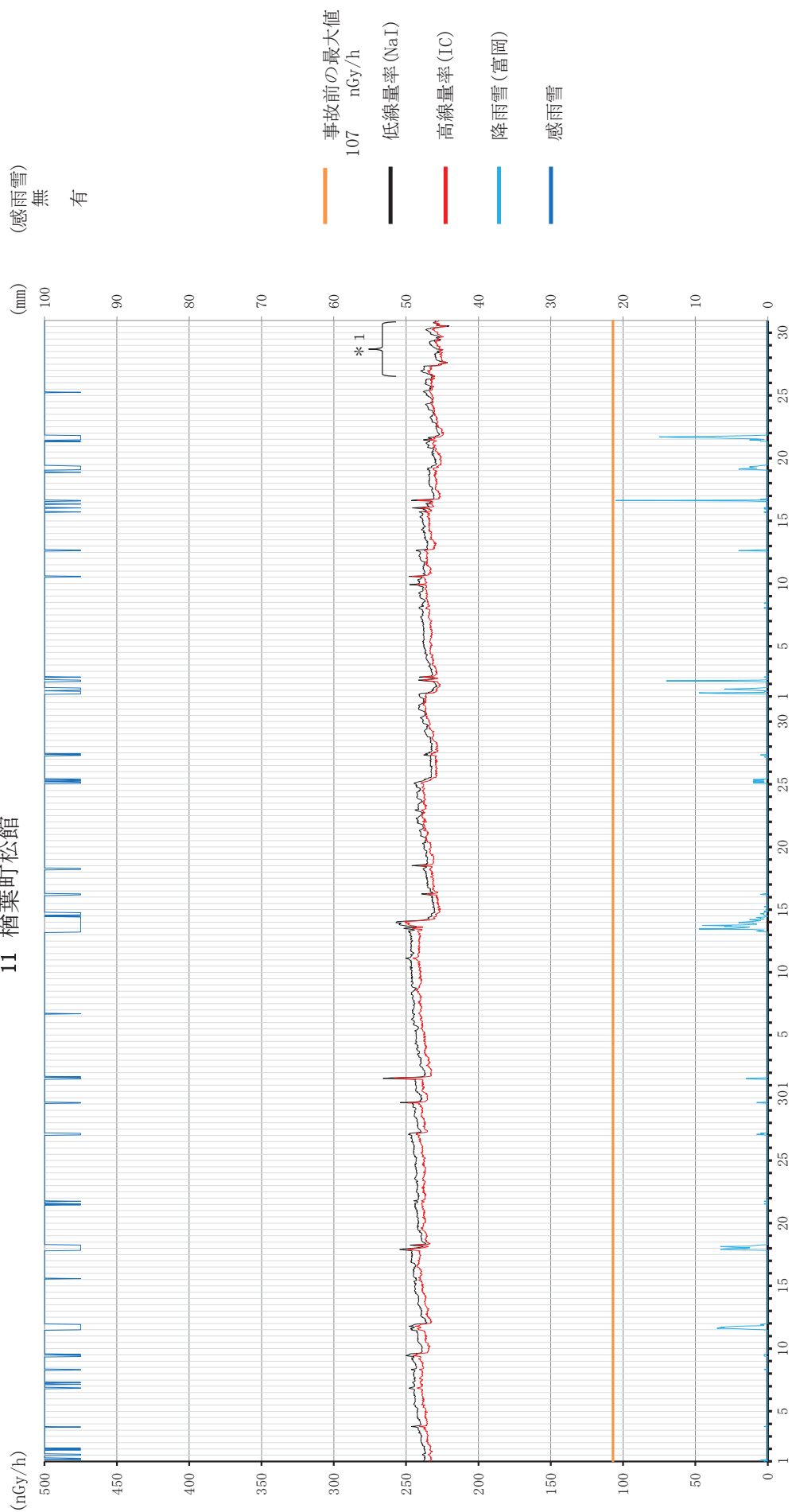
空間線量率の変動グラフ 9 榎葉町木戸ダム



空間線量率の変動グラフ
10 榎葉町繁岡



空間線量率の変動グラフ
11 榎葉町松館



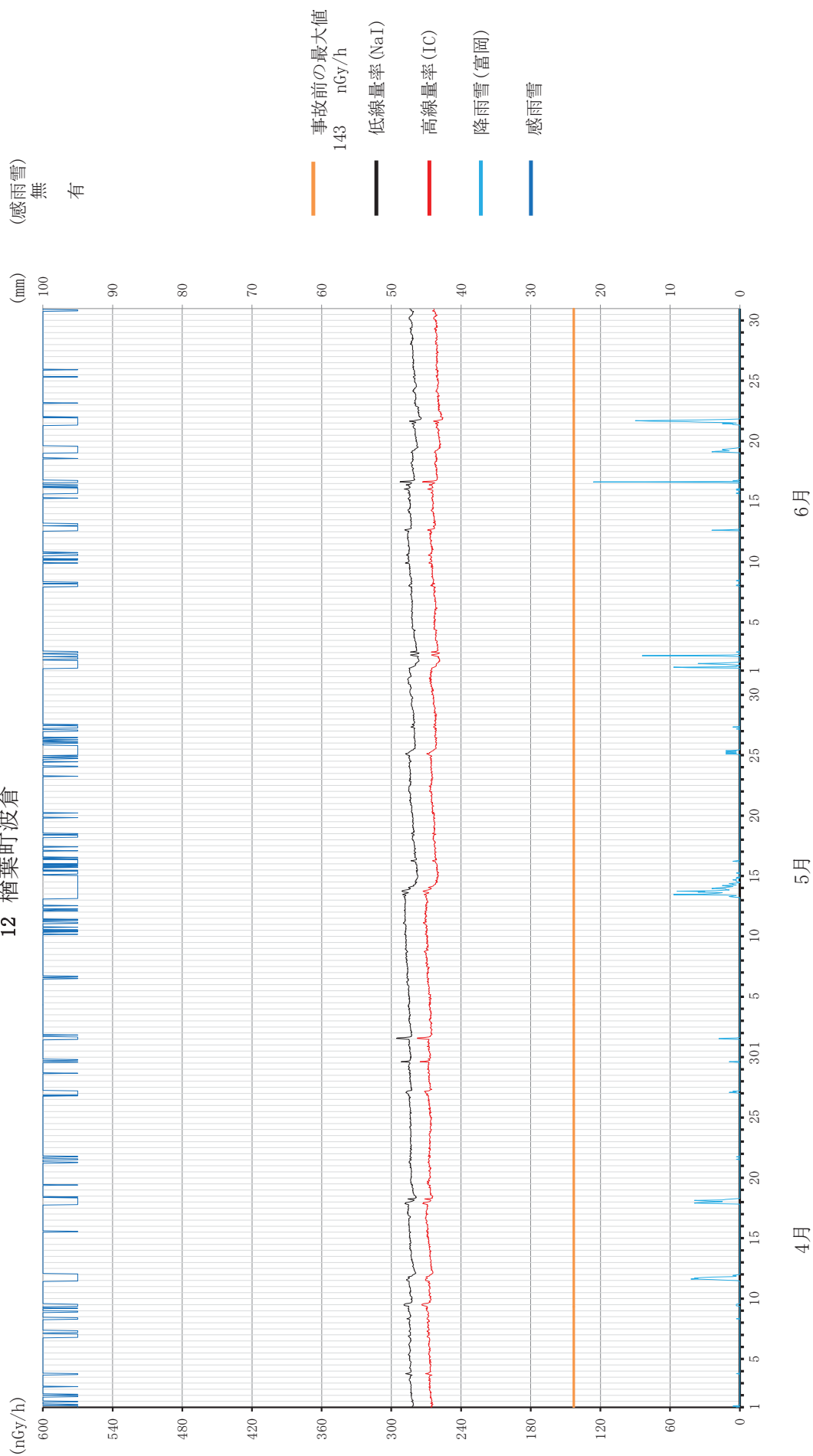
6月

5月

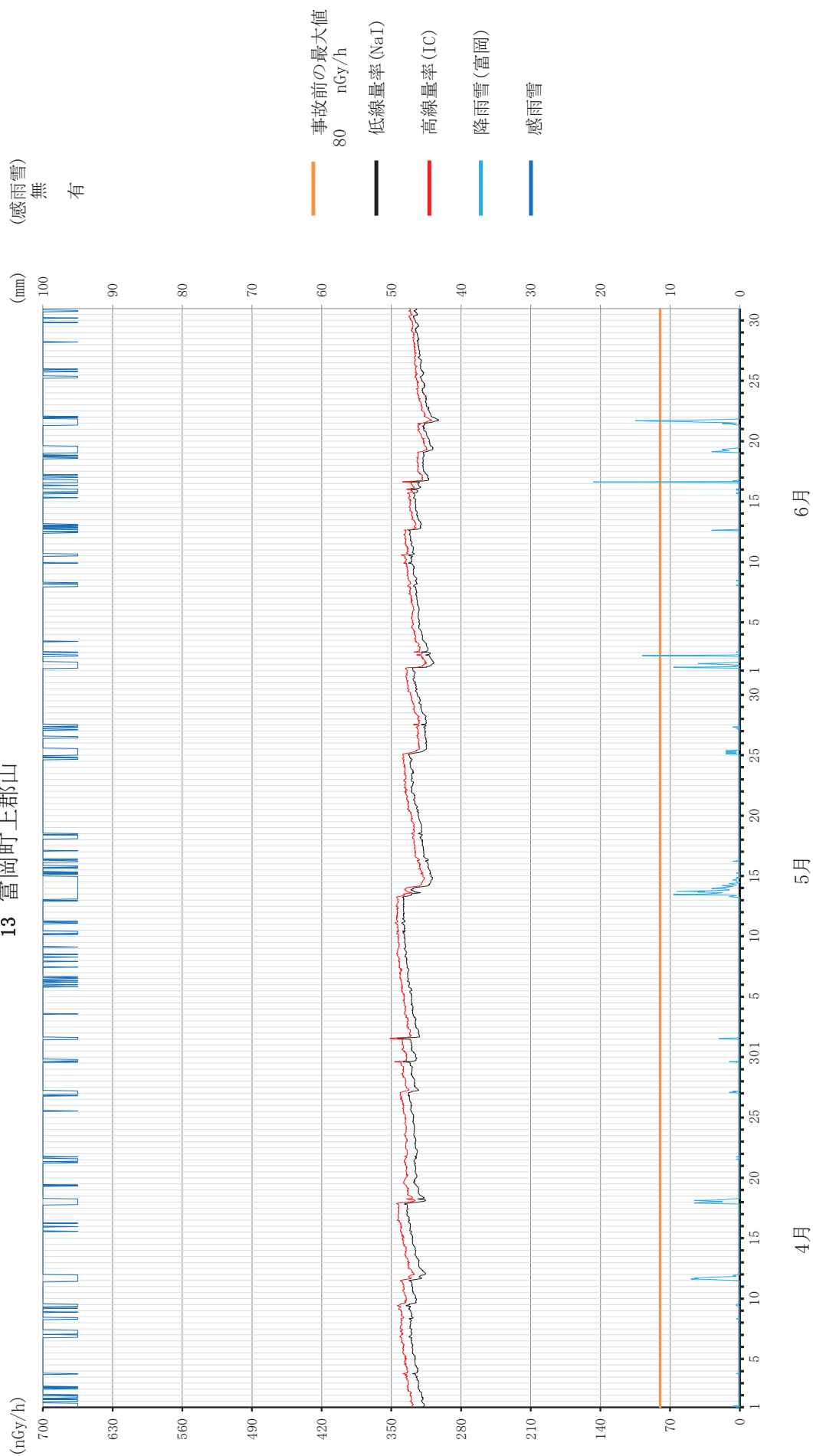
4月

* 1 6月26日～6月30日は、局舎周辺の解体工事による線量率低下

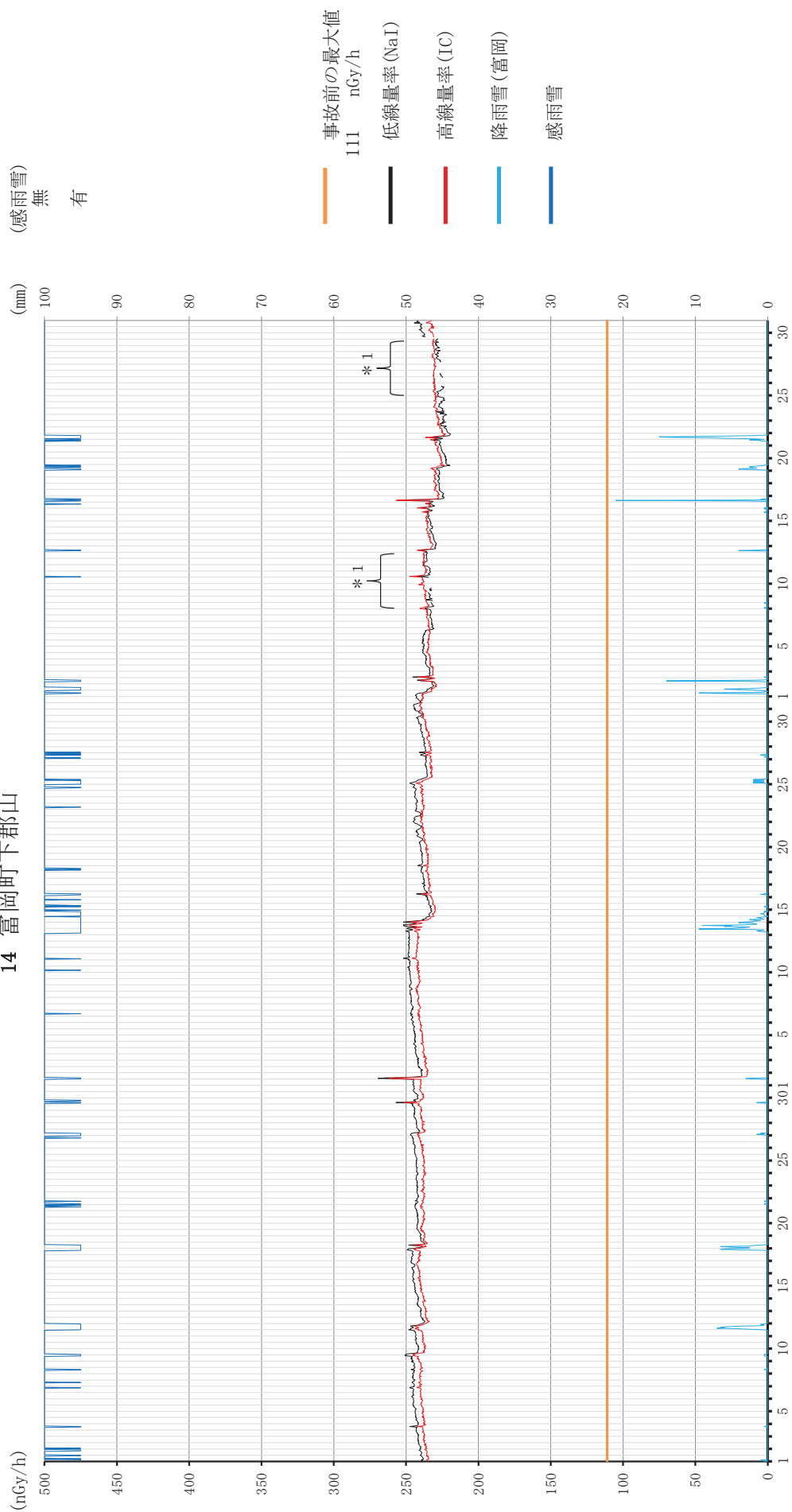
空間線量率の変動グラフ
12 櫛葉町波倉



空間線量率の変動グラフ
13 富岡町上郡山



空間線量率の変動グラフ
14 富岡町下郡山

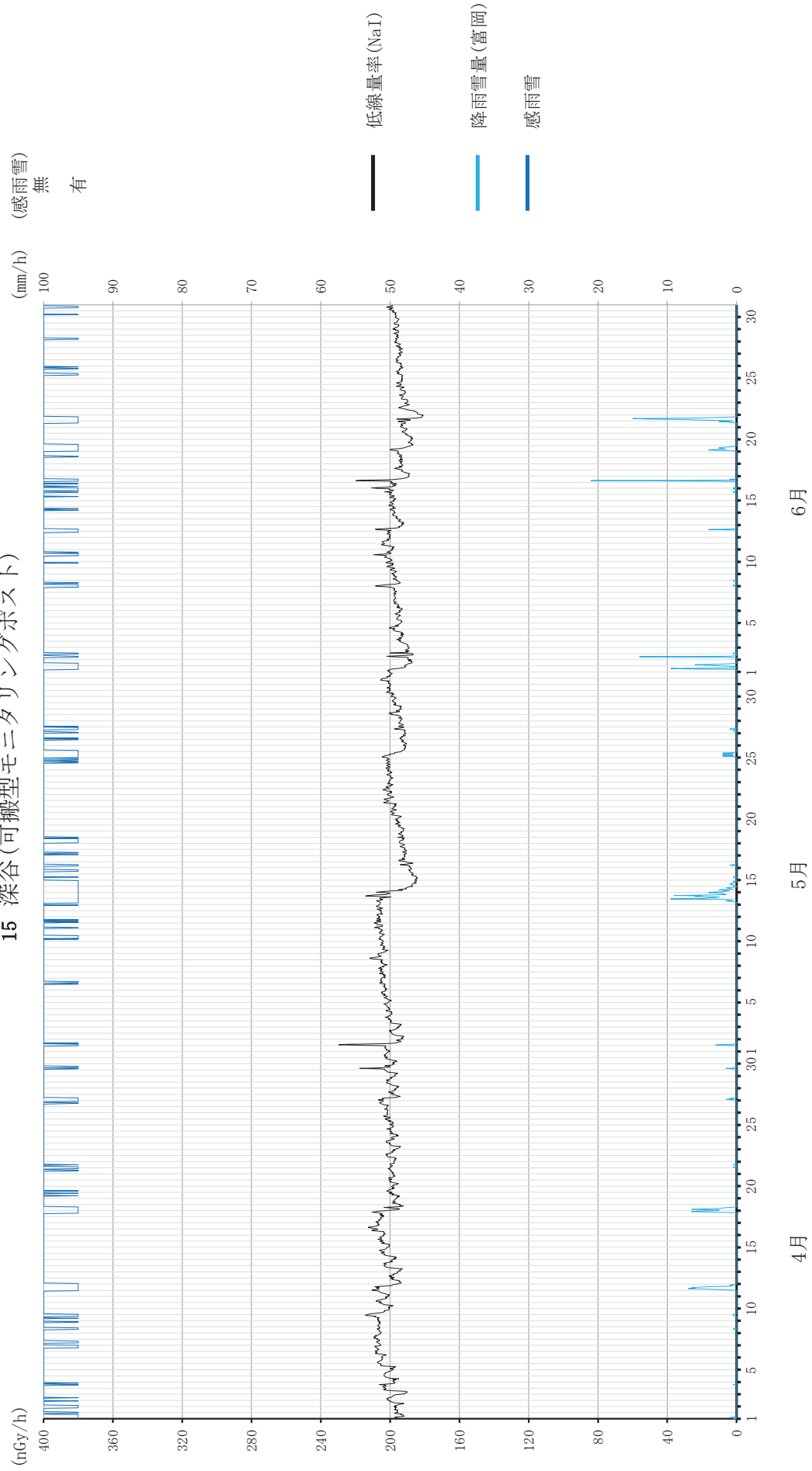


4月 5月 6月

* 1 6月8日～10日および5月27日～29日は機器異常のため低線量率欠測

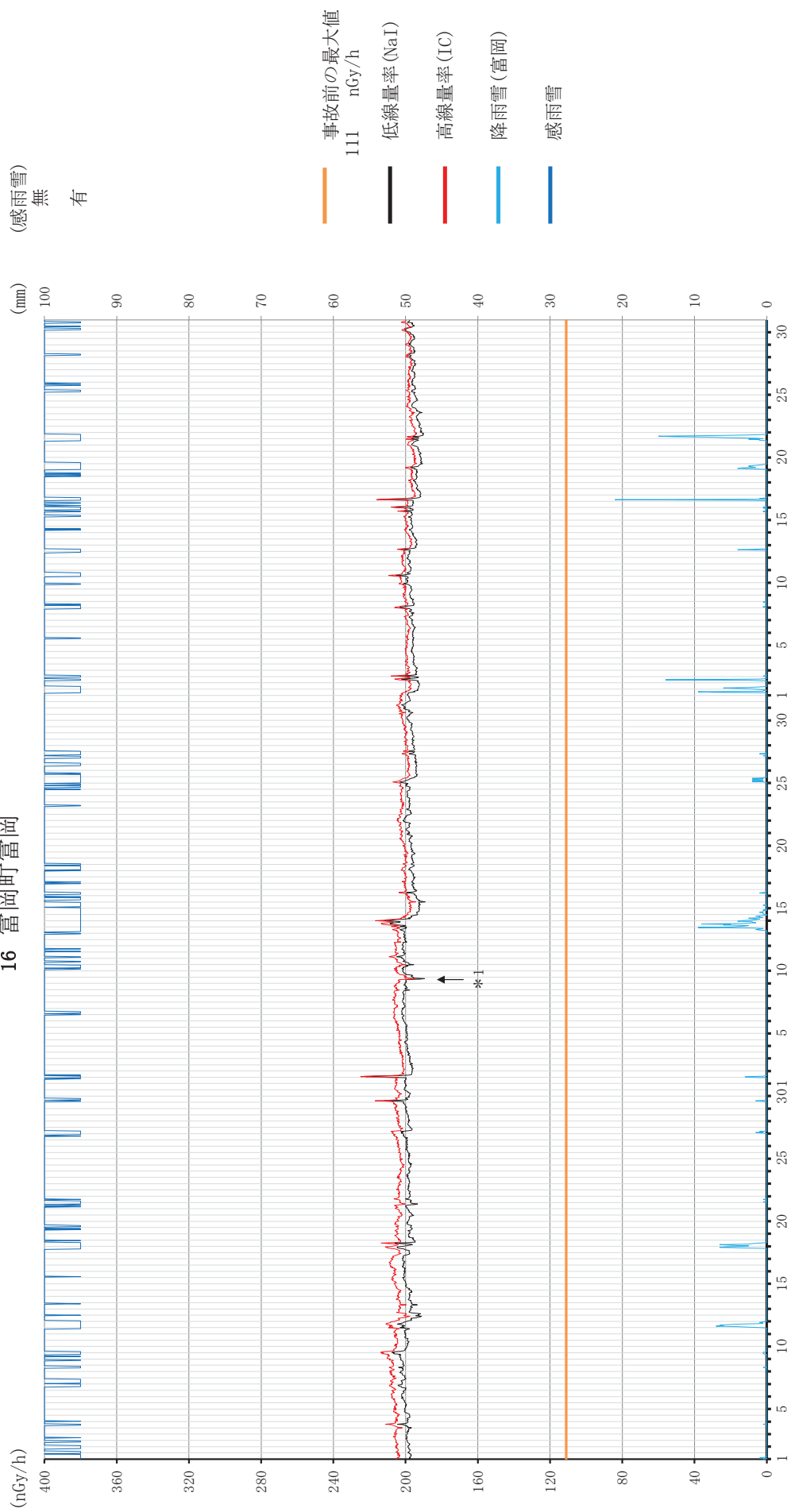
空間線量率の変動グラフ

15 深谷(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ

16 富岡町富岡



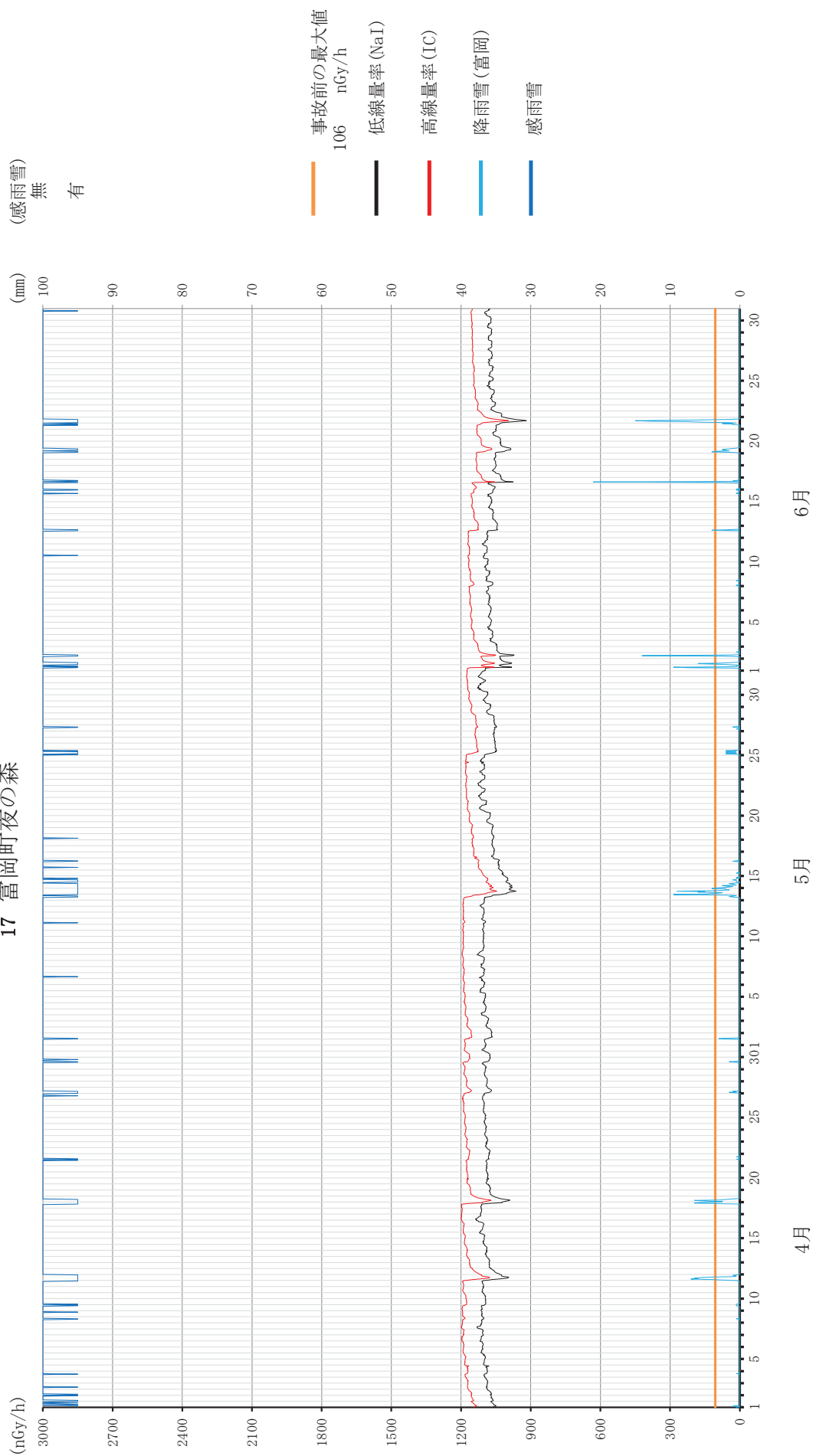
6月

5月

4月

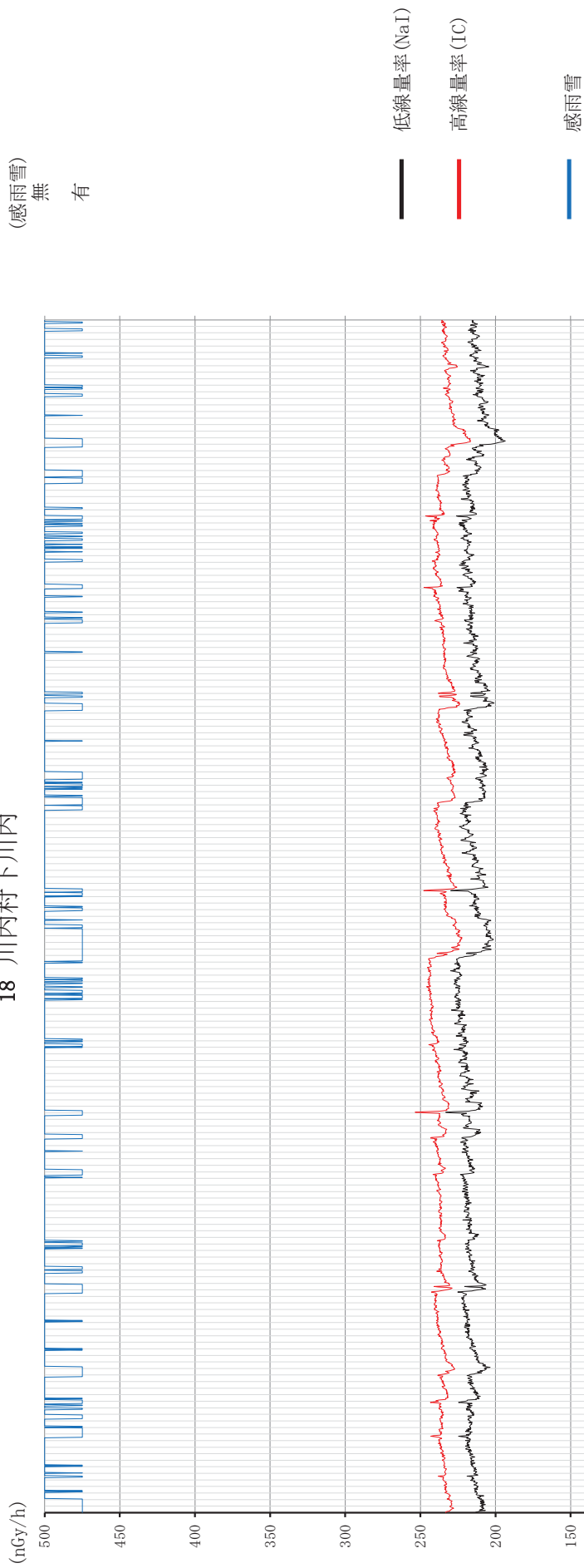
* 1 局舎周辺駐車場の遮へいによる線量率低下

空間線量率の変動グラフ
17 富岡町夜の森



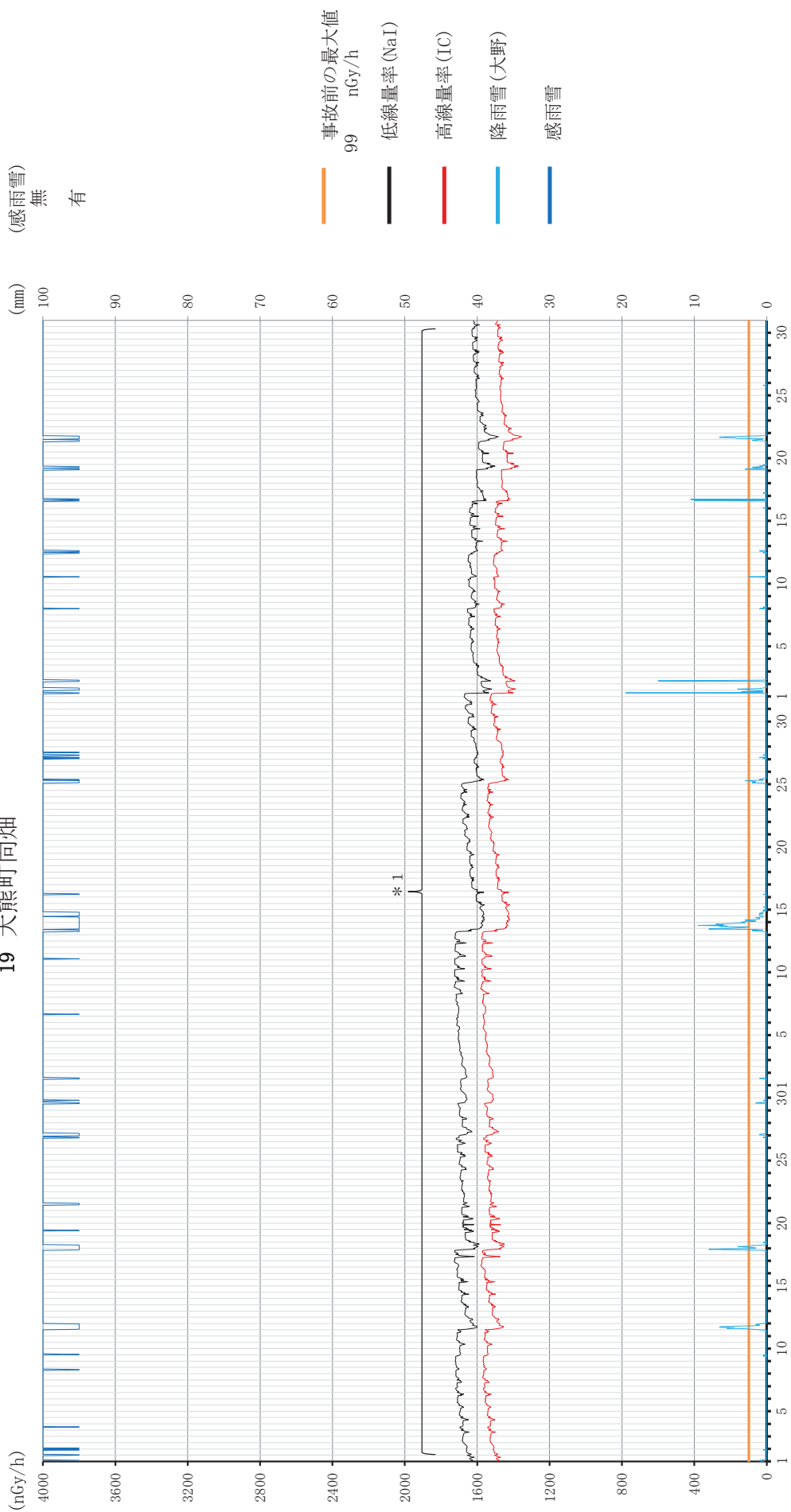
空間線量率の変動グラフ

18 川内村下川内



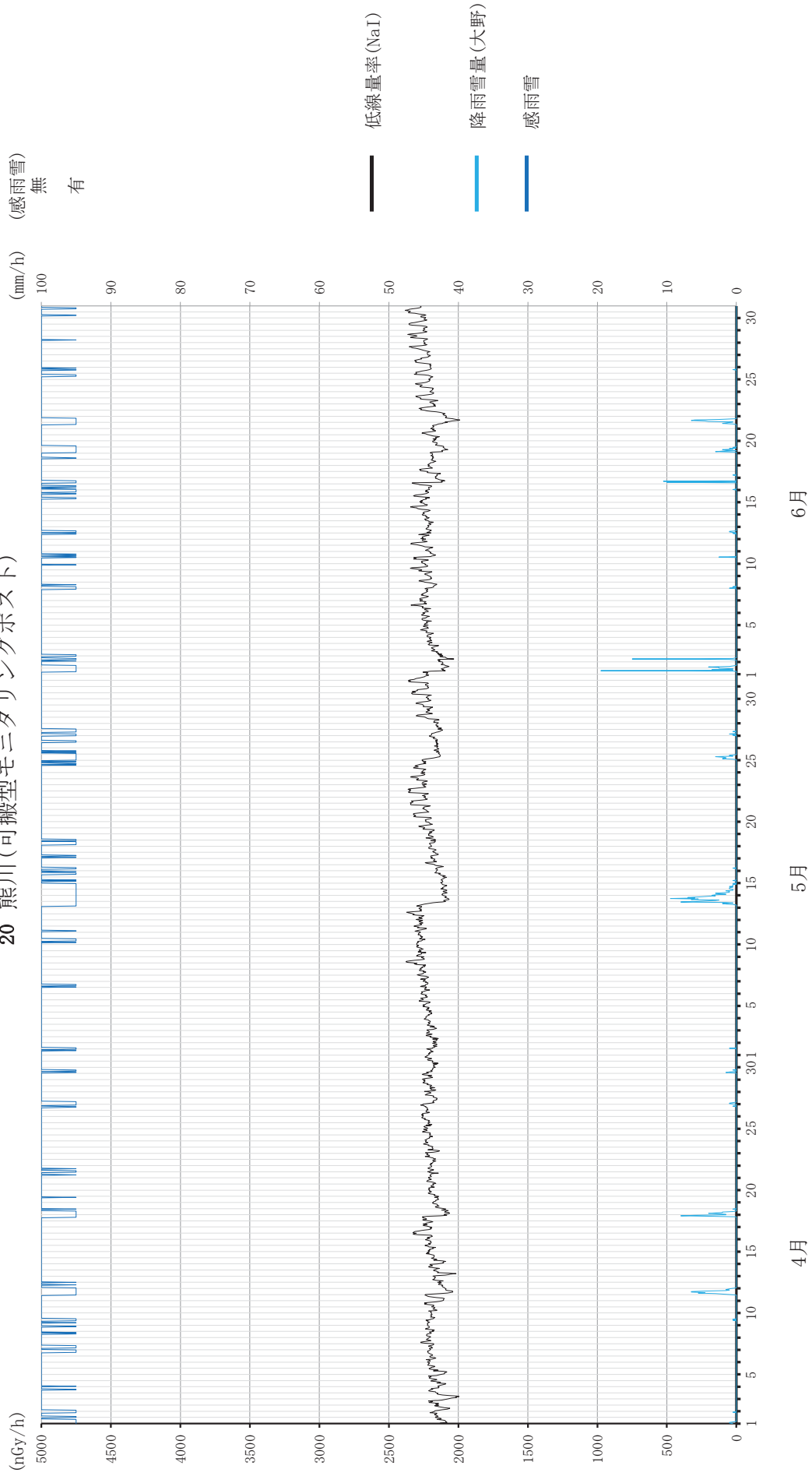
空間線量率の変動グラフ

19 大熊町向畑



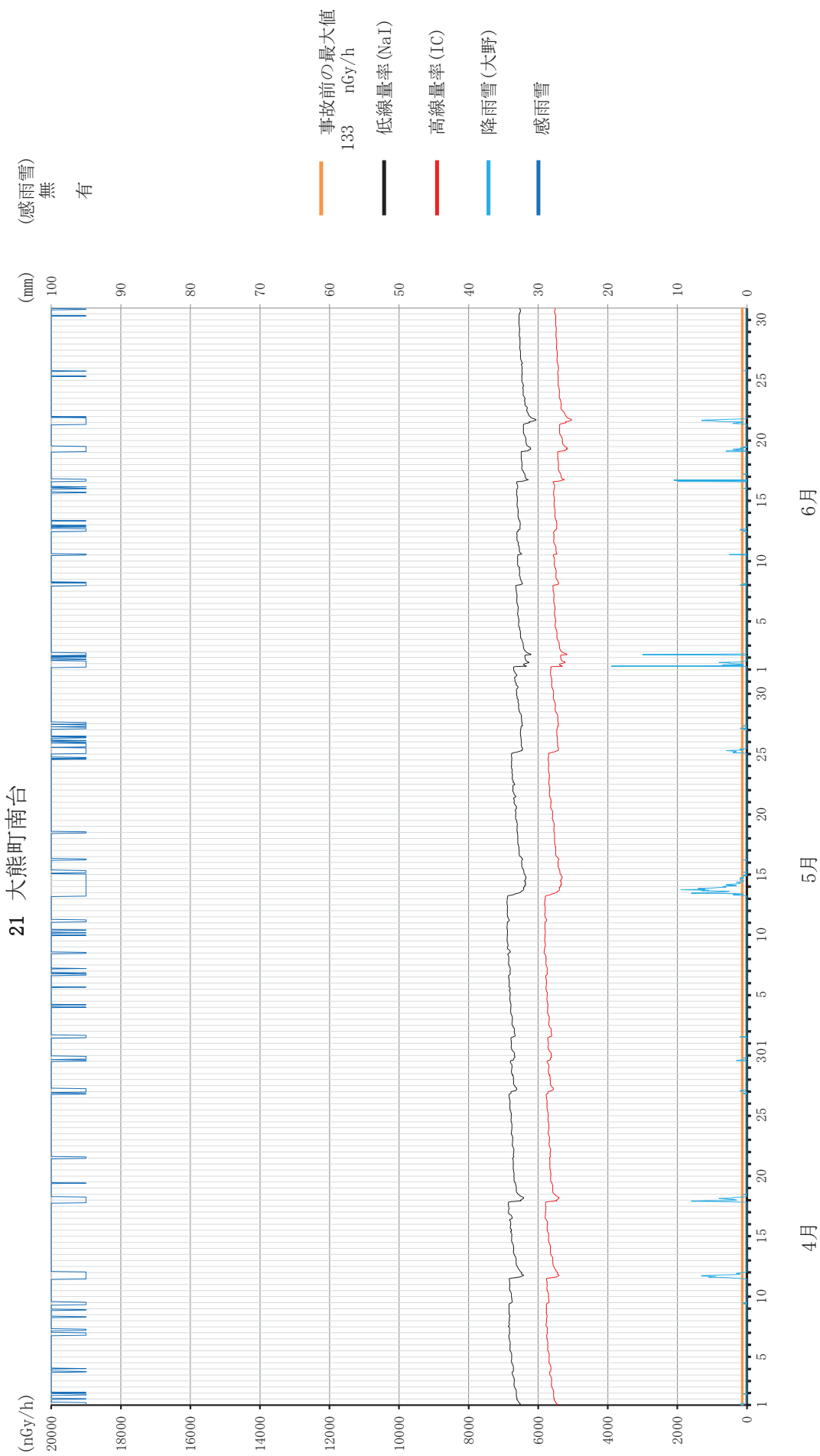
4月 5月 6月
* 1 入城ゲート通過渋滞に伴う停車車両の遮へい効果による定期的な線量率低下

空間線量率の変動グラフ
20 熊川(可搬型モニタリングポスト)

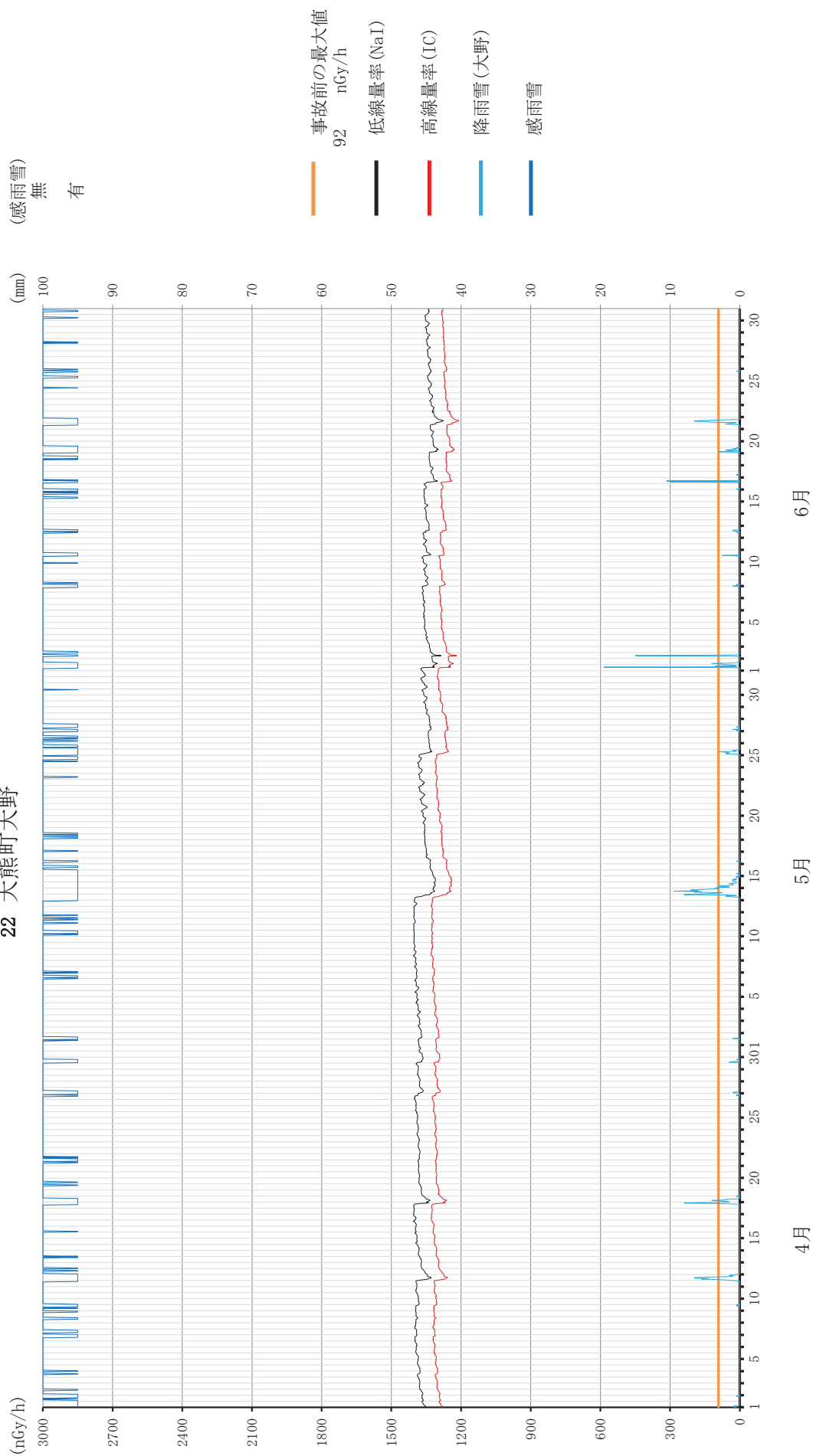


空間線量率の変動グラフ

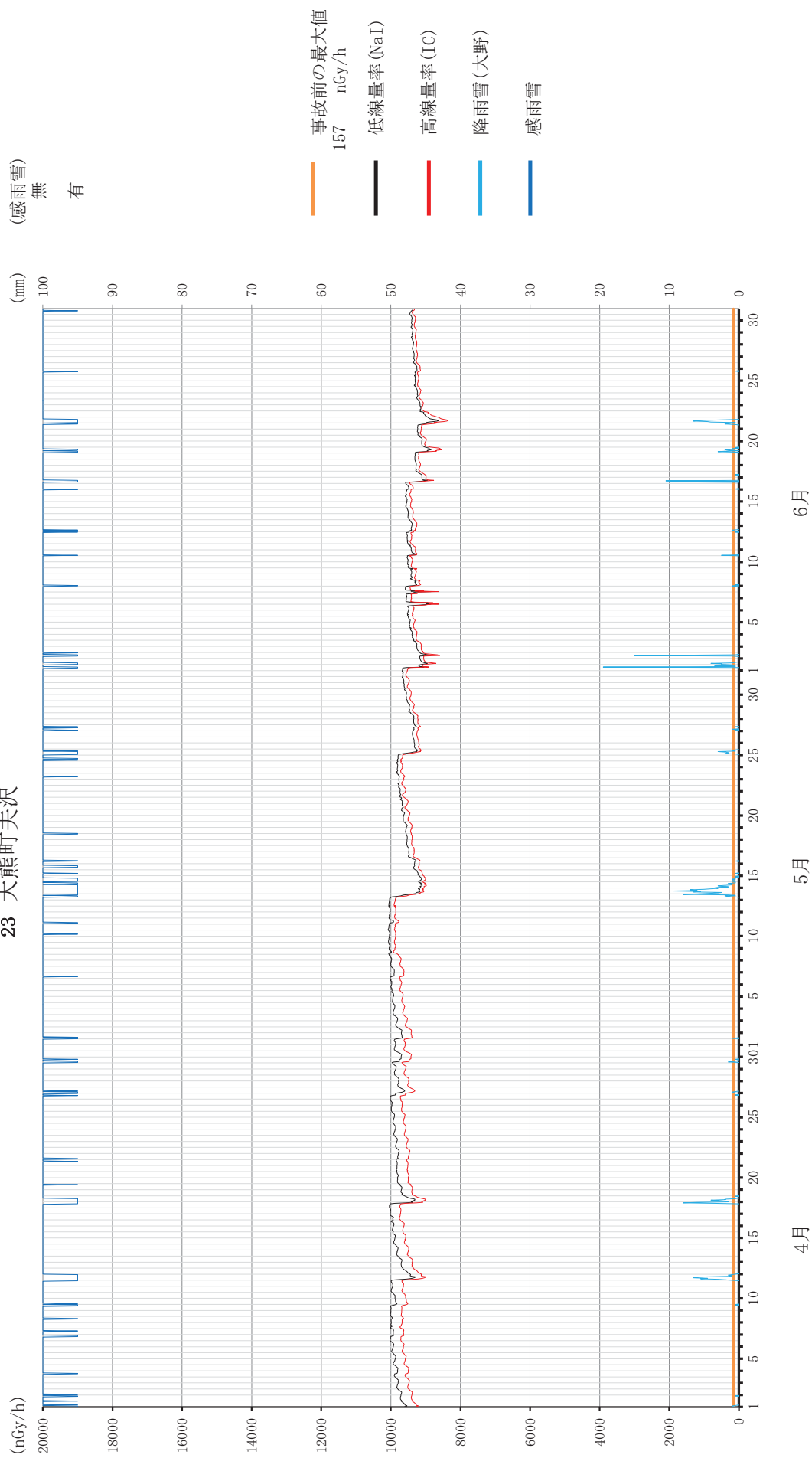
21 大熊町南台



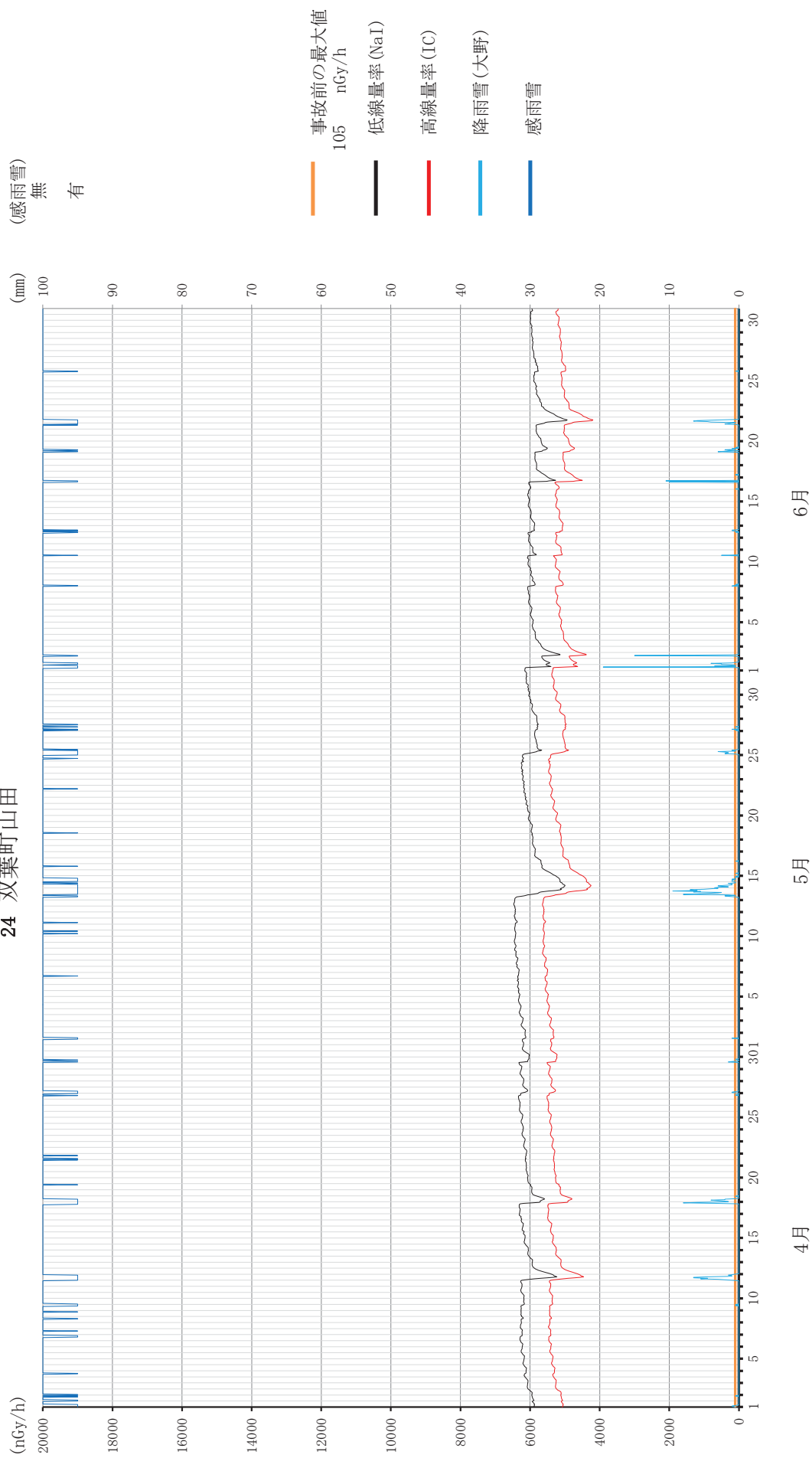
空間線量率の変動グラフ 22 大熊町大野



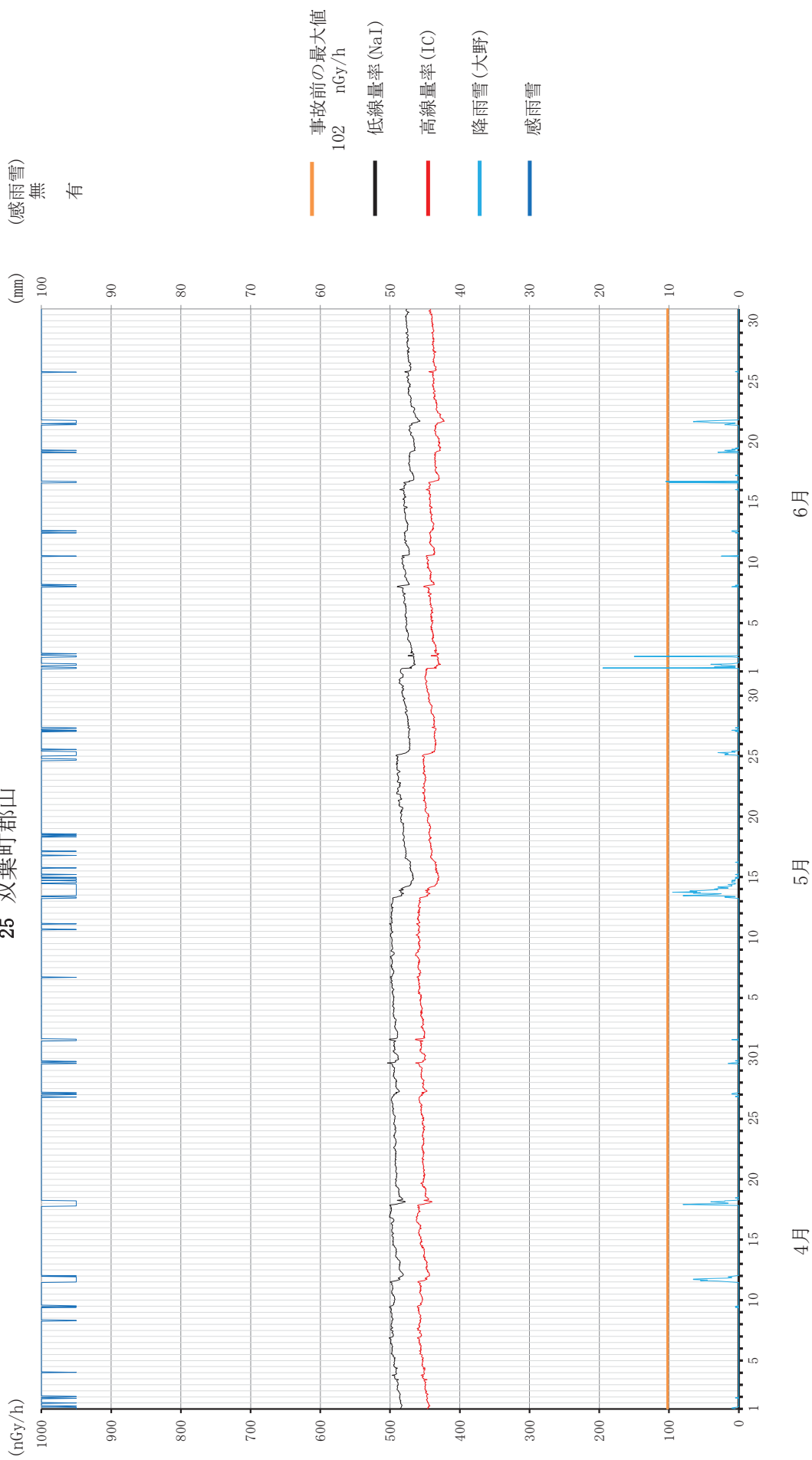
空間線量率の変動グラフ
23 大熊町夫沢



空間線量率の変動グラフ
24 双葉町山田

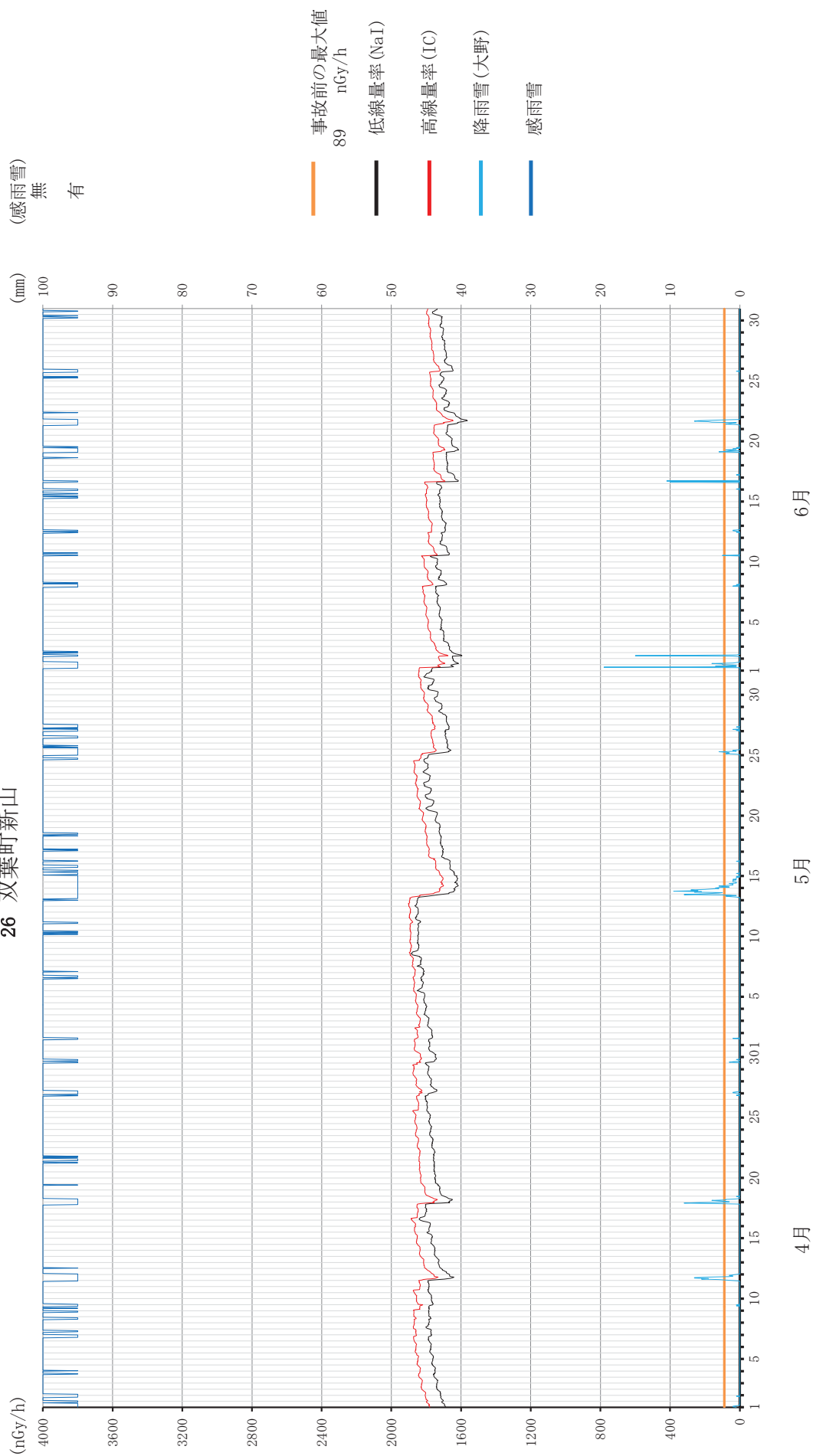


空間線量率の変動グラフ
25 双葉町郡山



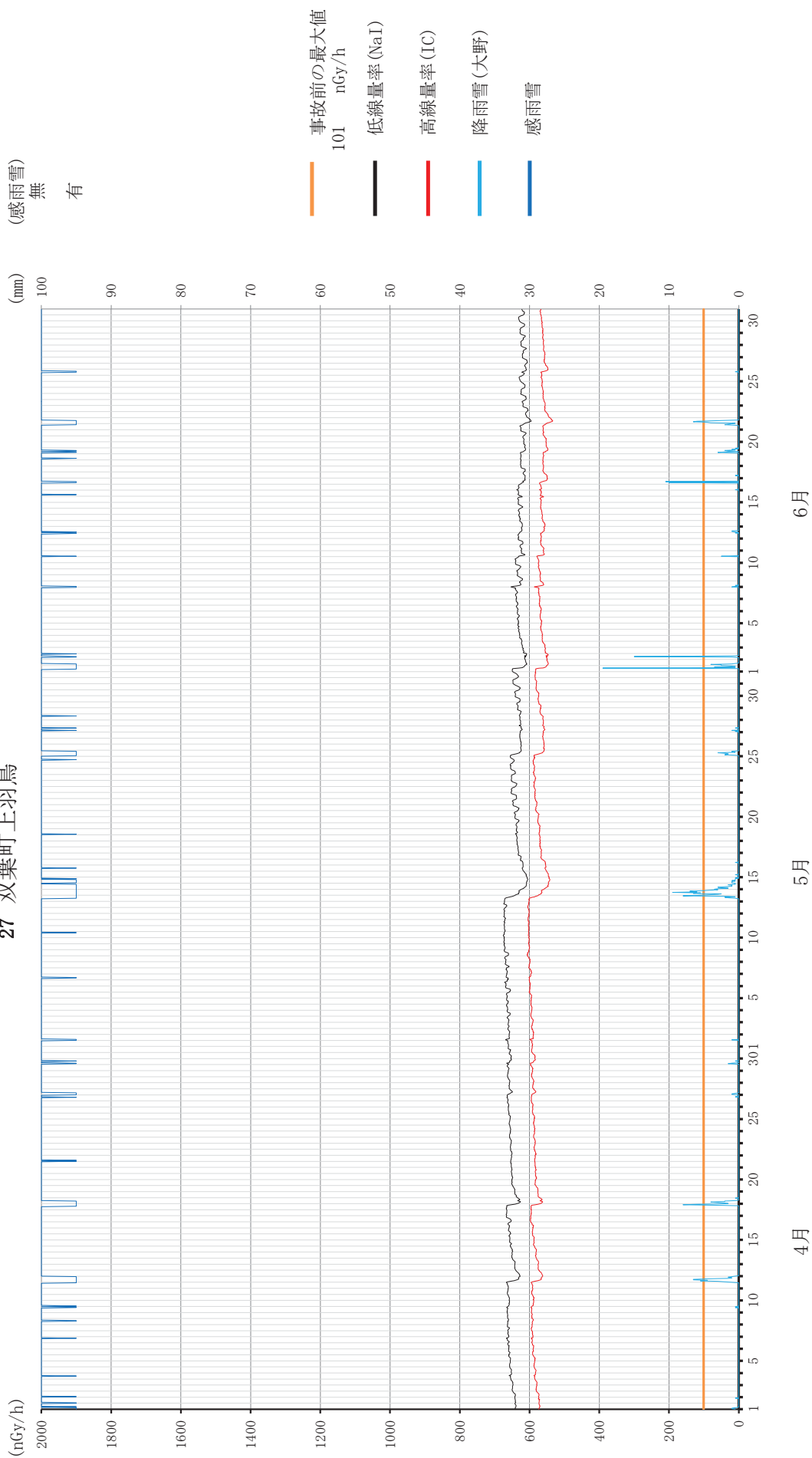
空間線量率の変動グラフ

26 双葉町新山

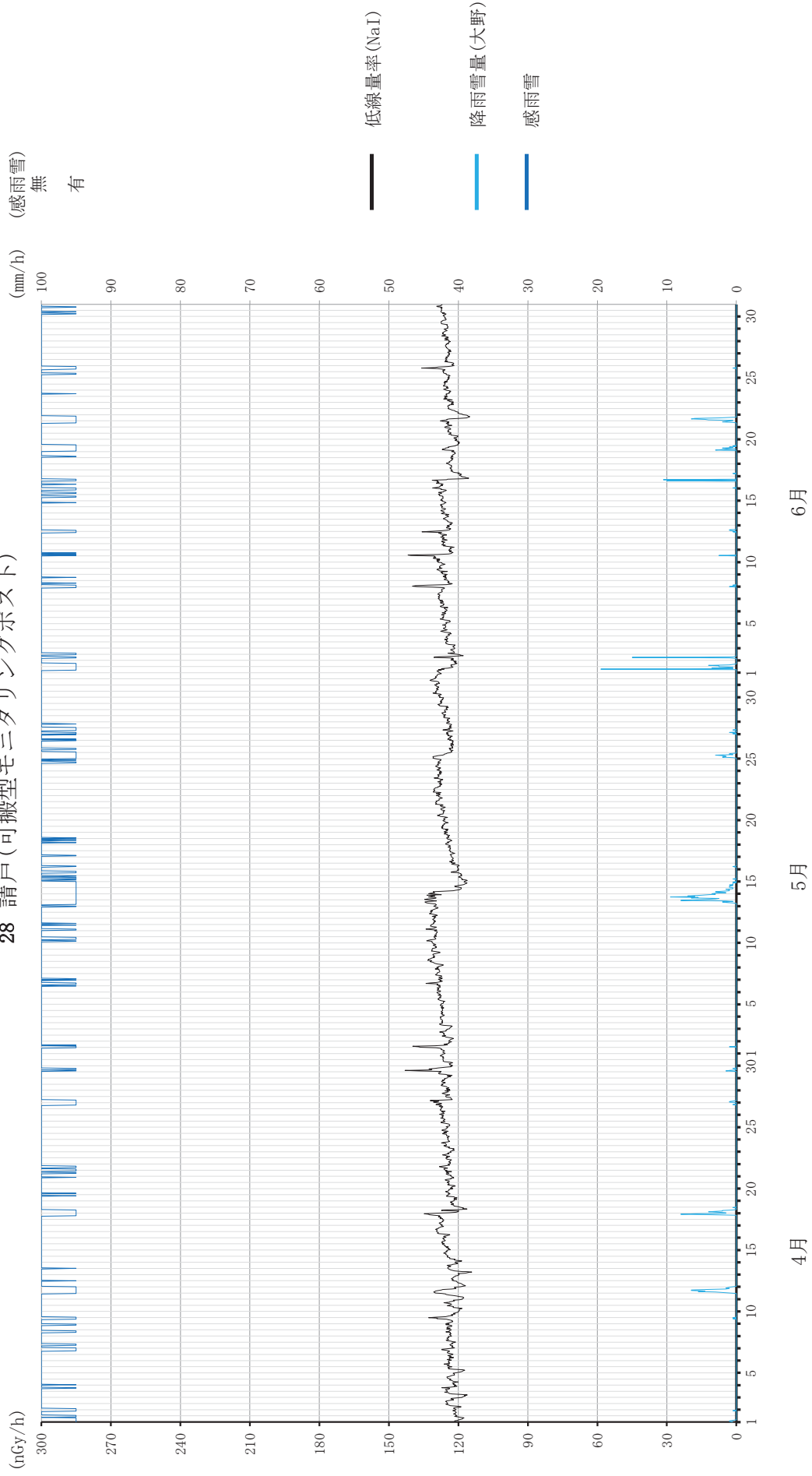


空間線量率の変動グラフ

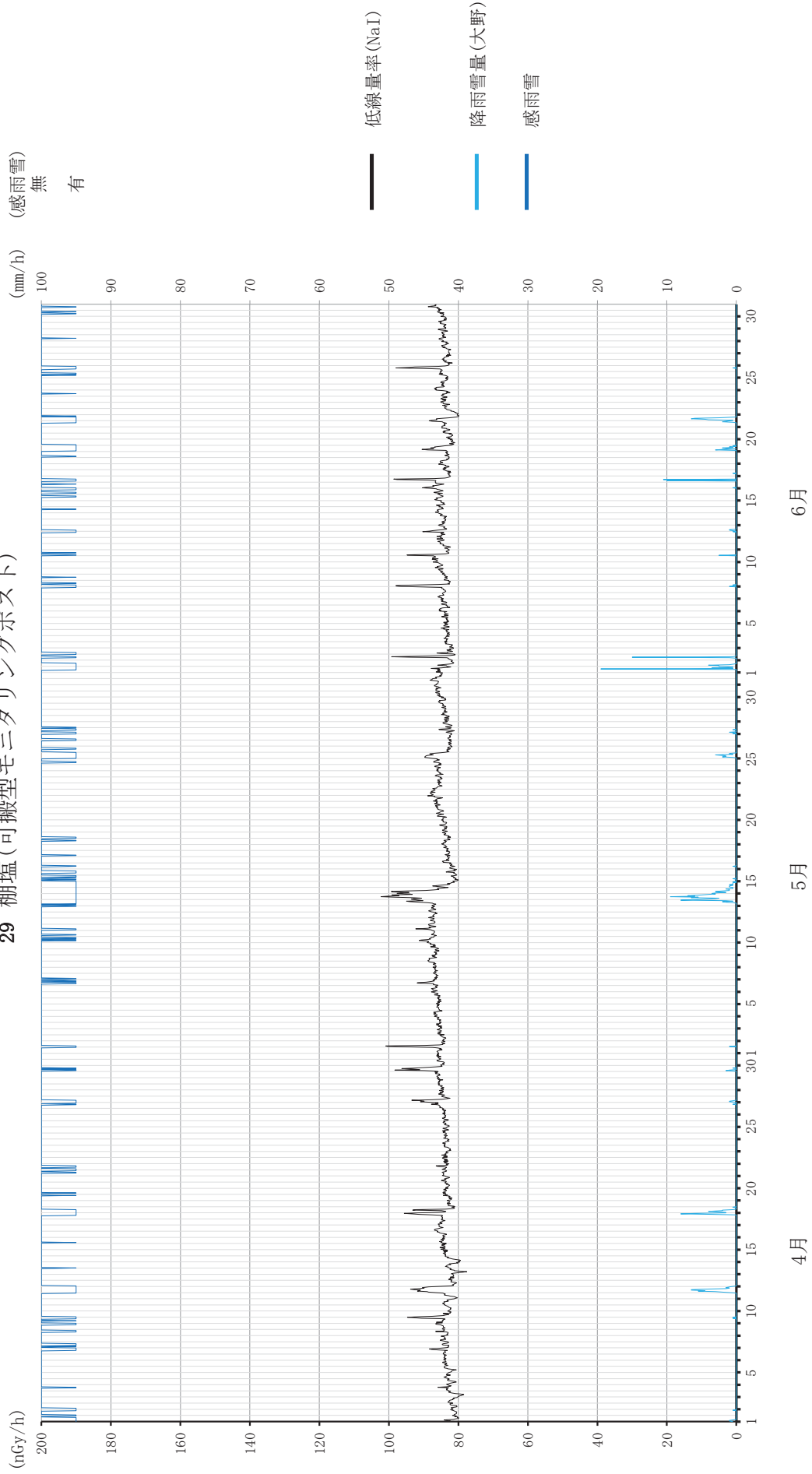
27 双葉町上羽鳥



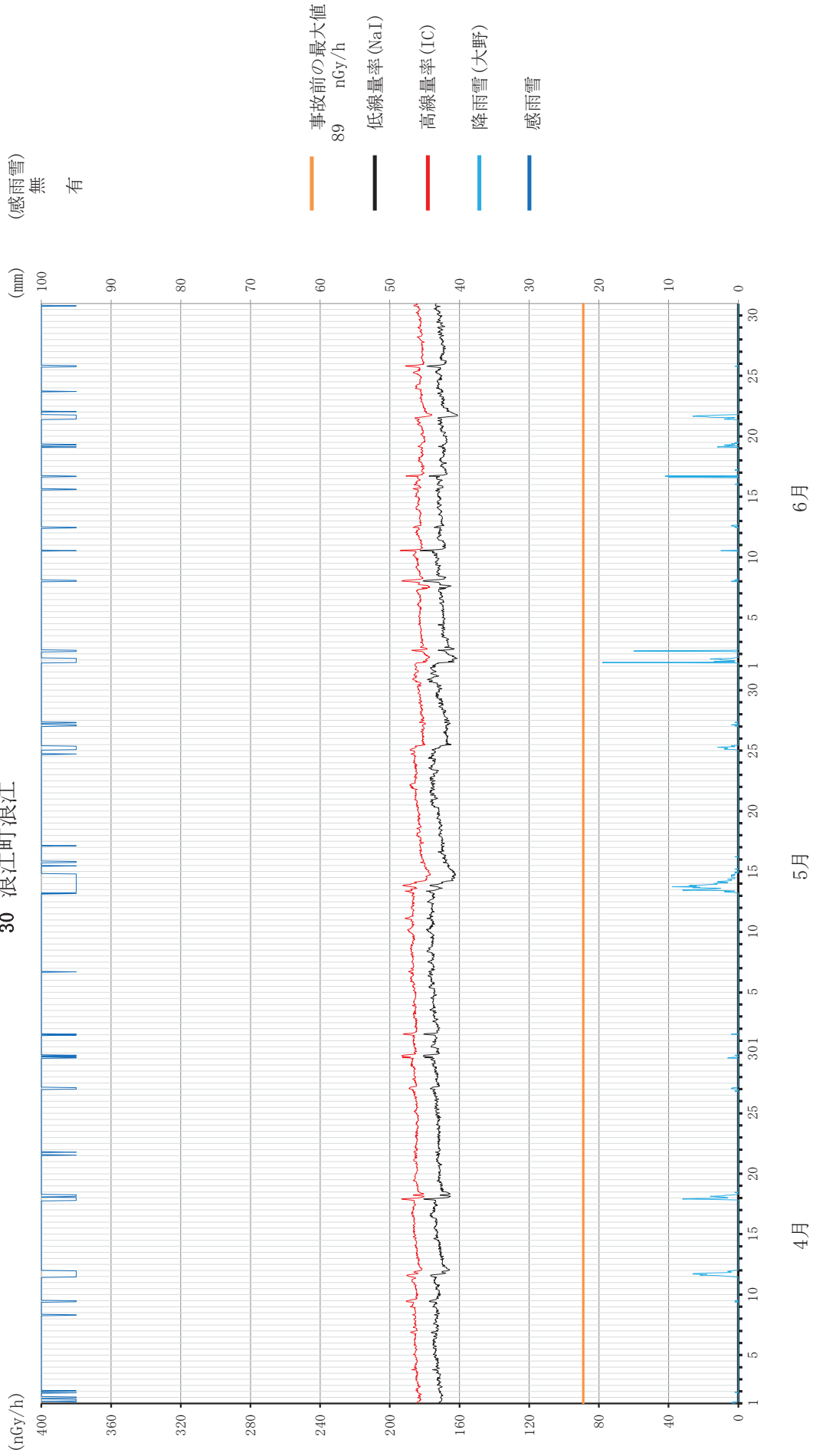
空間線量率の変動グラフ
28 請戸(可搬型モニタリングポスト)



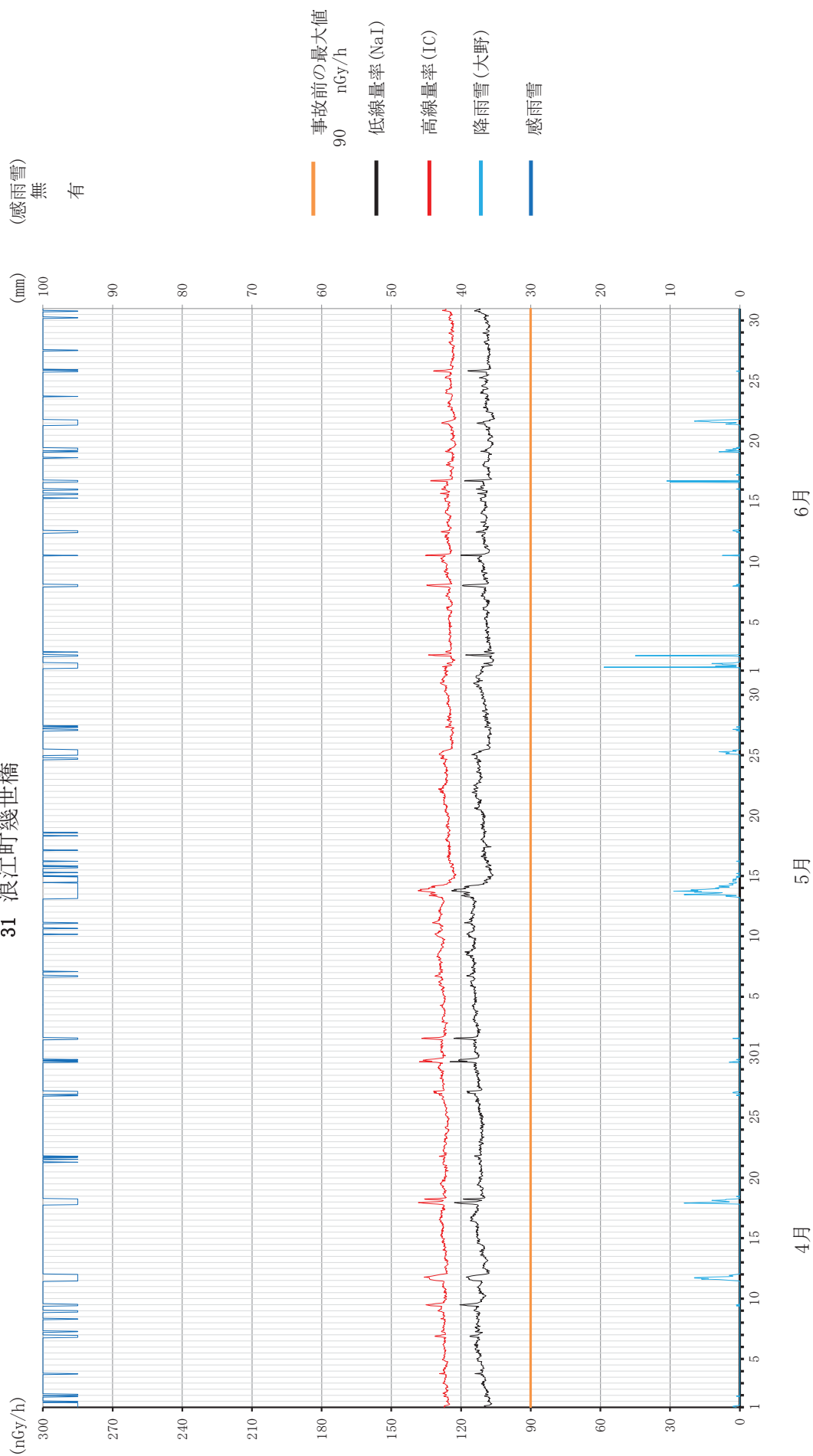
空間線量率の変動グラフ
29 棚塩(可搬型モニタリングポスト)



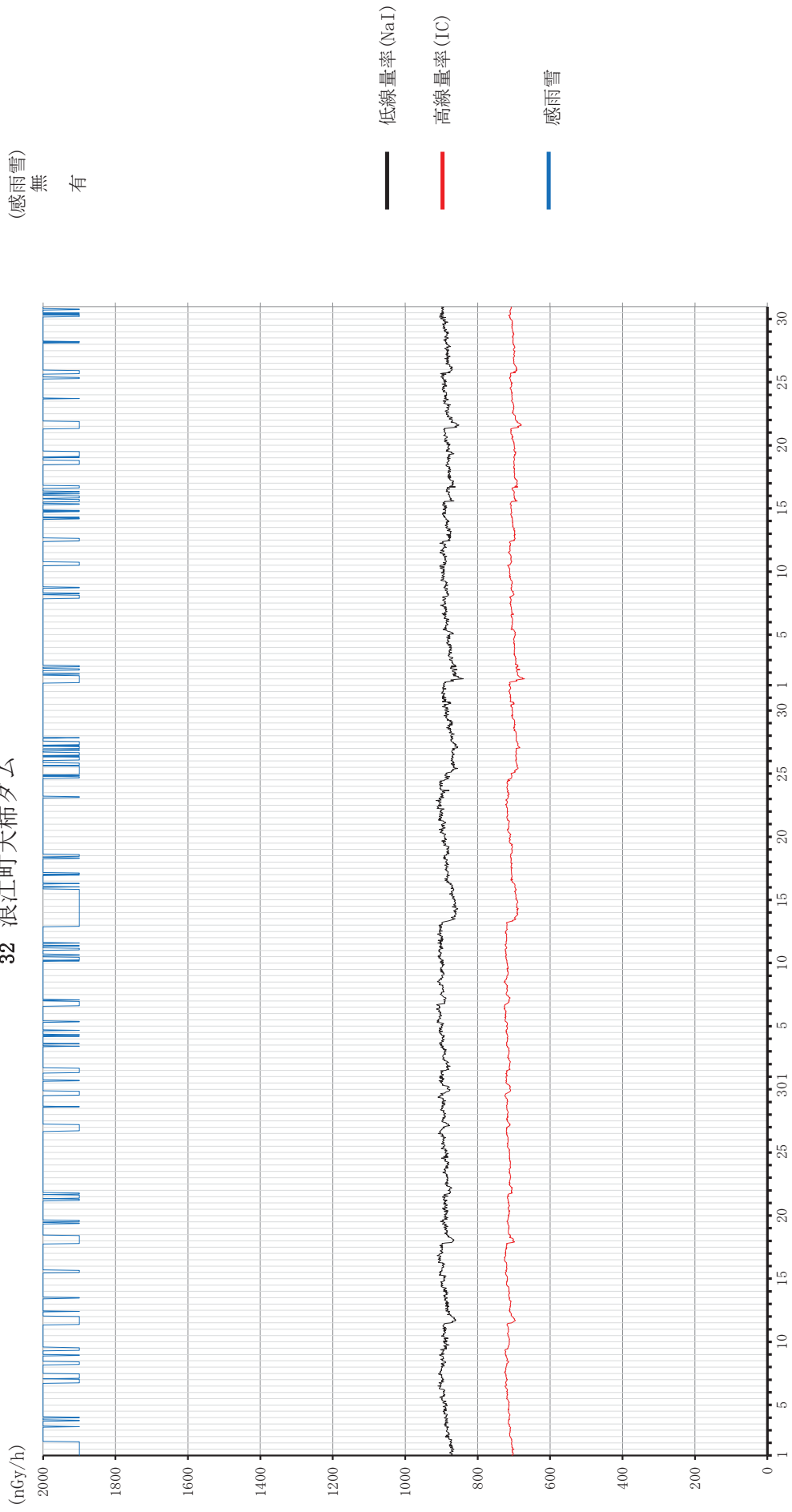
空間線量率の変動グラフ
30 浪江町浪江



空間線量率の変動グラフ
31 浪江町幾世橋



空間線量率の変動グラフ 32 浪江町大柿ダム

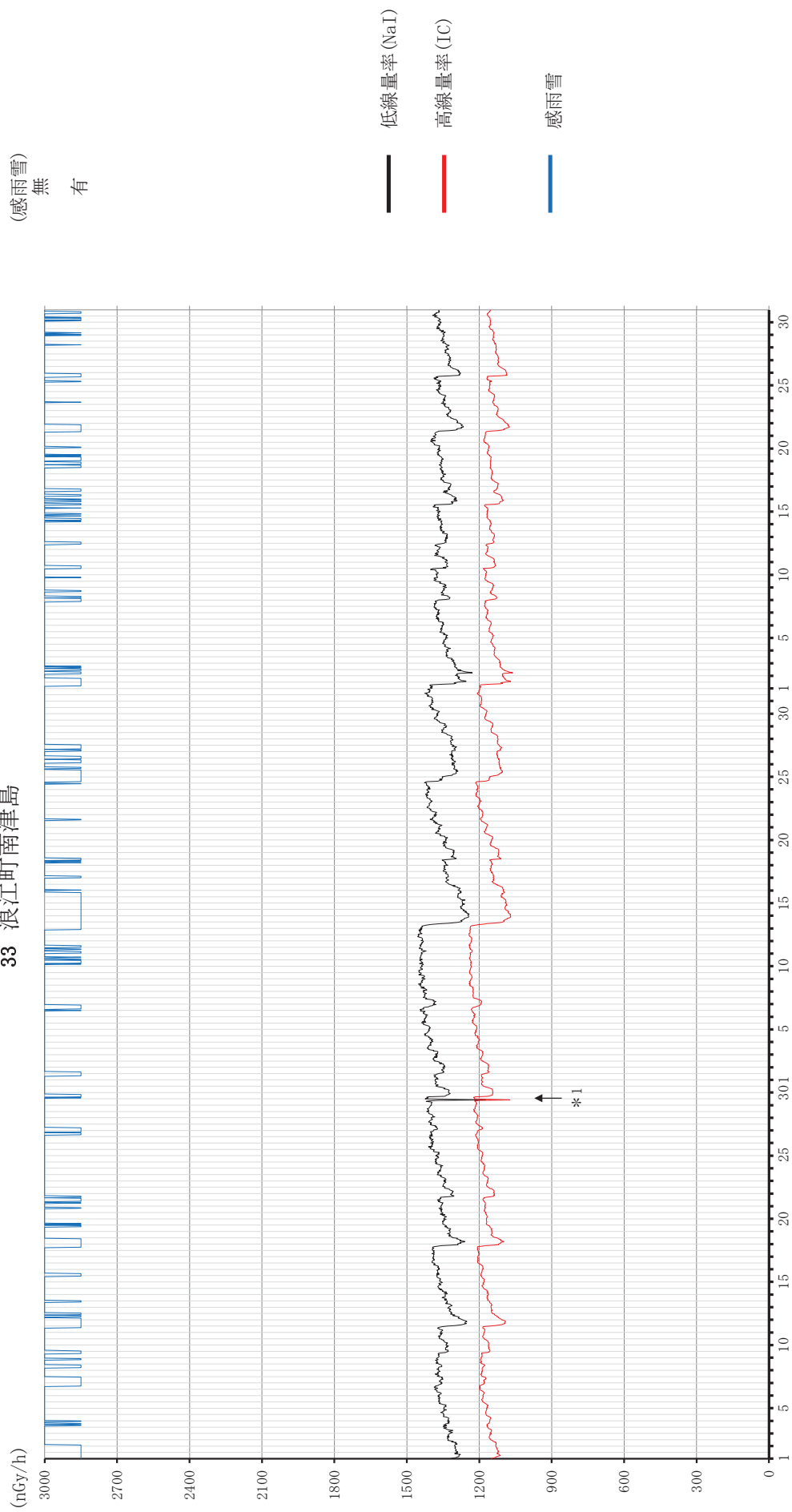


6月

5月

4月

空間線量率の変動グラフ
33 浪江町南津島



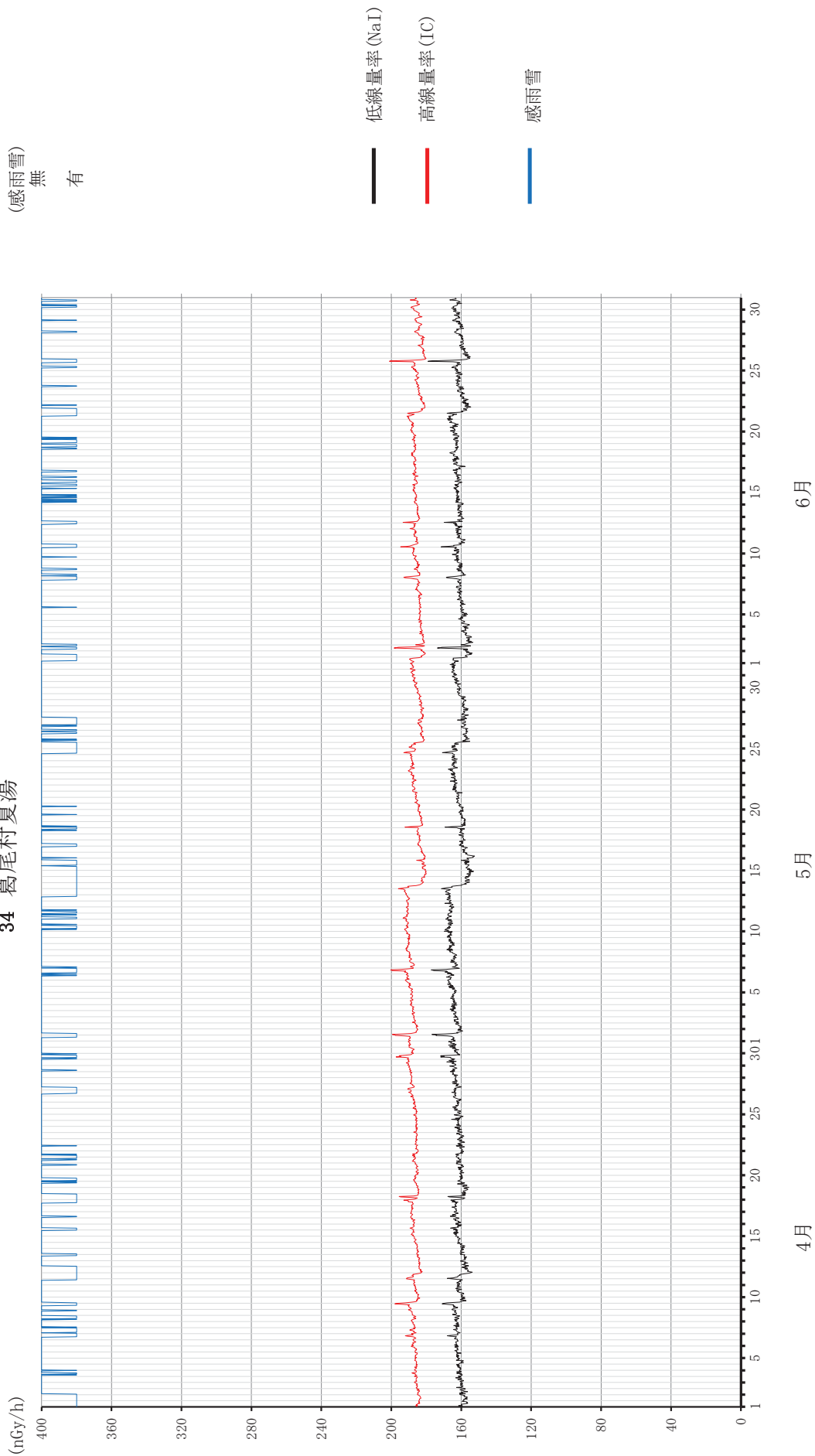
6月

5月

4月

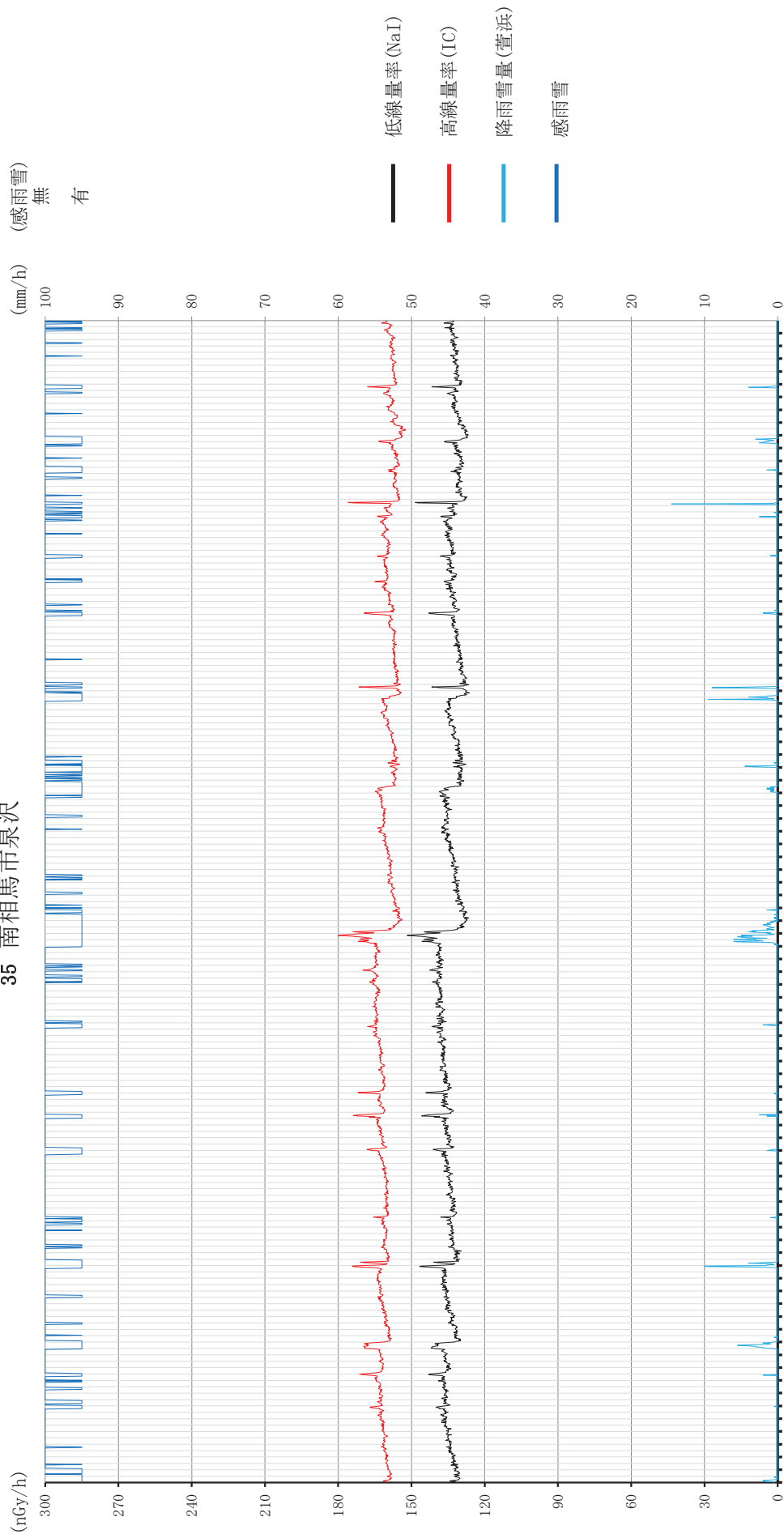
*1 局舎周辺駐車車両の遮へい効果による線量率低下

空間線量率の変動グラフ 34 葛尾村夏湯

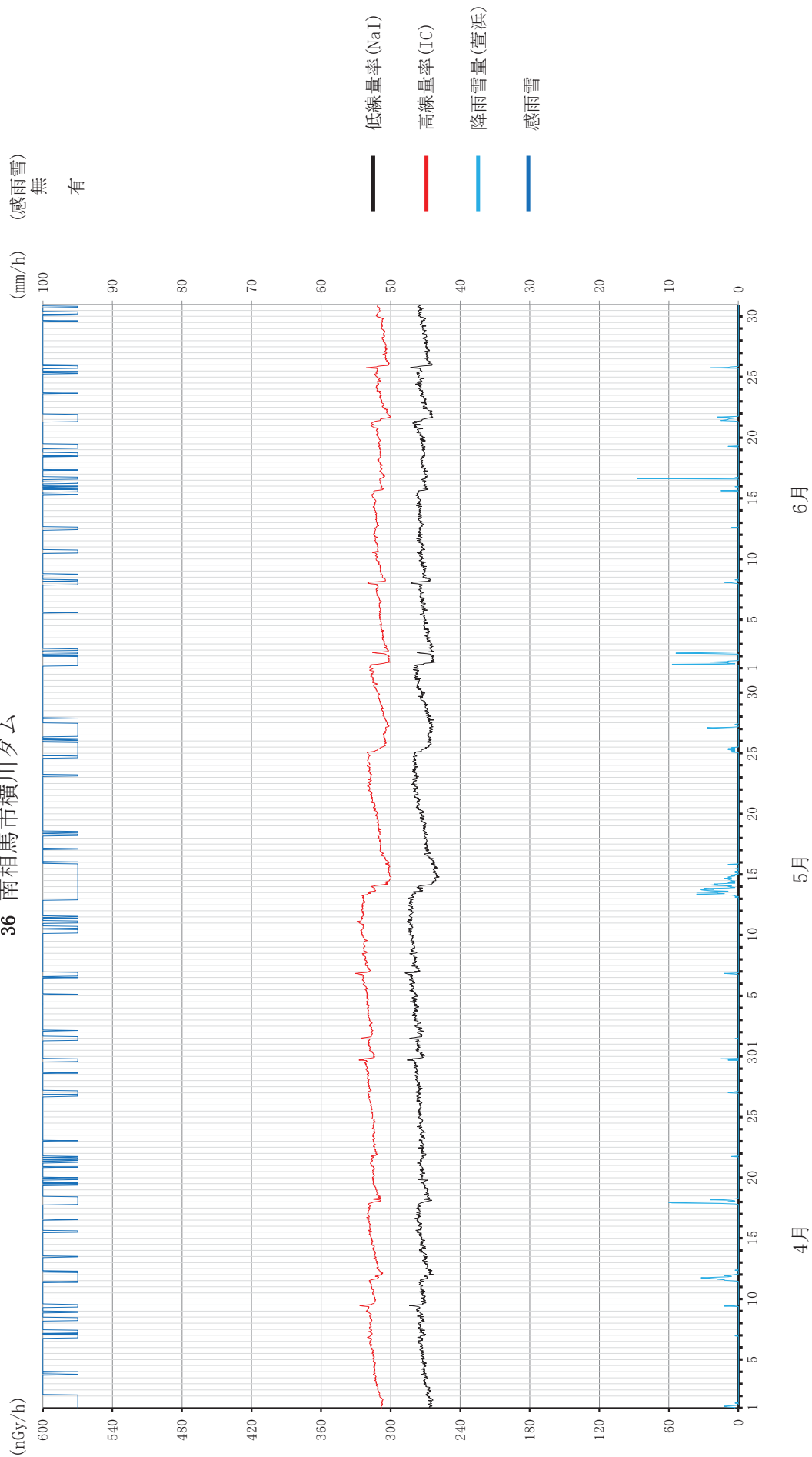


空間線量率の変動グラフ

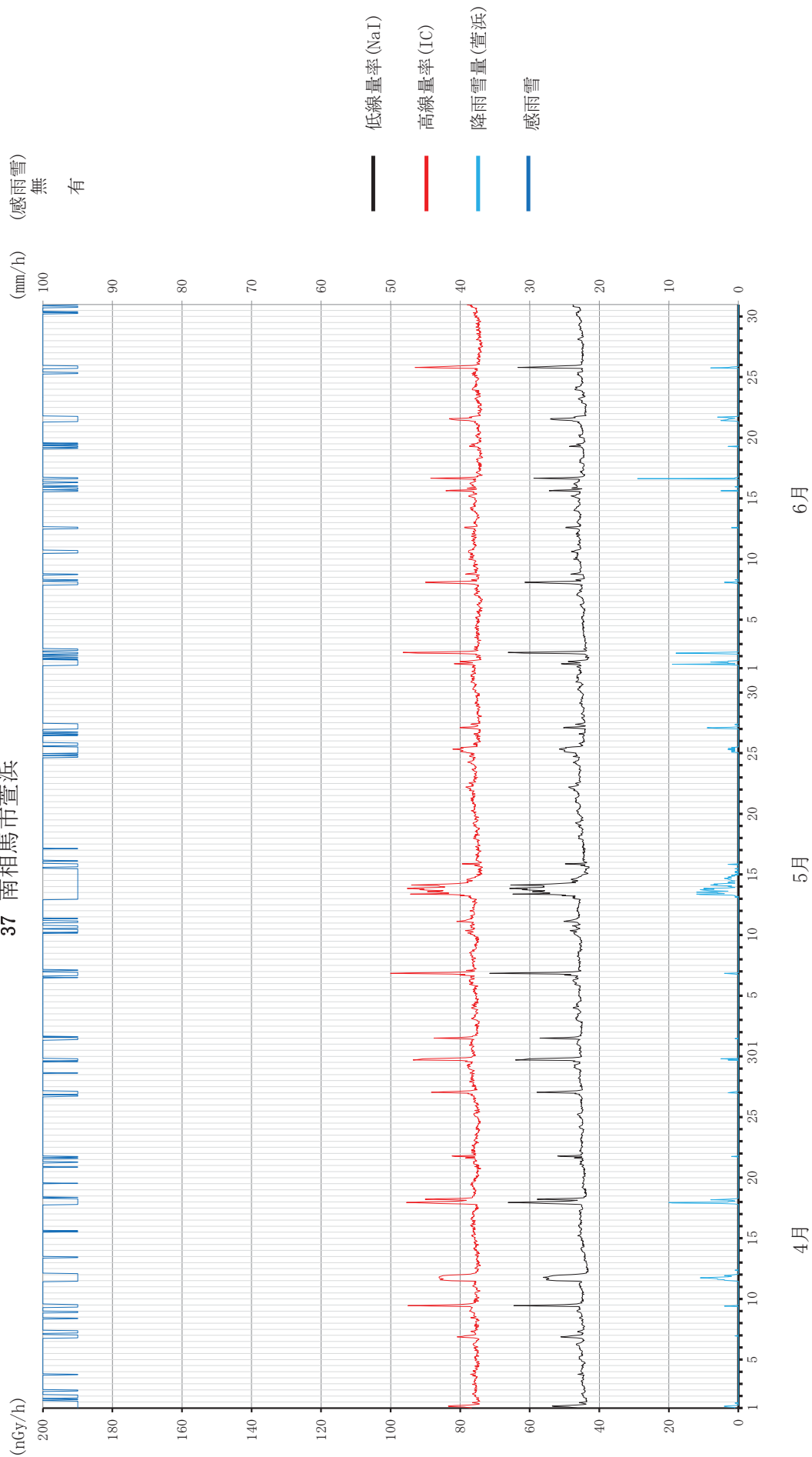
35 南相馬市泉沢



空間線量率の変動グラフ
36 南相馬市横川ダム

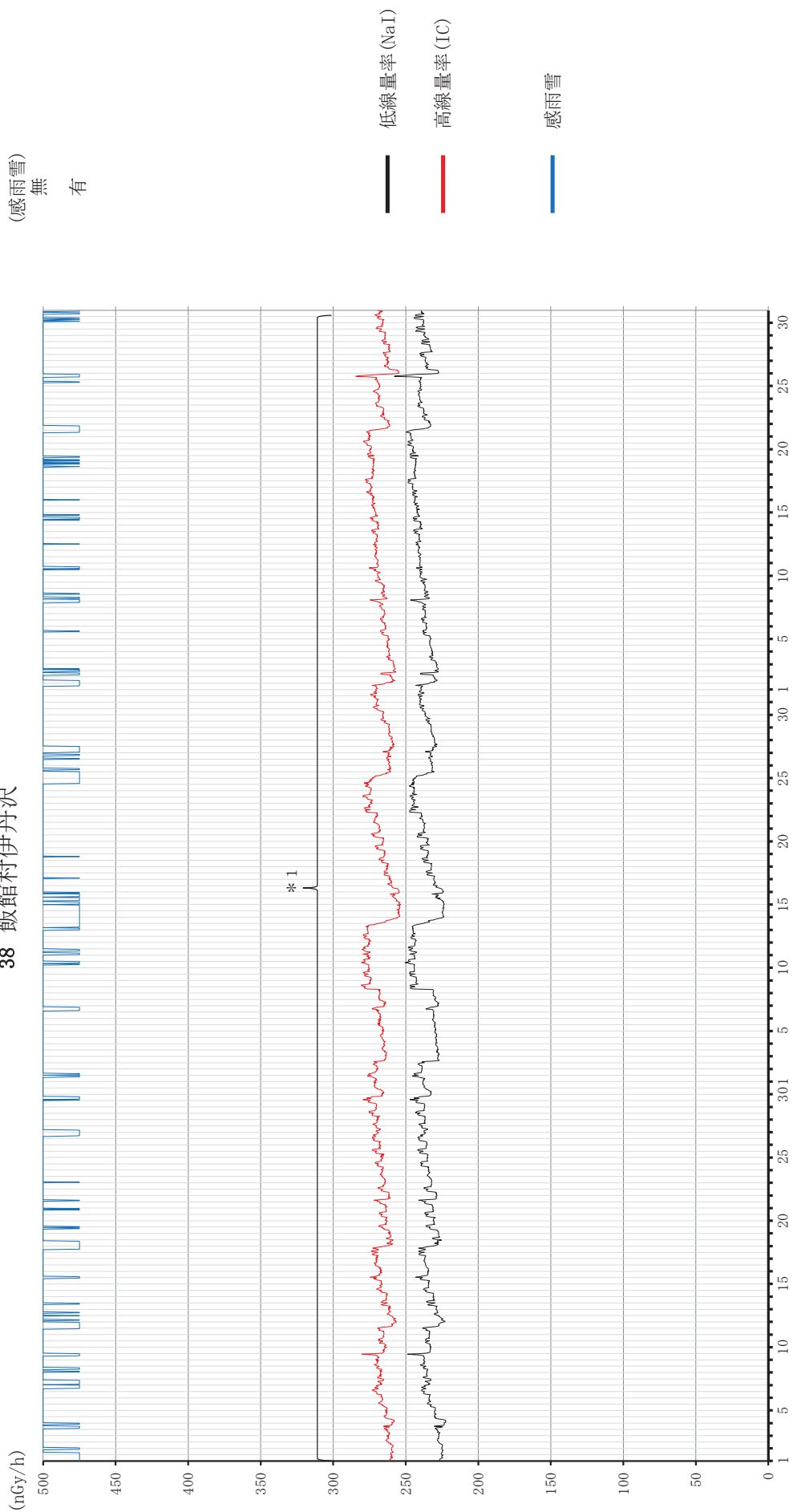


空間線量率の変動グラフ
37 南相馬市萱浜



空間線量率の変動グラフ

38 飯館村伊丹沢



4月

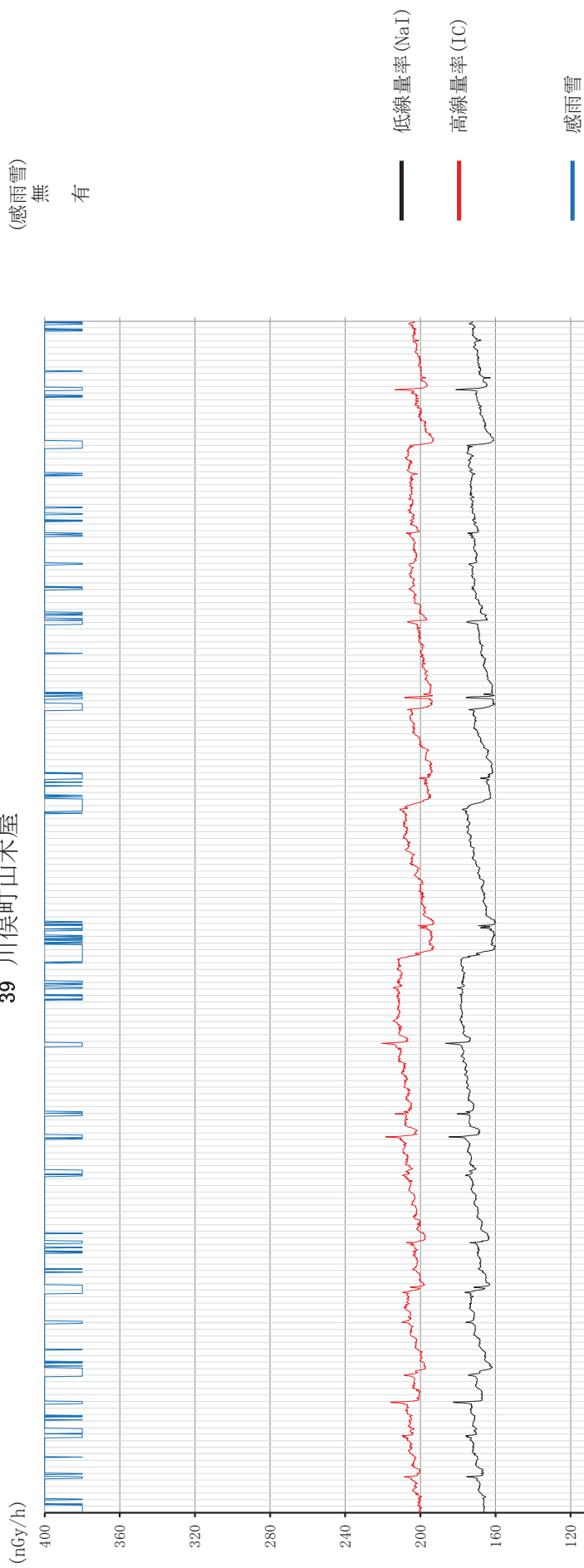
5月

6月

* 1 局舎周辺駐車車両の遮蔽効果による定期的な線量率低下

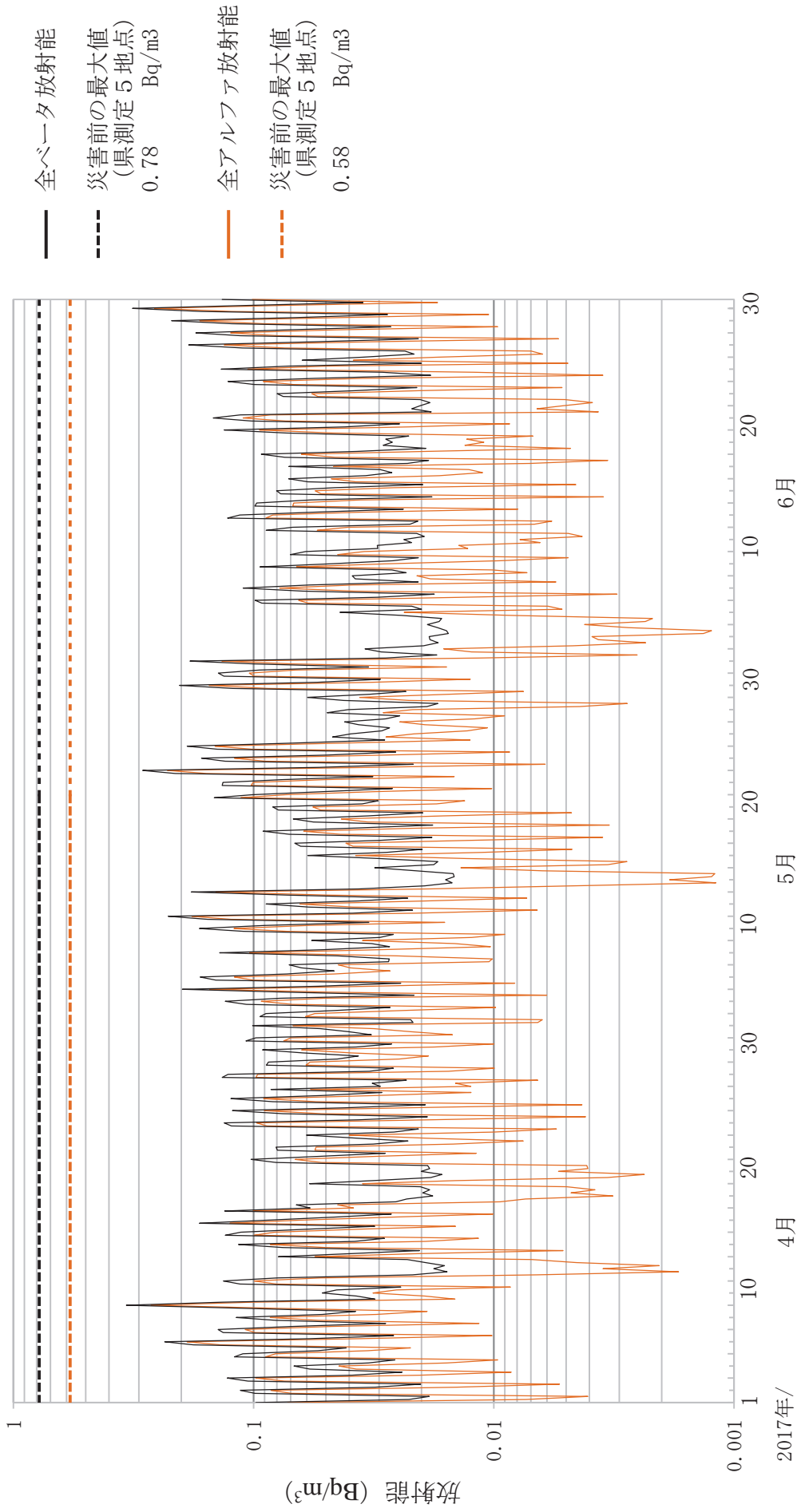
空間線量率の変動グラフ

39 川俣町山木屋



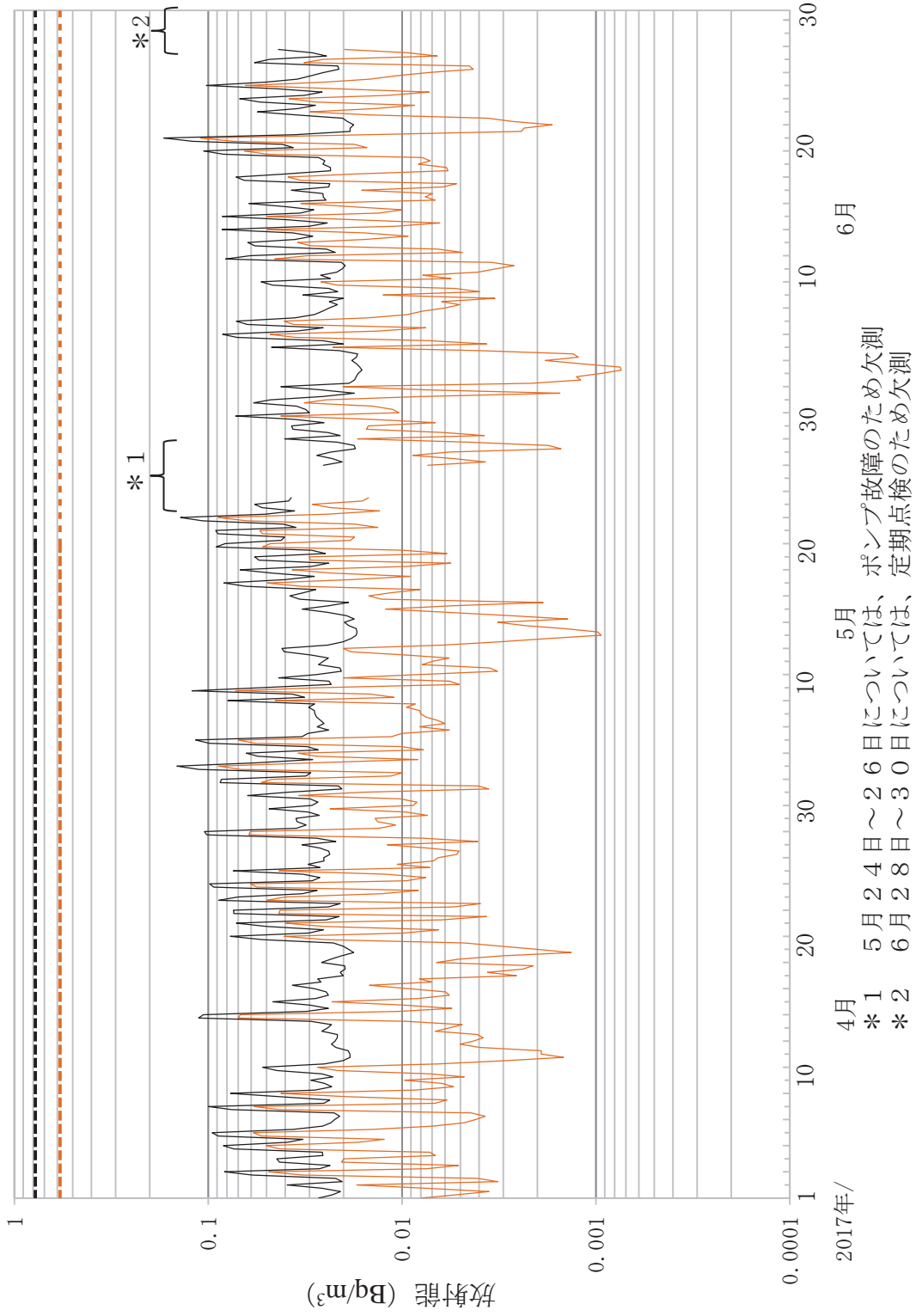
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

1 いわき市小川
(平成29年4月1日～6月30日)



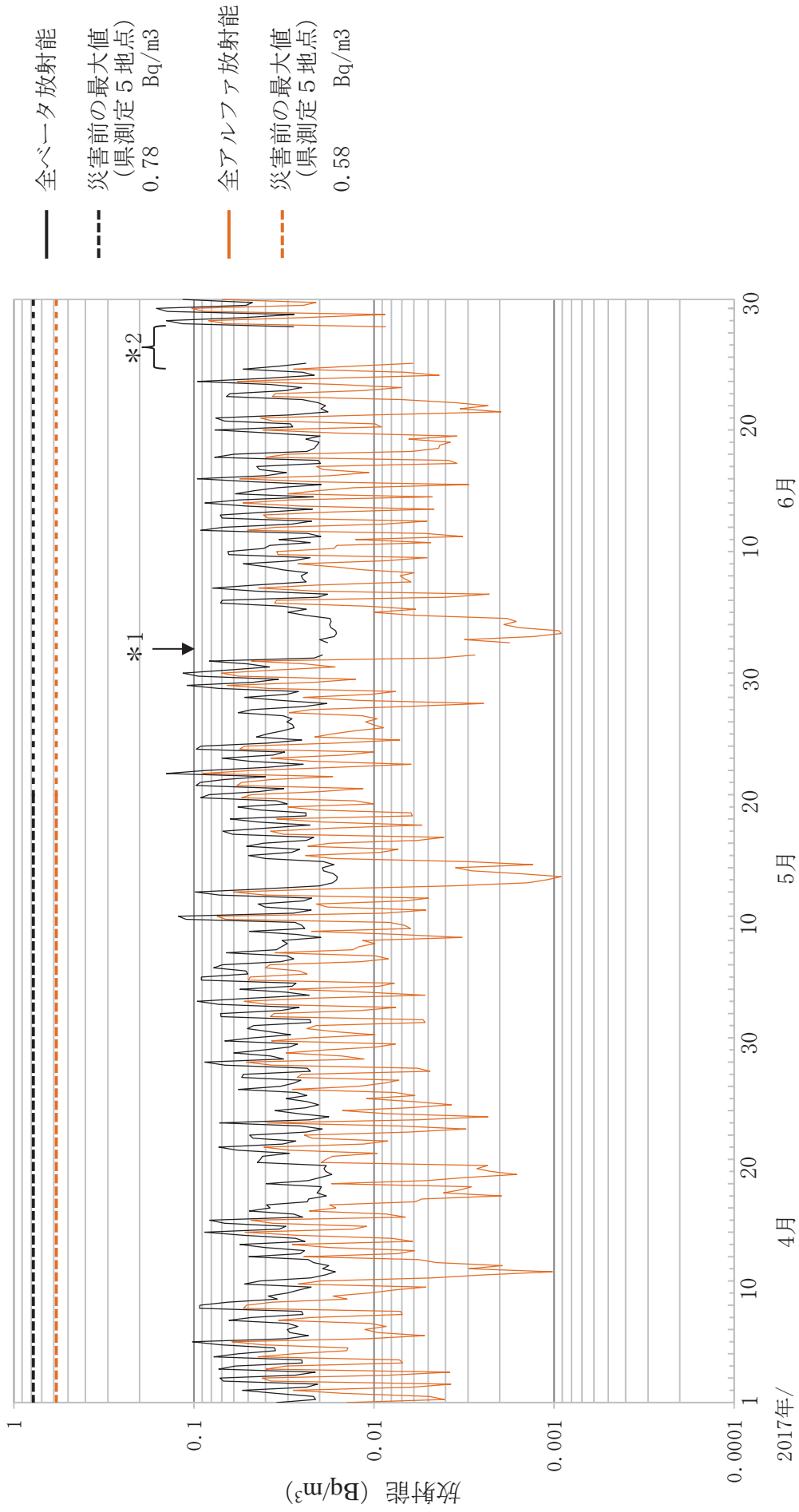
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

2 田村市都路馬洗戸
(平成29年4月1日～6月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

3 広野町小滝平
(平成29年4月1日～6月30日)

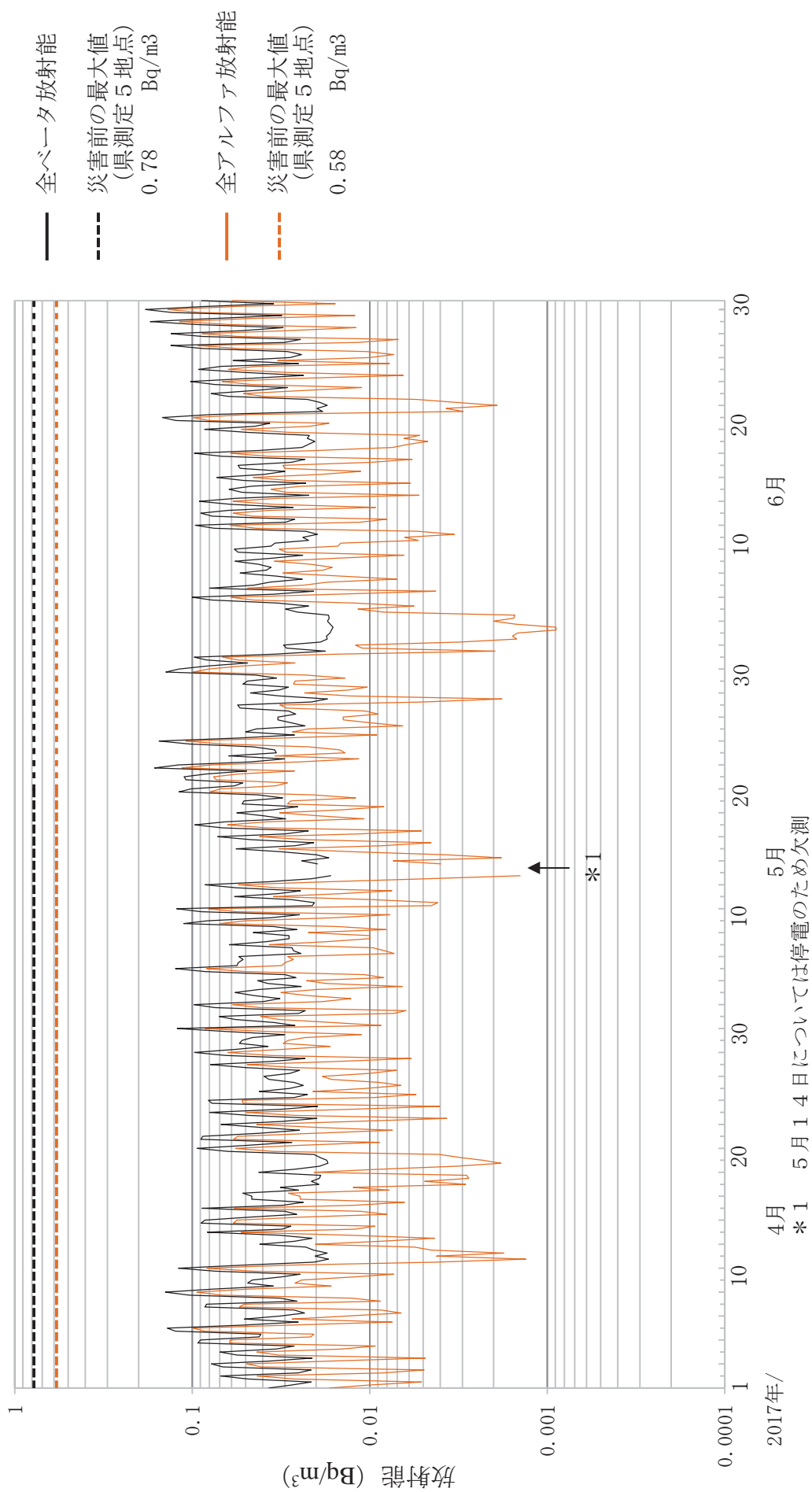


4月 *1 6月2日については、停電のため欠測
*2 6月25日～28日については、定期点検のため欠測

5月

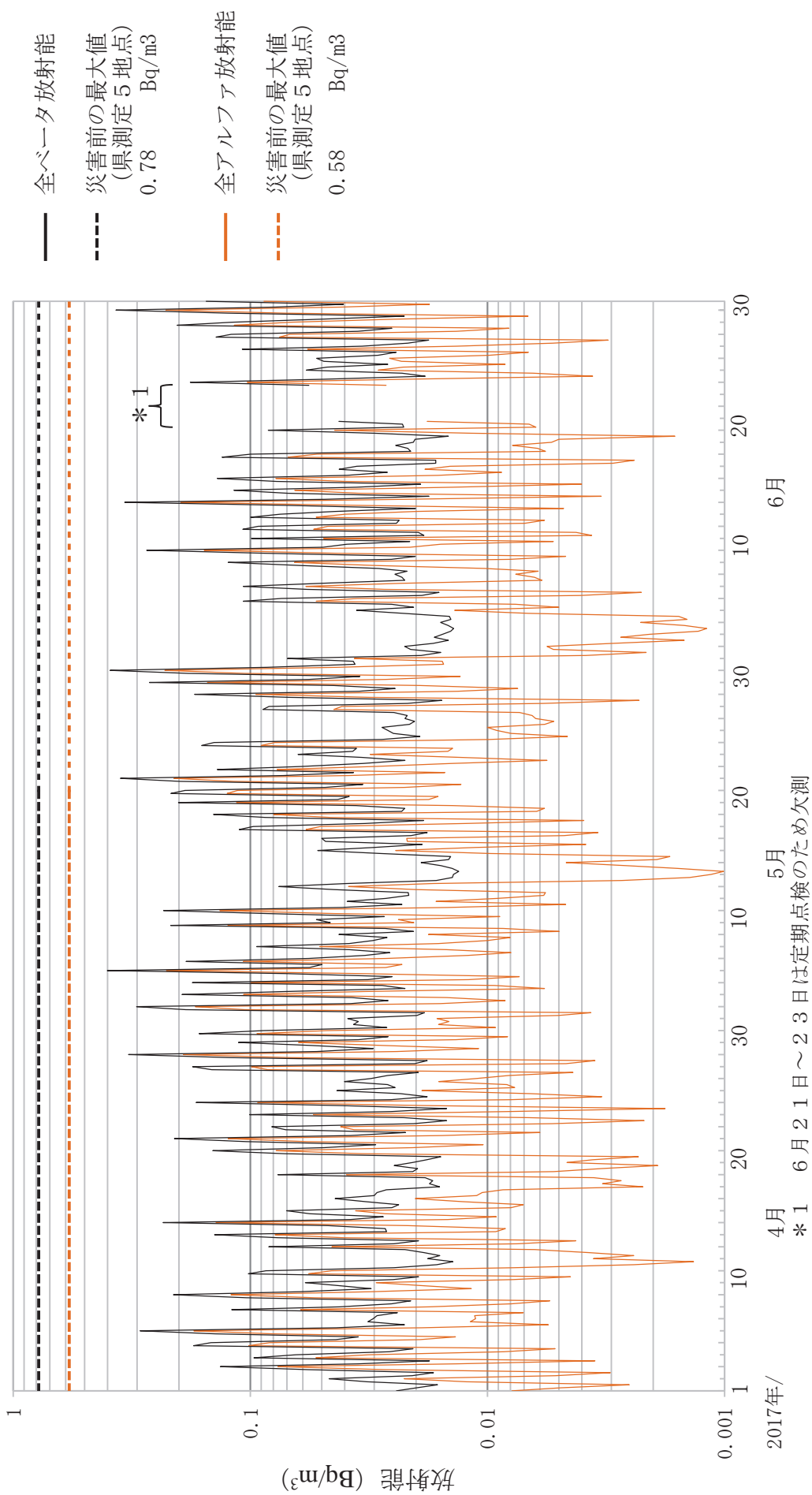
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

4 榎葉町木戸ダム
(平成29年4月1日～6月30日)



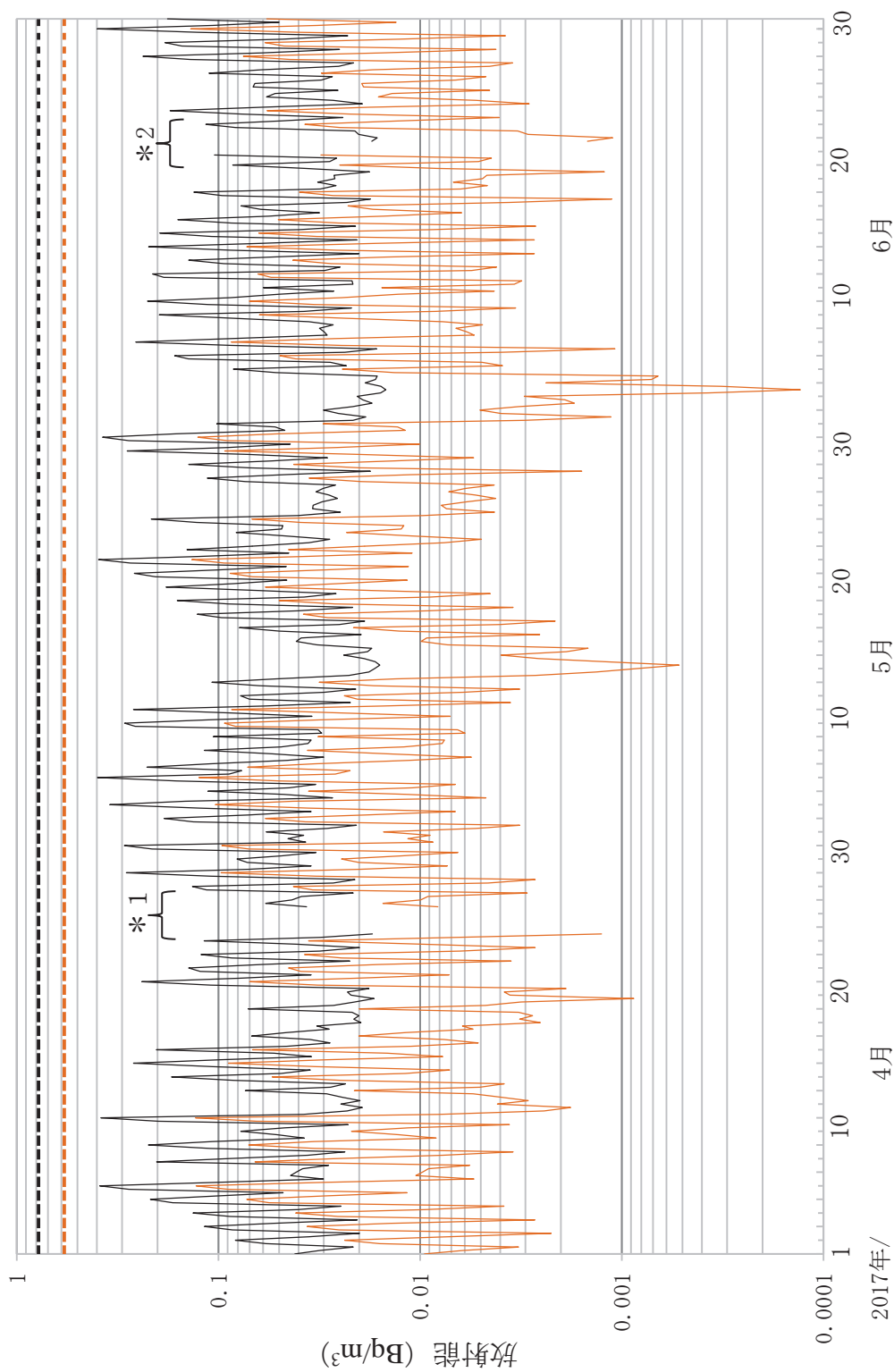
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

5 榎葉町繁岡
(平成29年4月1日～6月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

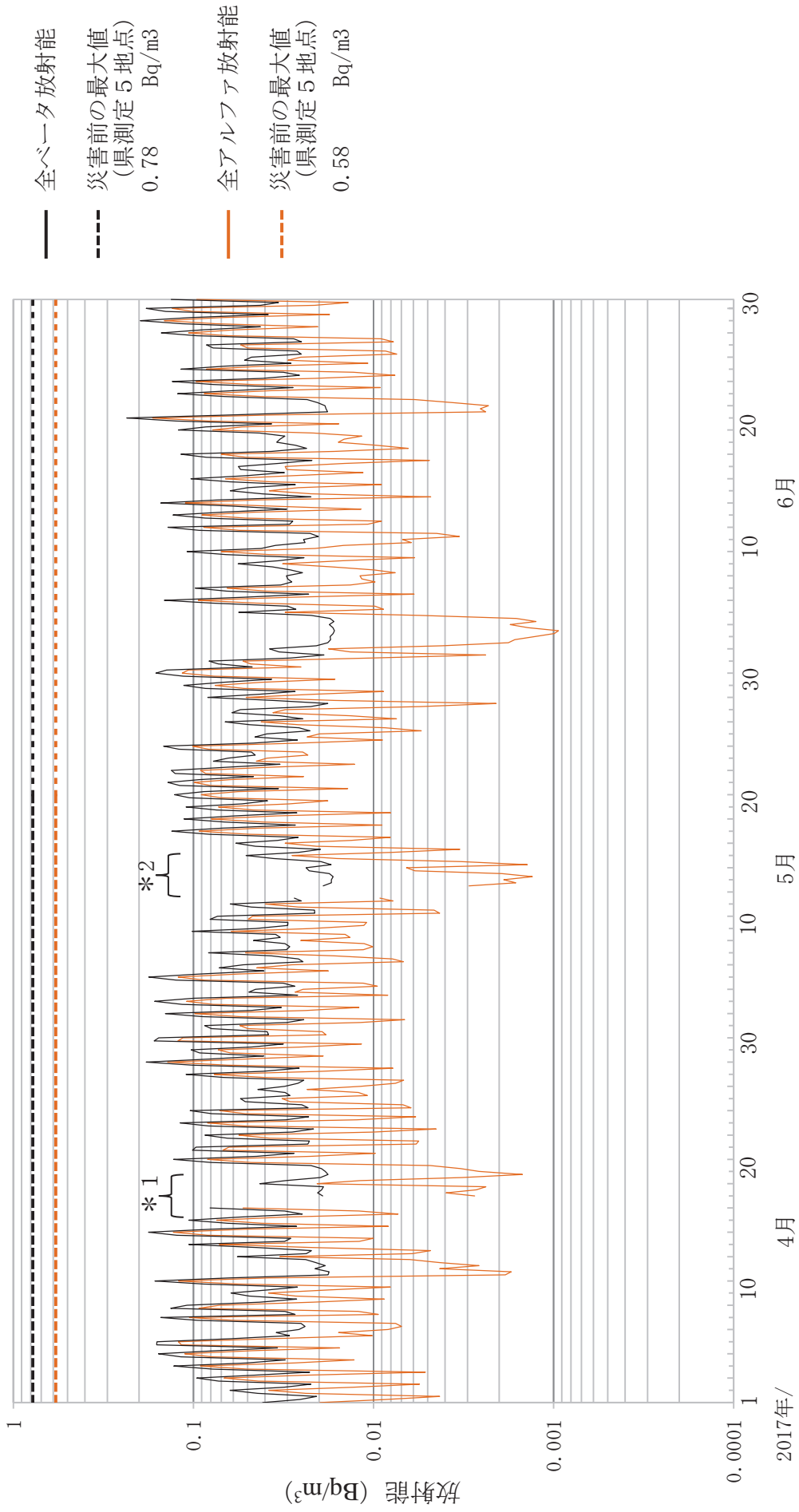
6 富岡町富岡
(平成29年4月1日～6月30日)



4月 *1 4月24日～26日については、ポンプ故障のため欠測
*2 6月21日については、定期点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

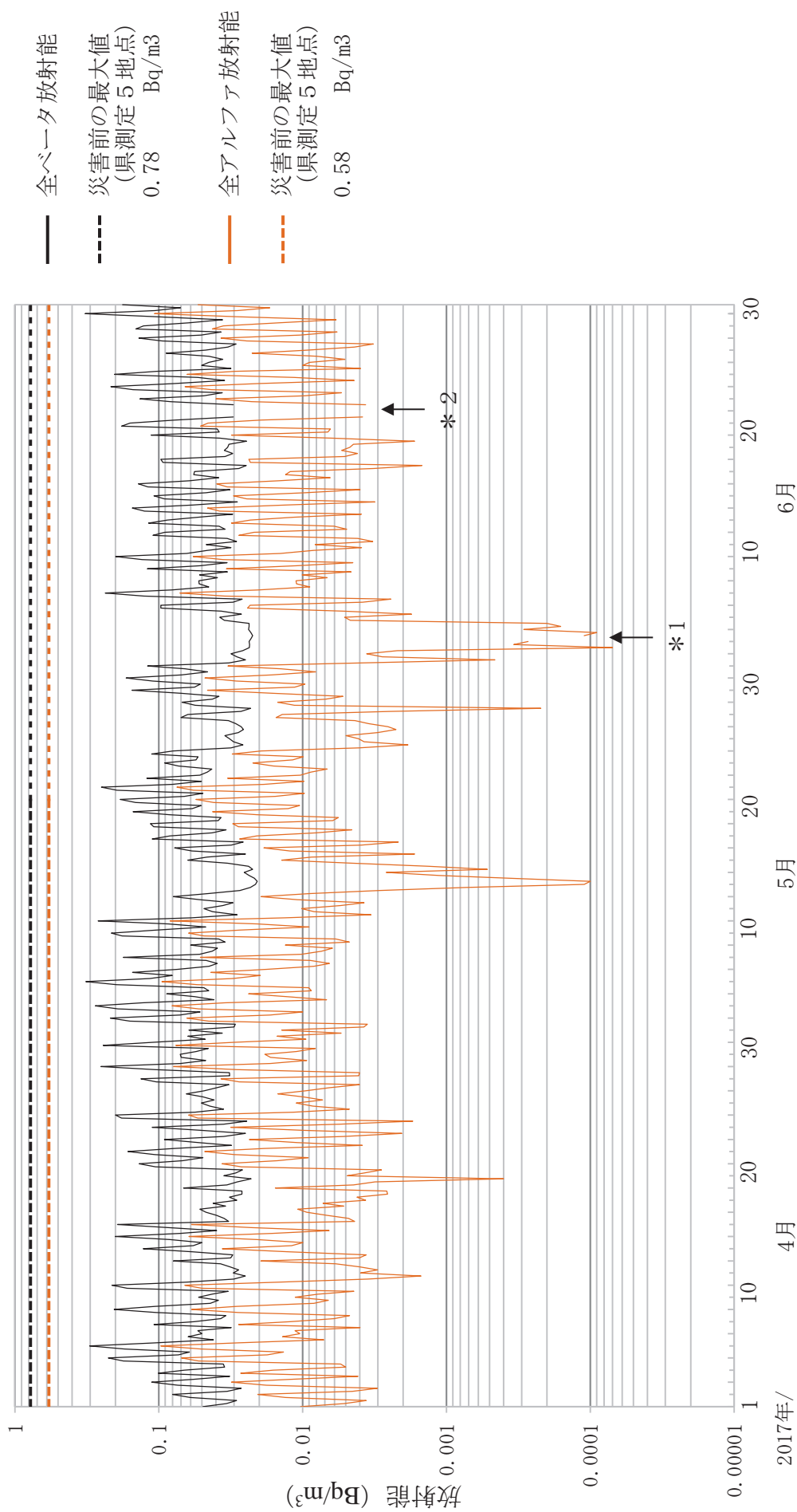
7 川内村下川内
(平成29年4月1日～6月30日)



4月
*1 4月17日については、停電のため欠測
*2 5月12日、5月13日については、停電のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

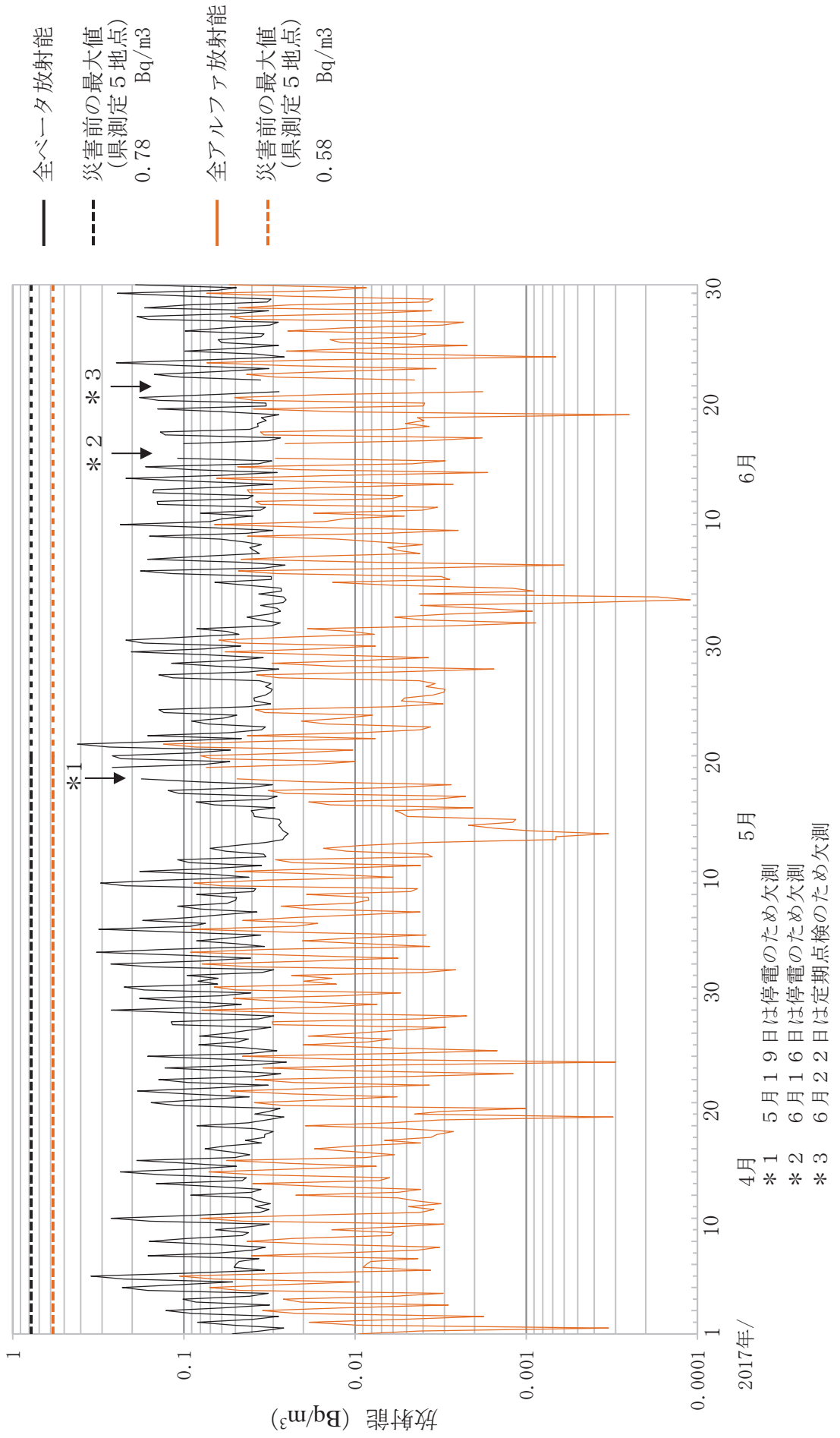
8 大熊町大野
(平成29年4月1日～6月30日)



*1 6月3日12時の全アルファ放射能は0Bq/m³のため、対数グラフに表示されていない
*2 6月21日、22日については、定期点検のため欠測

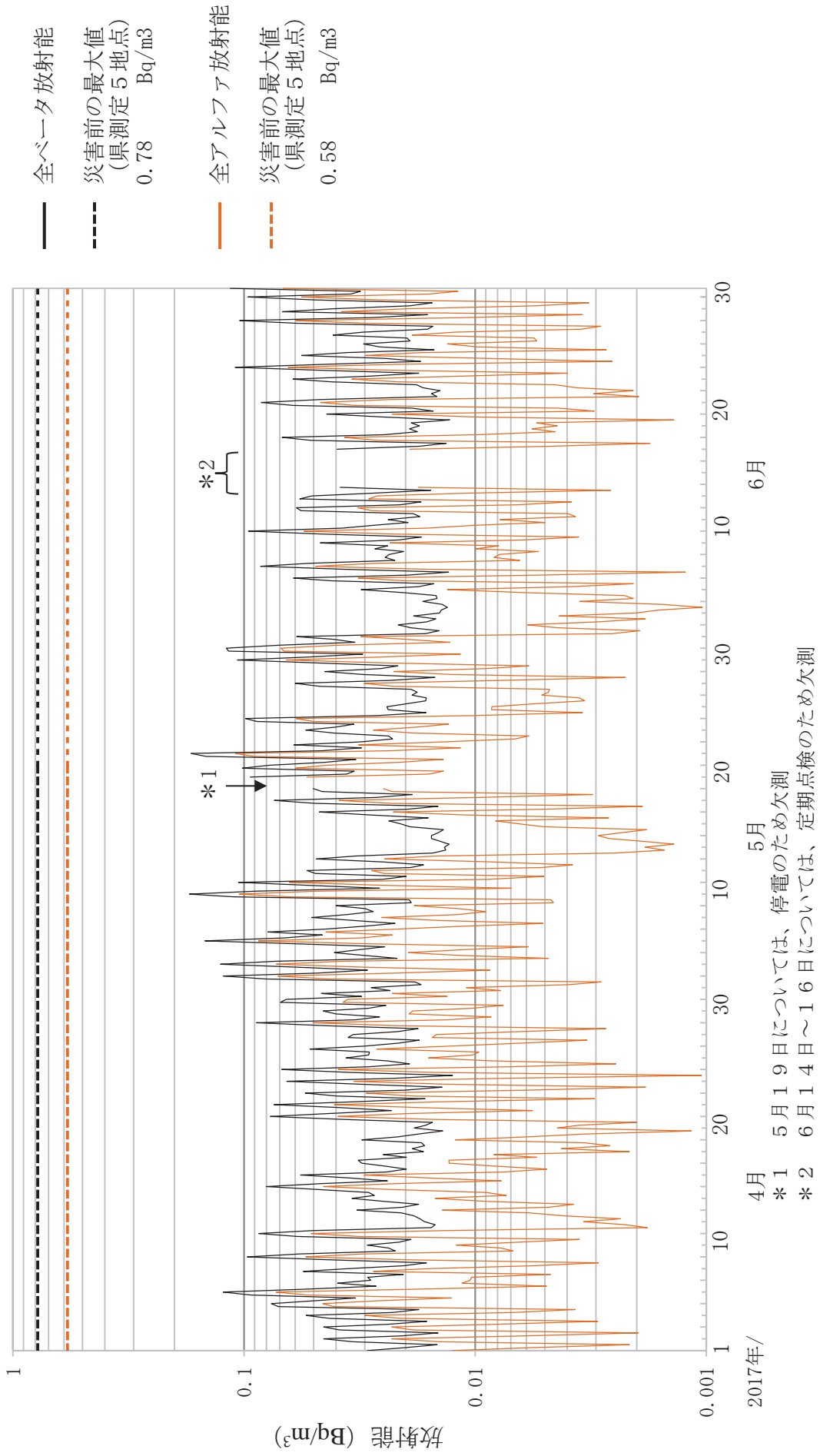
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

9 大熊町夫沢
(平成29年4月1日～6月30日)



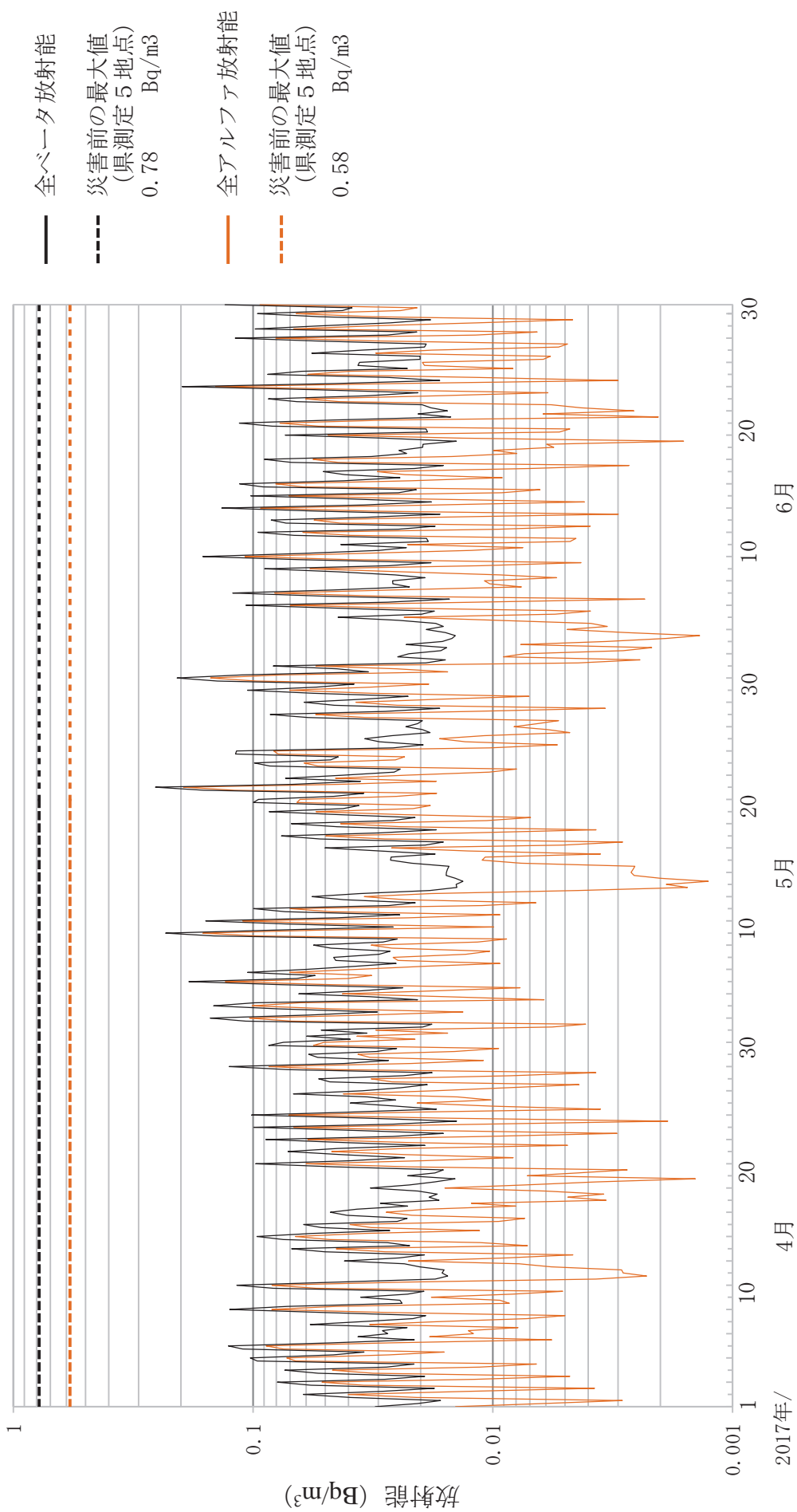
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

10 双葉町郡山
(平成29年4月1日～6月30日)



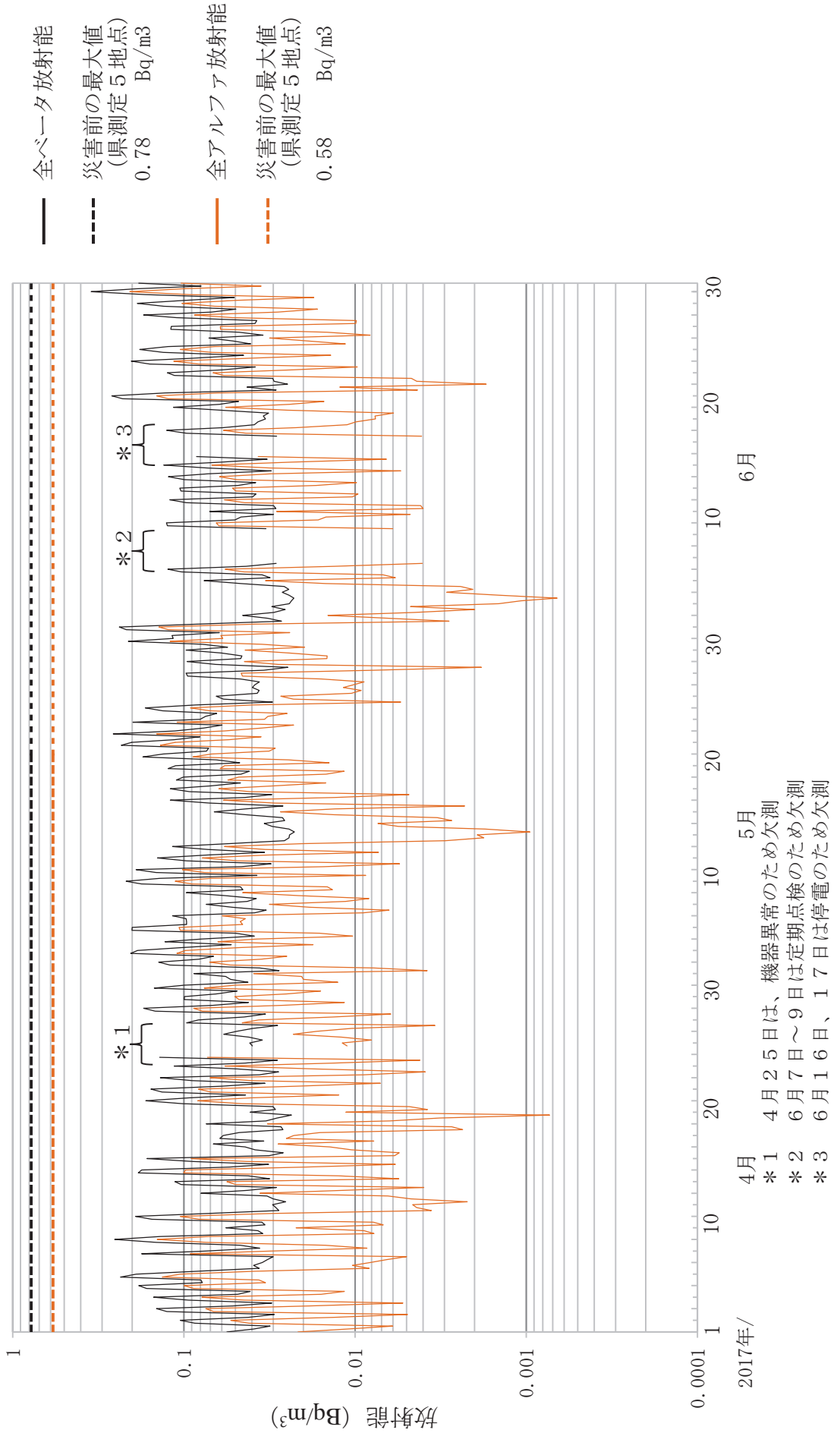
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

11 浪江町幾世橋
(平成29年4月1日～6月30日)



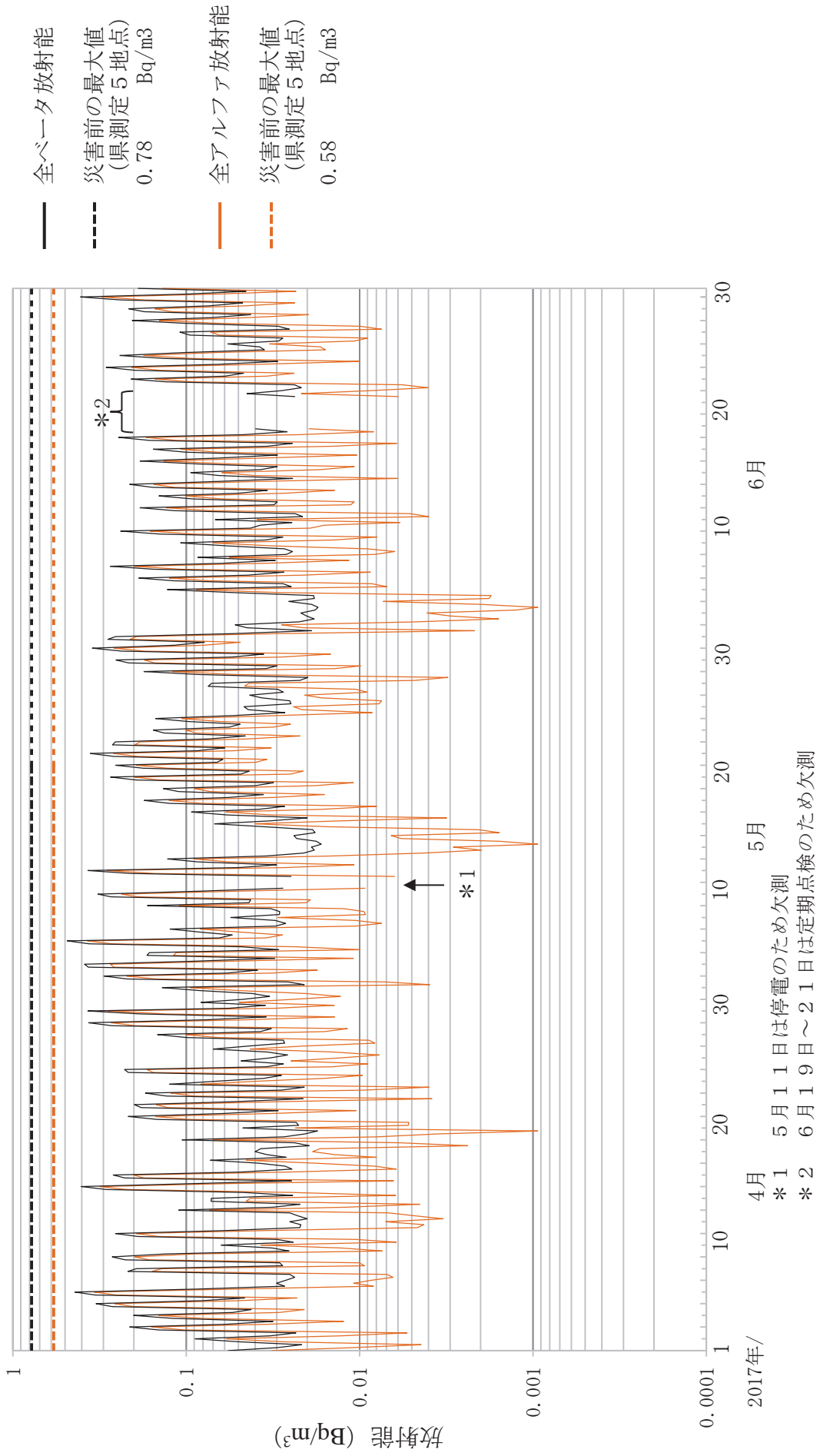
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

12 浪江町大柿ダム
(平成29年4月1日～6月30日)



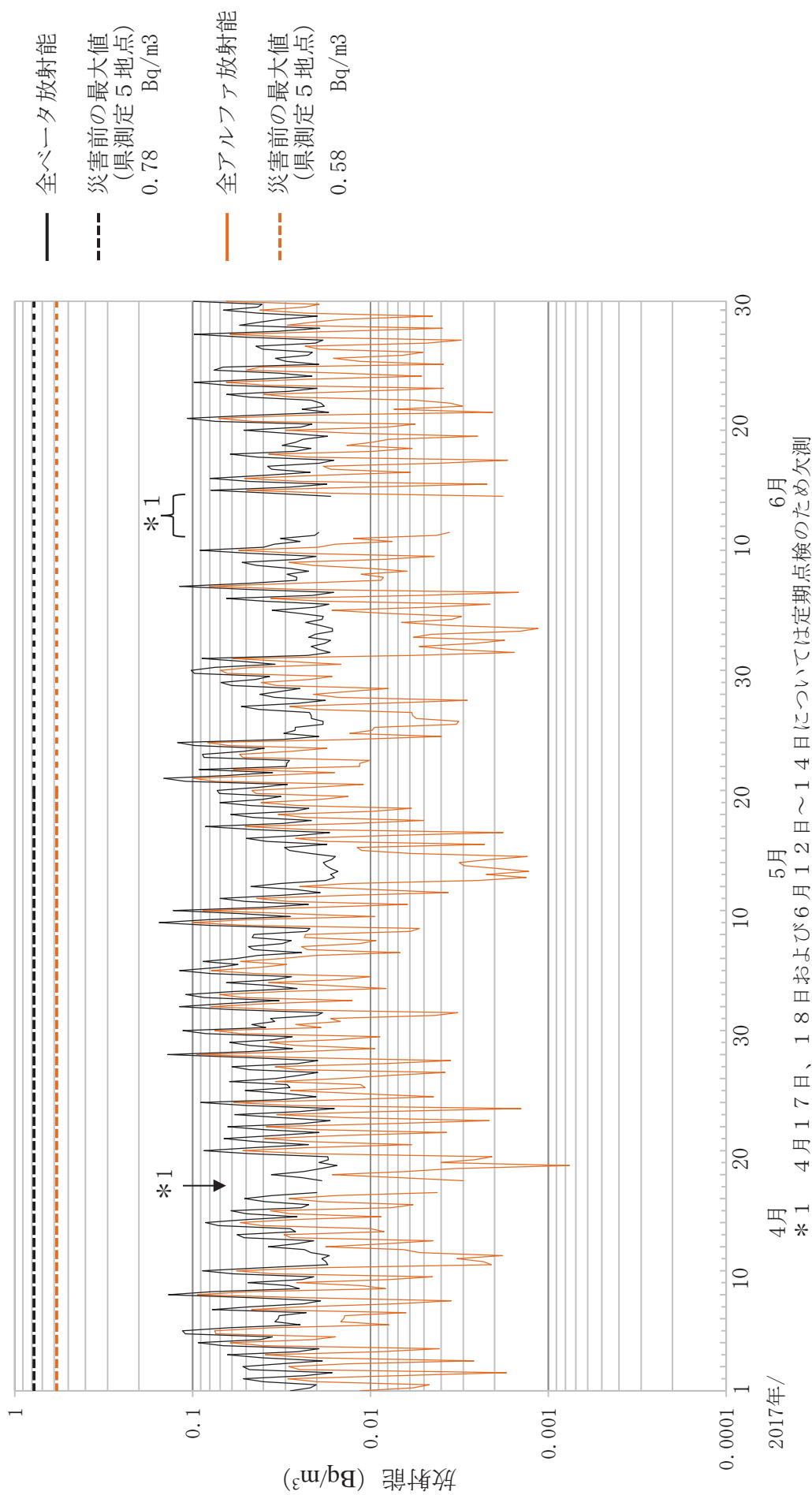
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

13 葛尾村夏湯
(平成29年4月1日～6月30日)



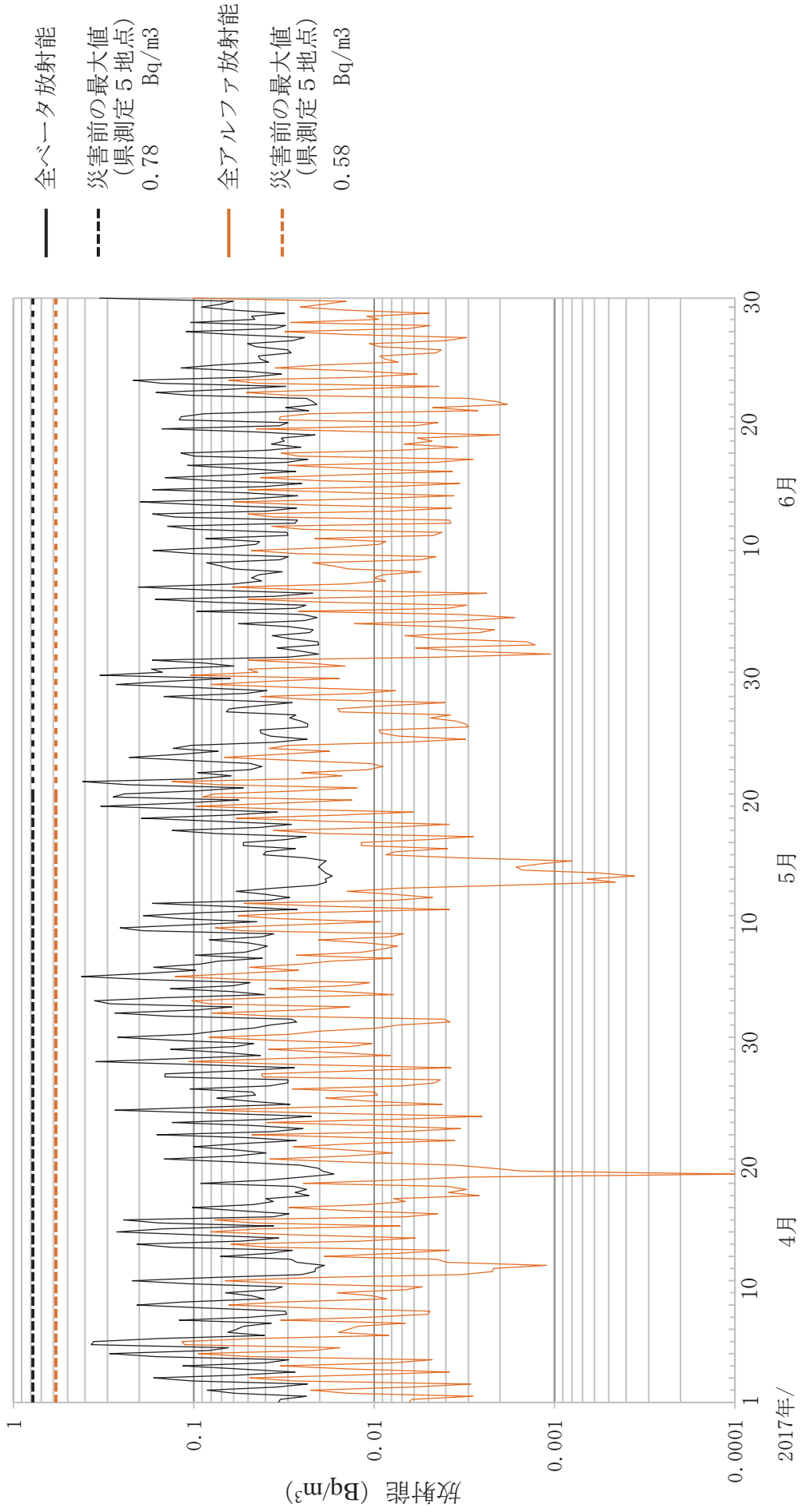
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

14 南相馬市泉沢
(平成29年4月1日～6月30日)



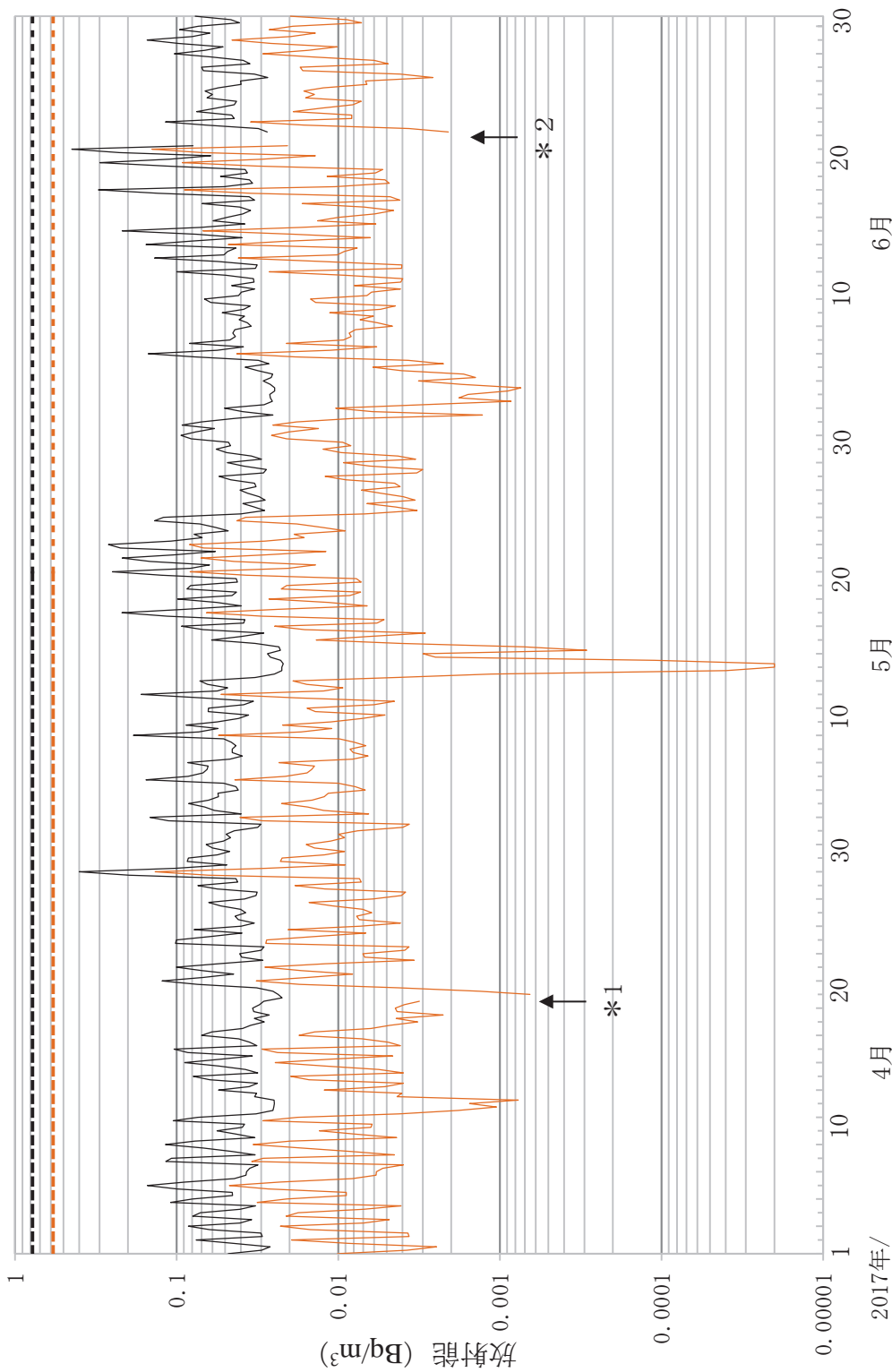
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

15 南相馬市菅浜
(平成29年4月1日～6月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

16 飯館村伊丹沢
(平成29年4月1日～6月30日)

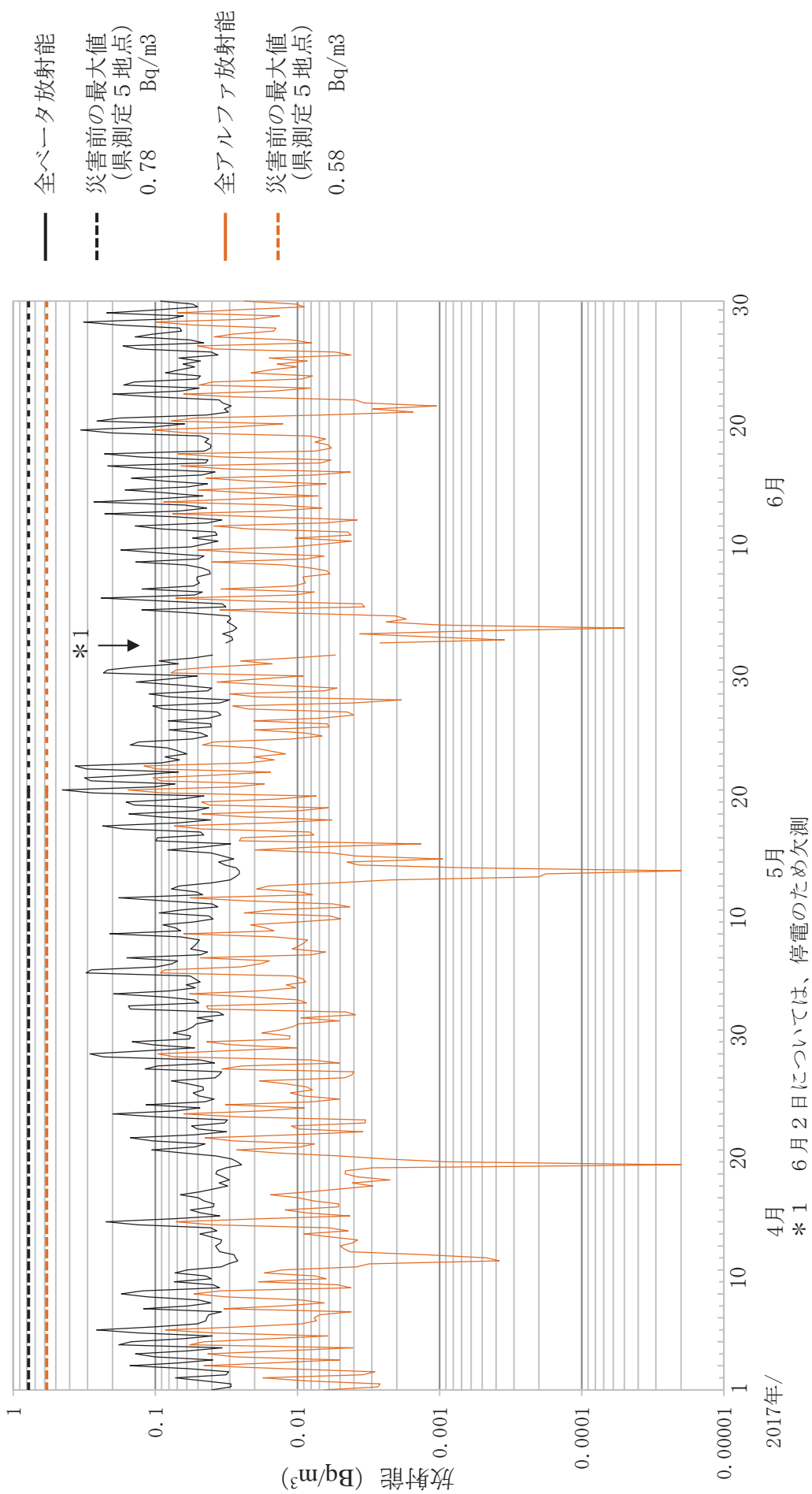


4月 30日 5月 1日 5月 10日 5月 20日 5月 30日 6月 1日 6月 10日 6月 20日 6月 30日

*1 4月20日0時の全アルファ放射能は0Bq/m³のため、対数グラフに表示されていない
*2 6月22日については、停電のため欠測

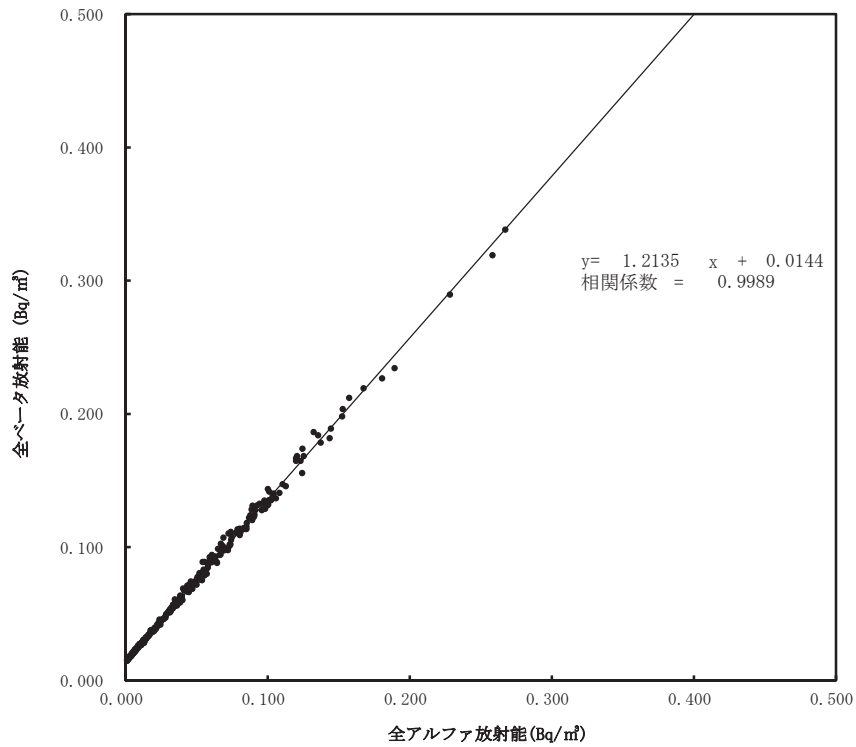
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

17 川俣町山木屋
(平成29年4月1日～6月30日)



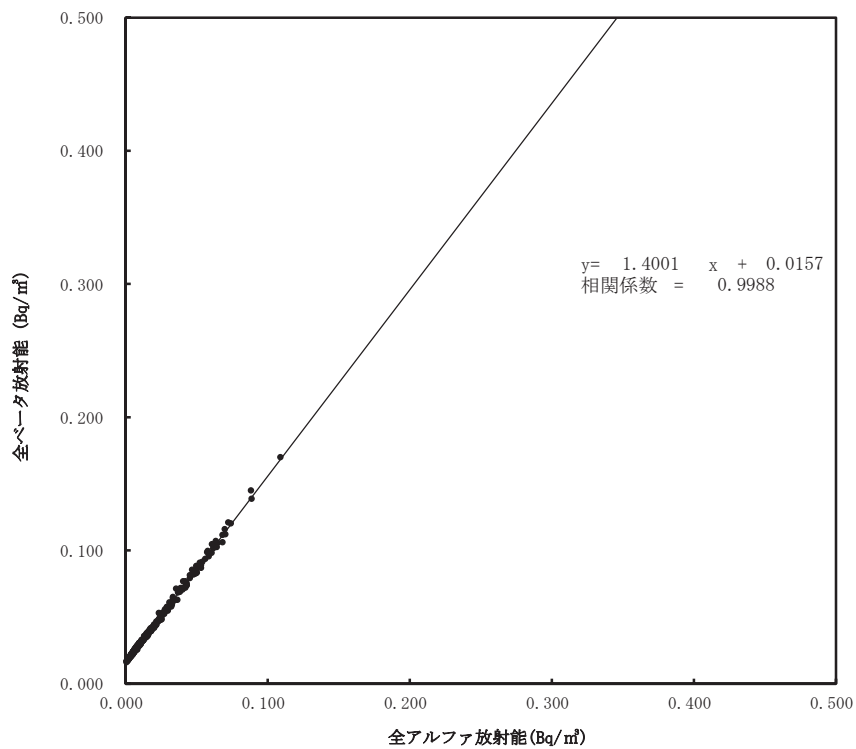
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(いわき市小川)



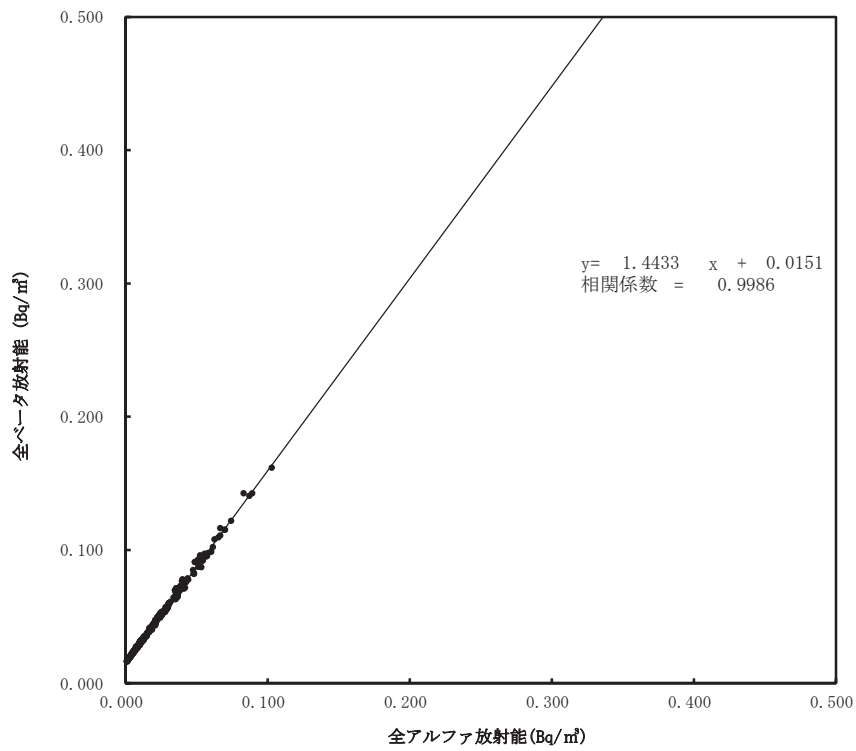
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(田村市都路馬洗戸)



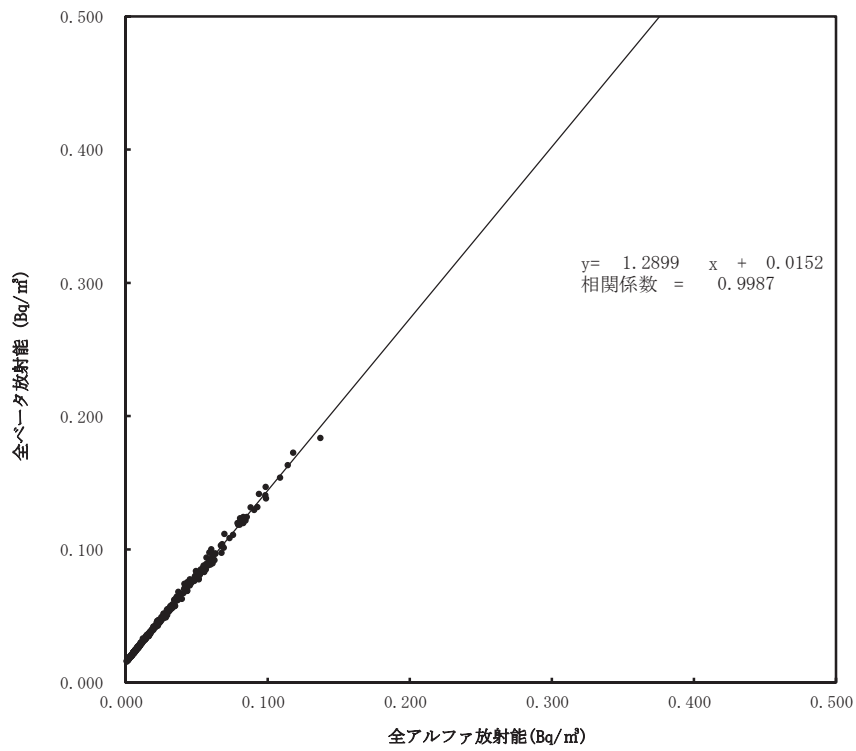
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(広野町小滝平)



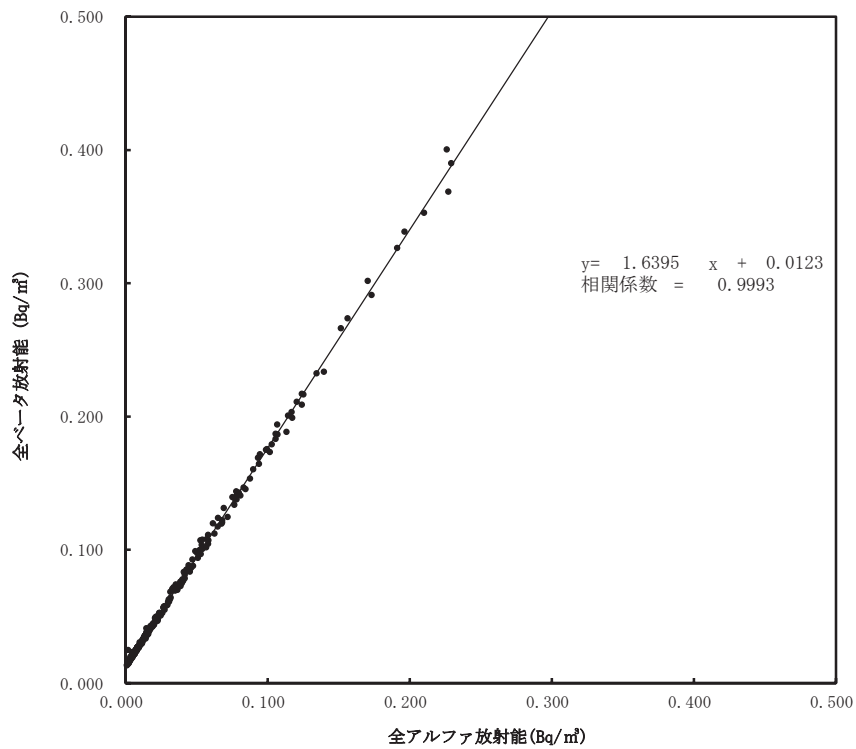
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(檜葉町木戸ダム)



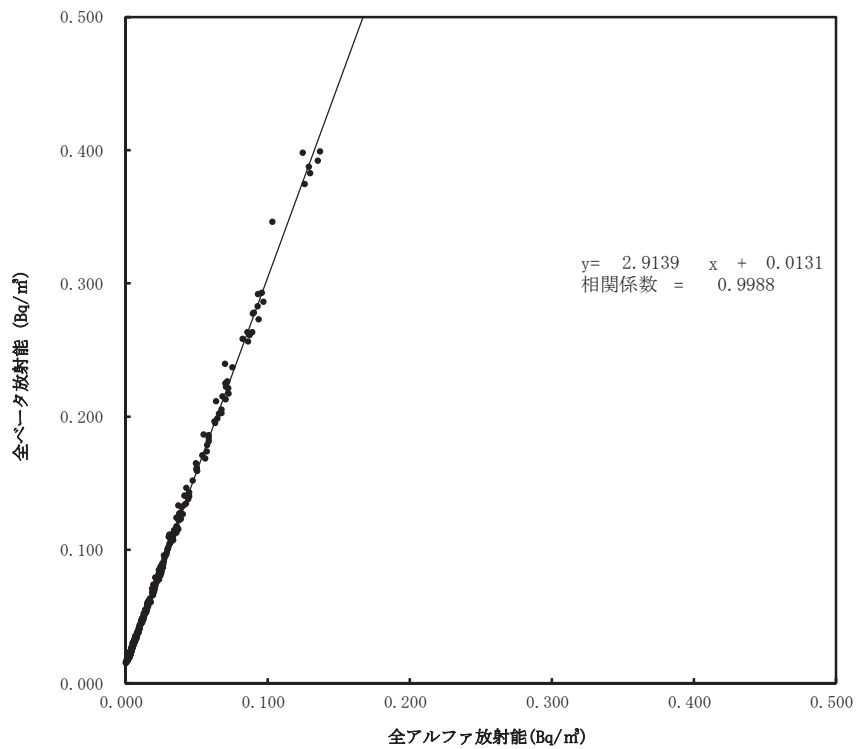
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(檜葉町繁岡)



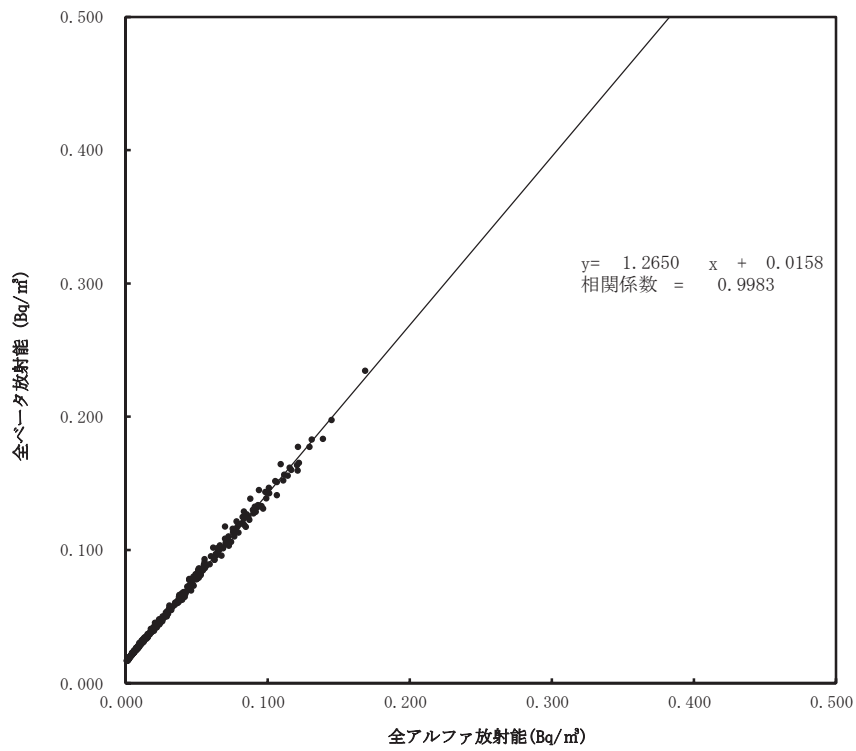
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(富岡町富岡)



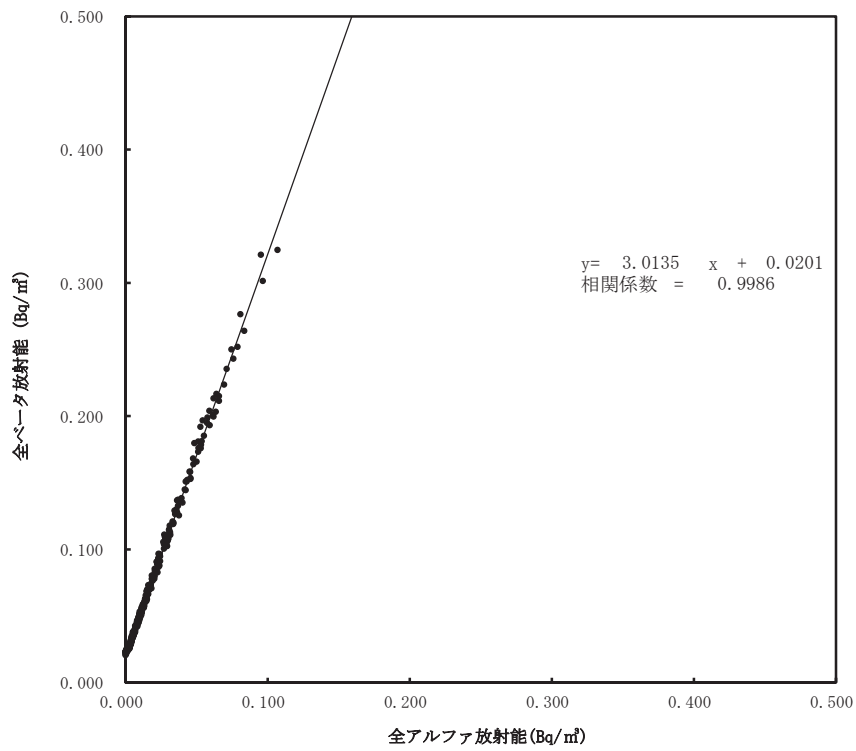
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(川内村下川内)



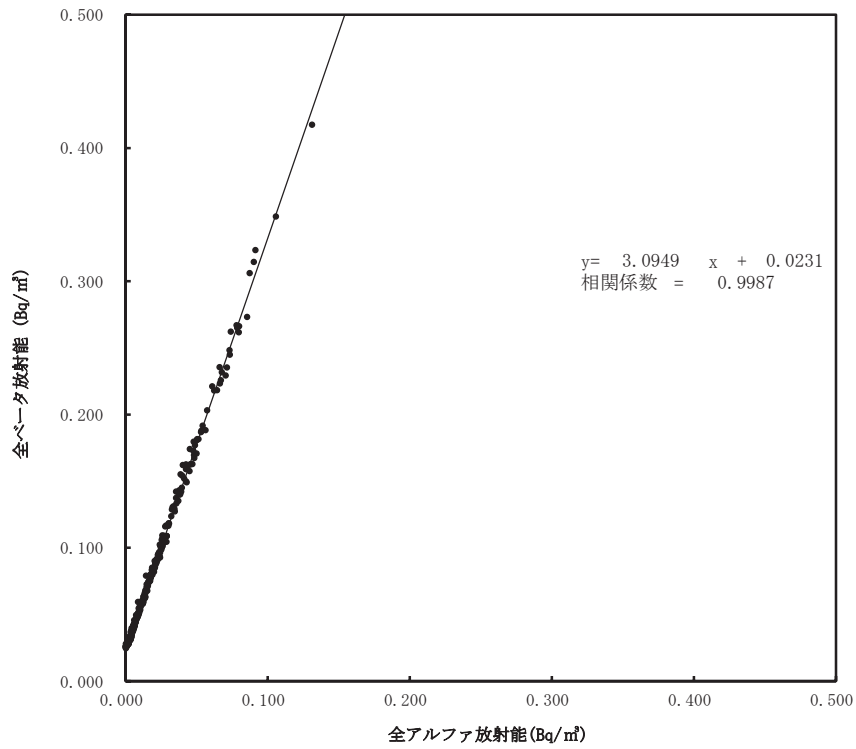
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(大熊町犬野)



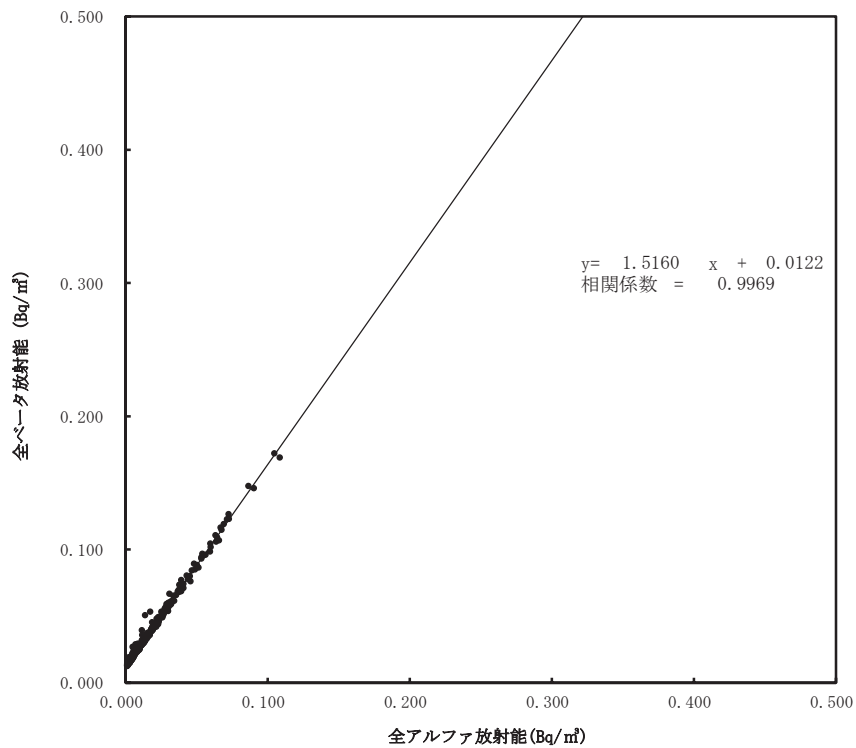
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(大熊町夫沢)



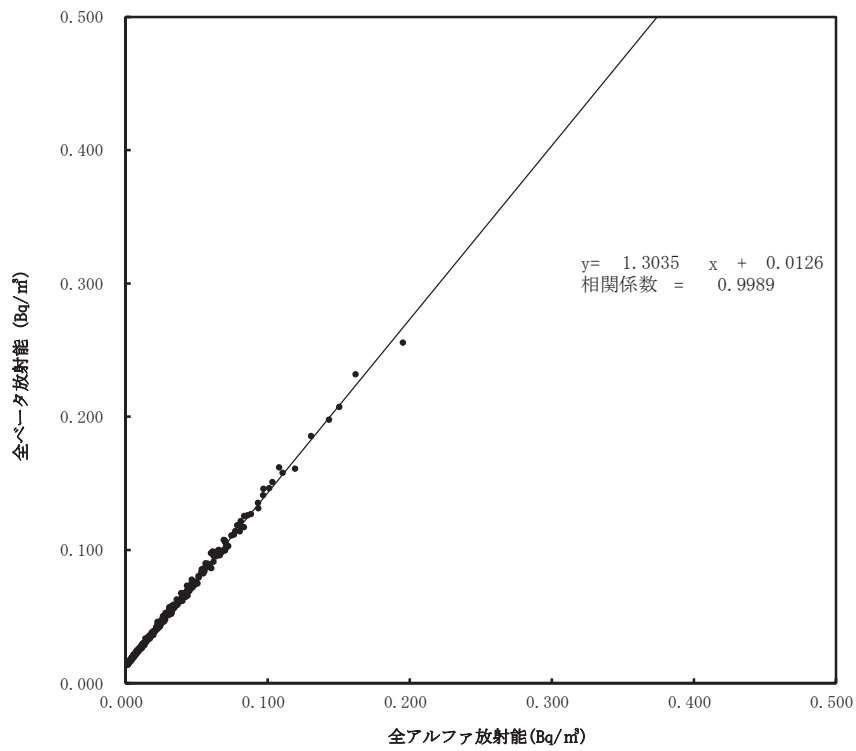
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(双葉町郡山)



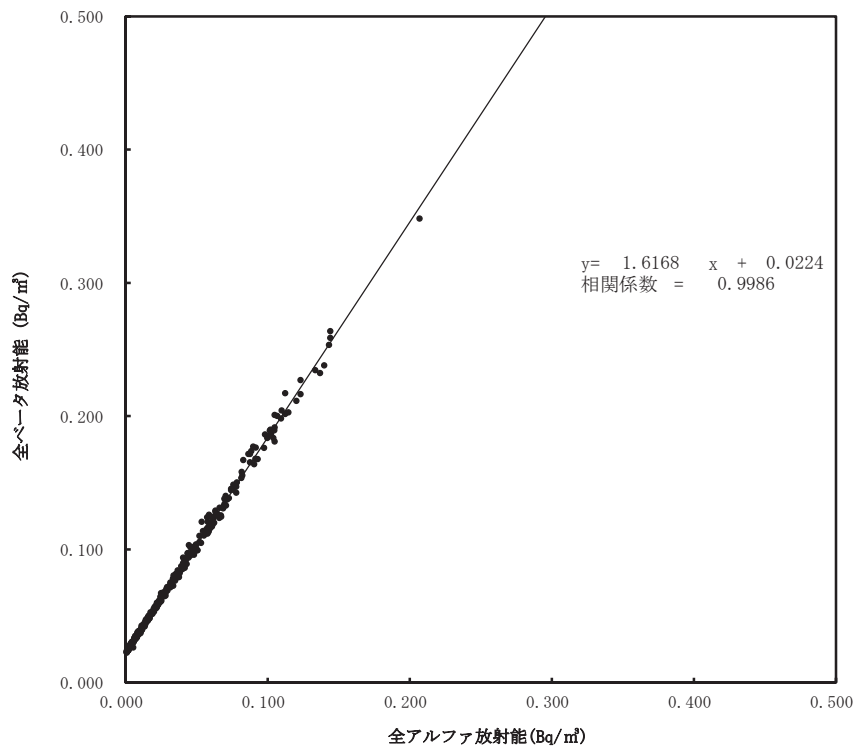
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(浪江町幾世橋)



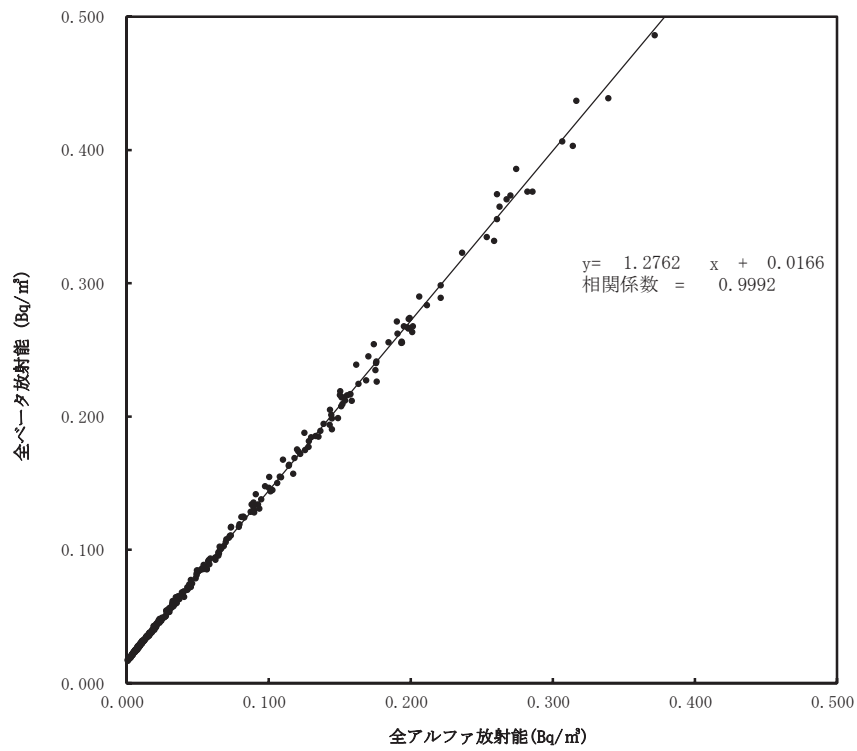
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(浪江町大柿ダム)



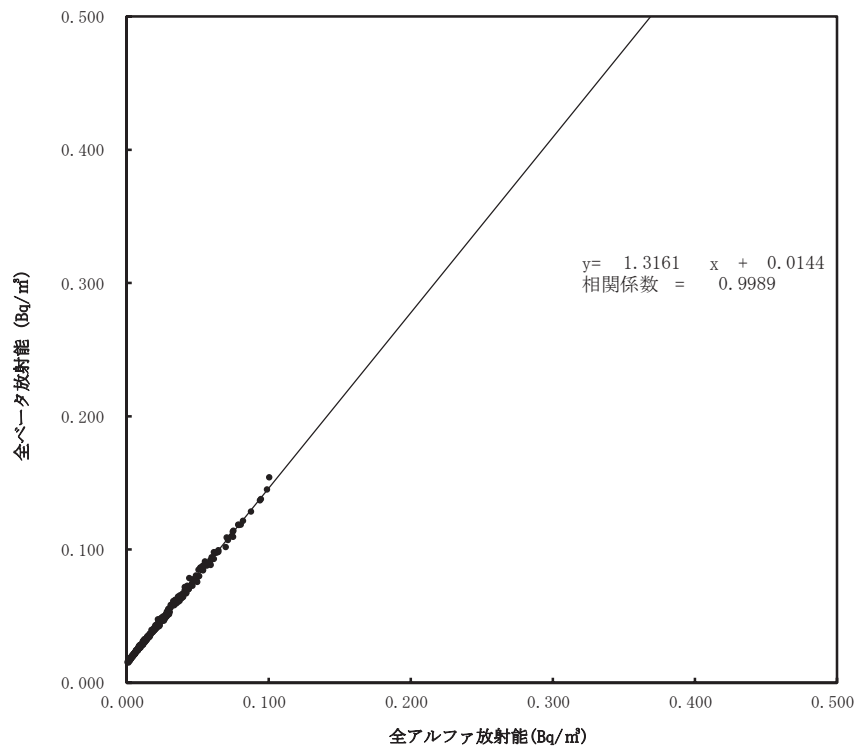
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(葛尾村夏湯)



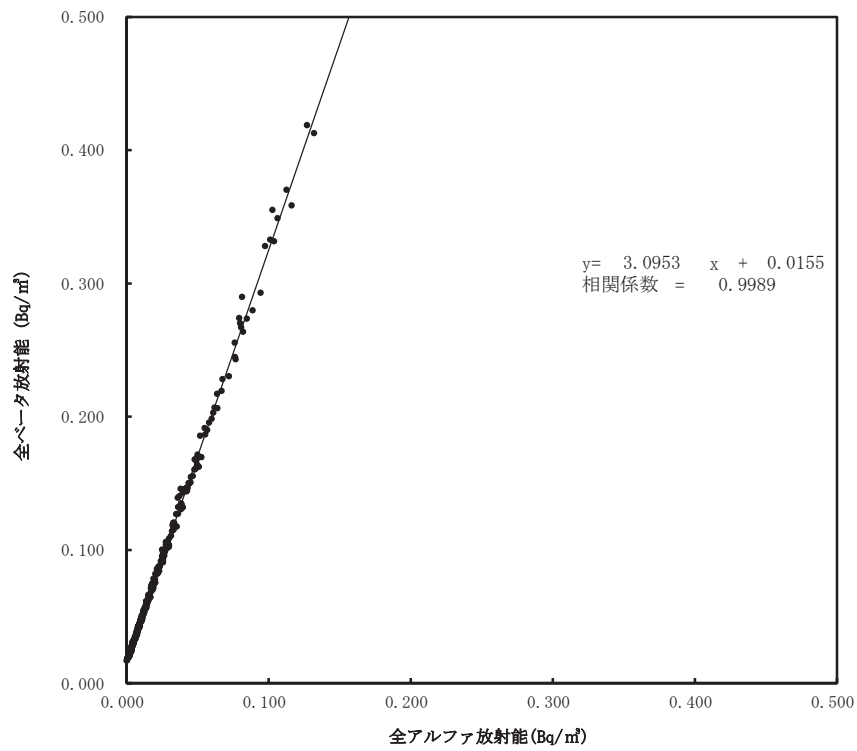
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(南相馬市泉沢)



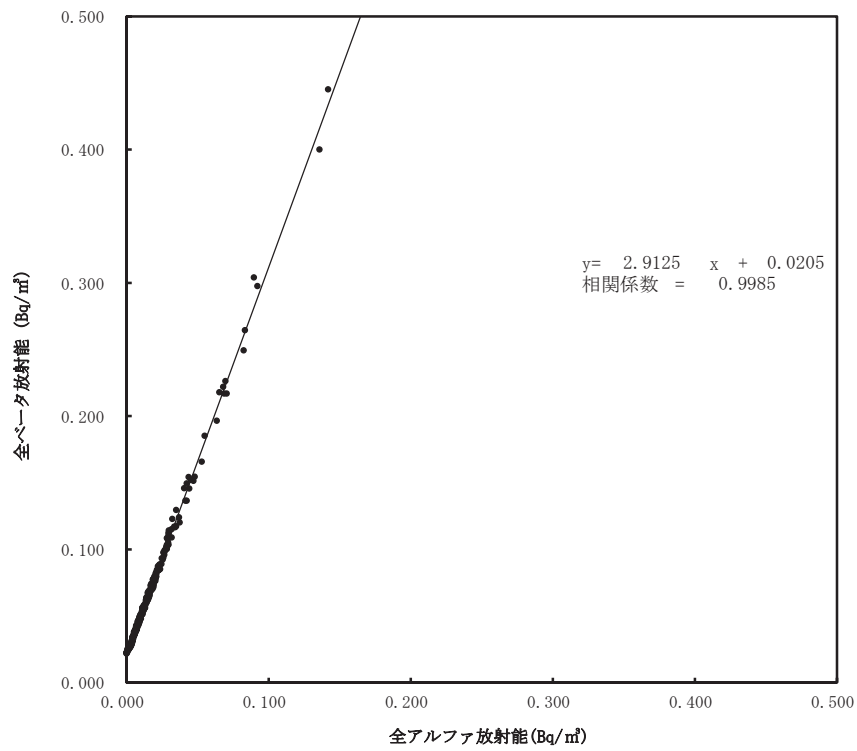
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(南相馬市萱浜)



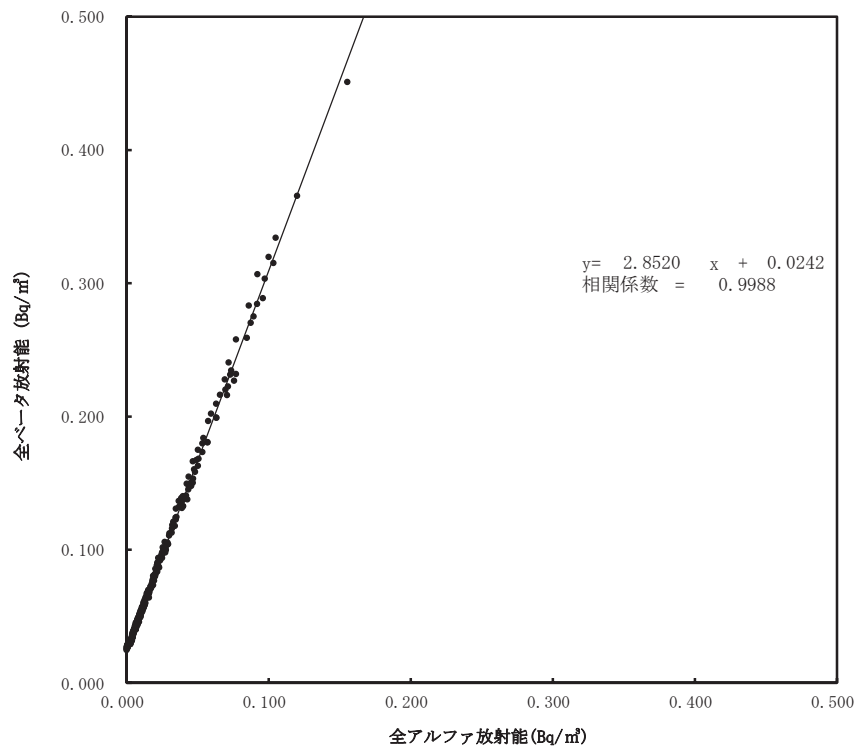
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成29年4月～6月)
(飯館村伊丹沢)

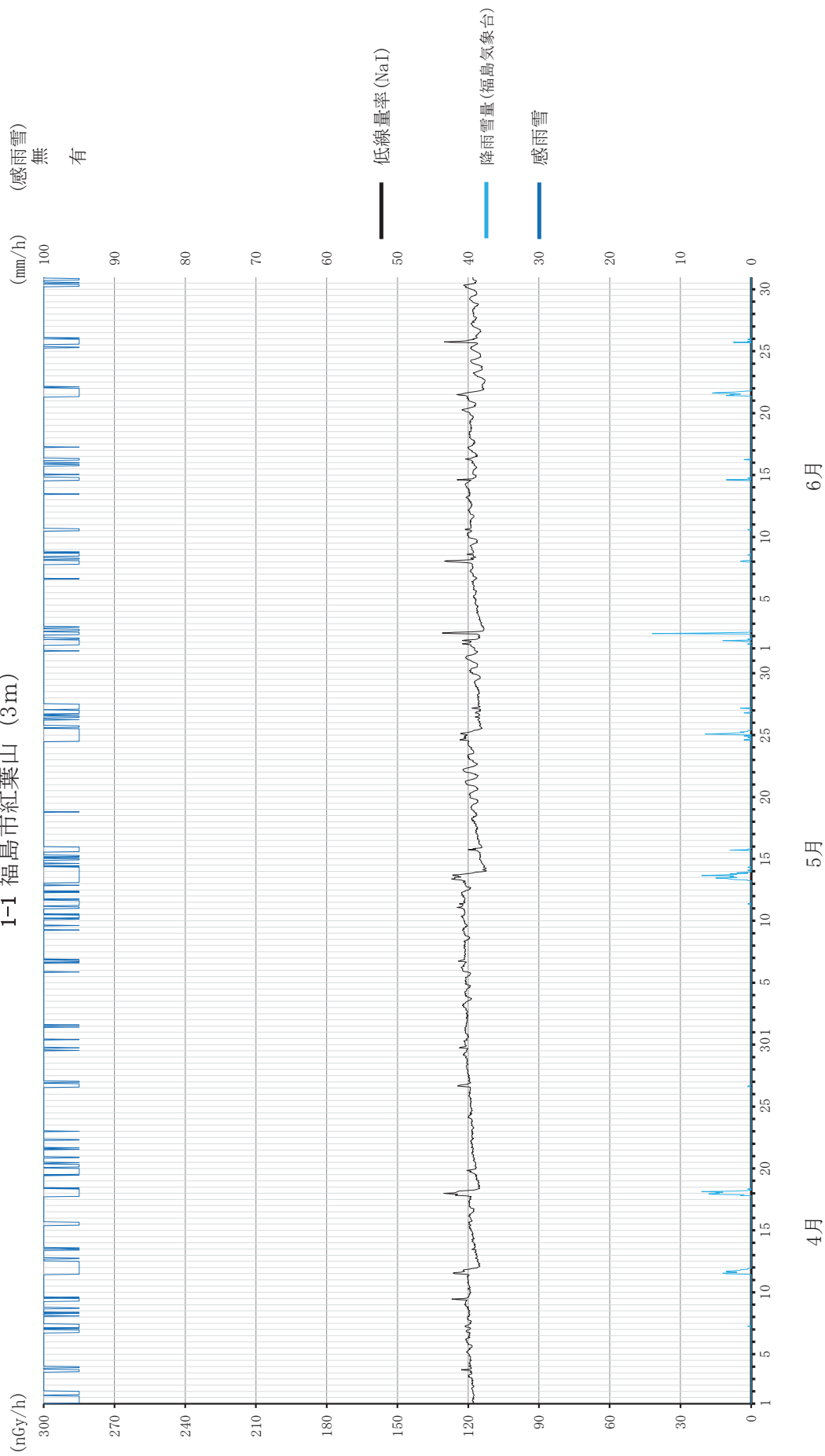


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

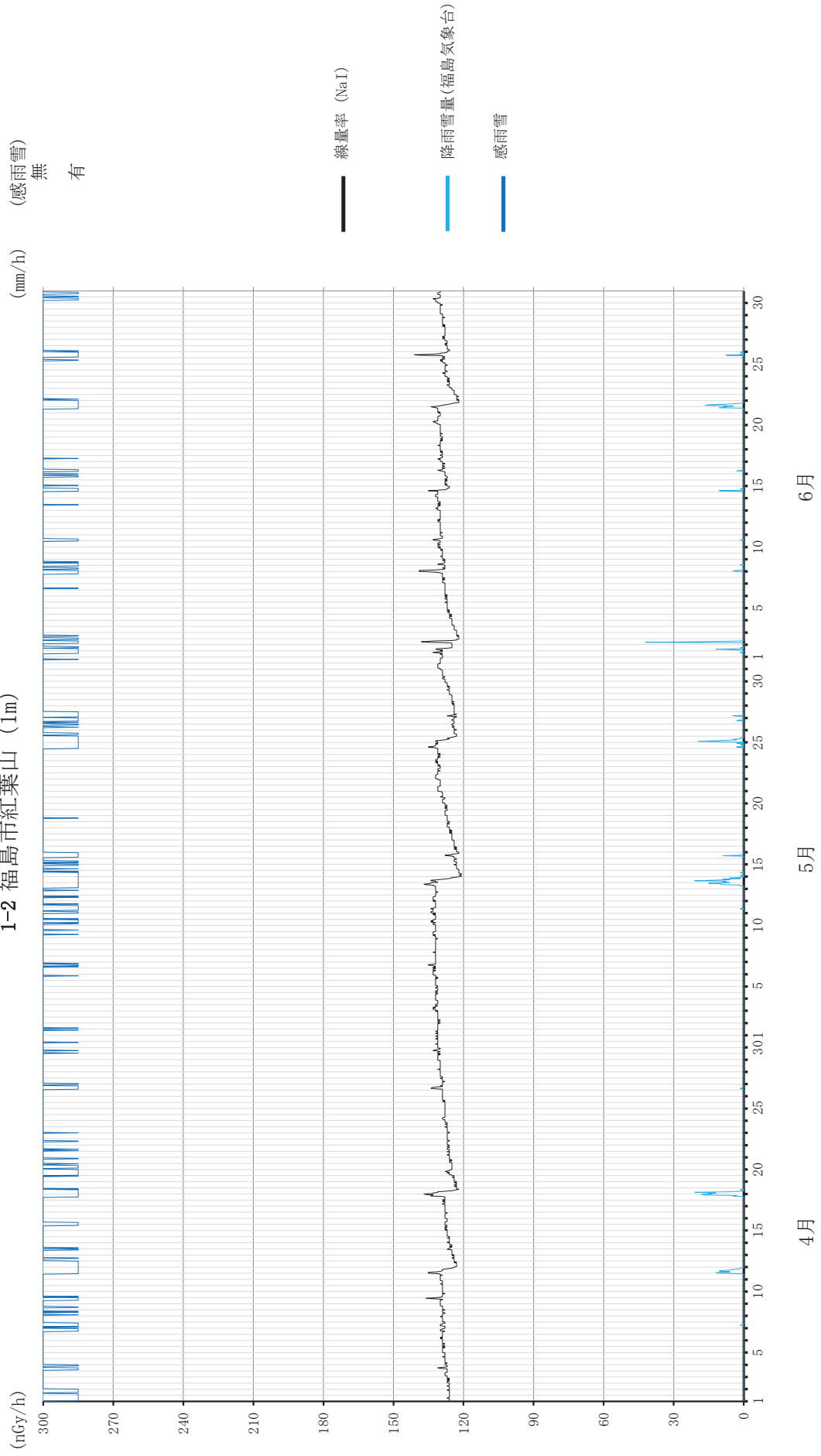
(平成29年4月～6月)
(川俣町山木屋)



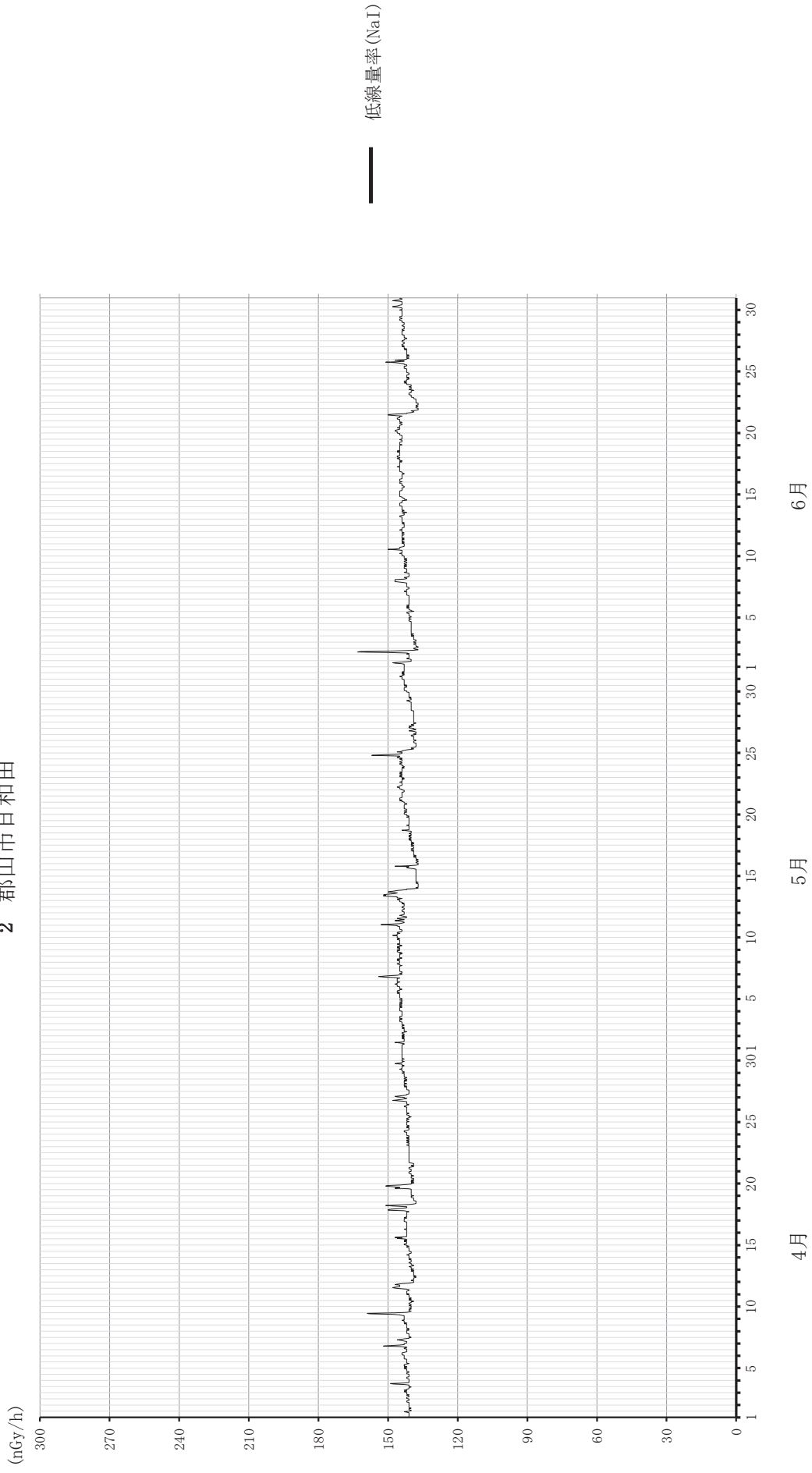
空間線量率の変動グラフ
1-1 福島市紅葉山 (3m)



空間線量率の変動グラフ 1-2 福島市紅葉山 (1m)



空間線量率の変動グラフ 2 郡山市日和田



空間線量率の変動グラフ 3 いわき市平

